

平成25年度

第2次宇和島市男女共同参画基本計画進捗状況調査結果

各課の具体的施策一覧は「概要」をご参照ください。
重複施策については、帳票を省略しています。

男女共同参画関連施策表

基本目標Ⅰ 男女がともに認め合う人づくり

推進方策1 広報・啓発の推進 P1

- ①男女共同参画についての広報・啓発活動の充実
- ②男女共同参画に関する情報の収集と調査・研究の推進

推進方策2 男女共同参画に関する教育・学習の推進 P5

- ①家庭における男女平等に関する教育・学習の推進
- ②教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
- ③地域における男女平等に関する学習の推進

基本目標Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり

推進方策1 政策・方針決定過程への女性の参画促進 P24

- ①市職員の能力開発・登用等の推進
- ②各種審議会等における女性の参画促進
- ③企業・地域団体等における女性の参画促進
- ④地域社会への男女の参画促進
- ⑤市政への関心の高揚

推進方策2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保 P52

- ①企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進
- ②母性健康管理対策の推進
- ③市役所や市関連施設などにおける男女共同参画の推進

推進方策3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立 P64

- ①農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進
- ②再就職や起業活動などへのチャレンジ支援

推進方策4 国際交流・協力の推進 P73

- ①国際交流の充実および国際感覚の向上

基本目標Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり

推進方策1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援 P76

- ①働き方の見直しの促進
- ②家庭生活における男女共同参画の推進

推進方策2 育児期・介護期における環境の整備 P84

- ①子育て支援の充実
- ②介護支援の充実

基本目標Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり

推進方策1 あらゆる暴力の根絶 P117

- ①あらゆる暴力の防止
- ②相談体制の充実と被害者保護の推進

推進方策2 生涯を通じた健康支援 P125

- ①市民の健康づくり支援
- ②教育・相談の充実
- ③保健・医療体制の整備

推進方策3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備 P157

- ①社会参画の推進
- ②介護予防事業の充実
- ③貧困など生活上の困難に直面する男女への支援

【概要・各課施策関連事業】

基本目標Ⅰ 男女がともに認め合うひとづくり

※「計画(2次)での方向」欄について

- ・計画(1次)の事業を継続するもの … 継続
- ・計画(1次)の事業を充実させて行うもの … 充実
- ・計画(2次)で新たに加えたもの … 新規

推進方策1 広報・啓発の推進

1. 男女共同参画についての広報・啓発活動の充実

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
1	男女共同参画セミナーの開催	生涯学習センターにおける男女共同参画セミナー	生涯学習課	1講座/年	1講座/年	1講座/年	継続	1
2	あらゆる機会における広報・啓発活動の充実	男女共同参画広報啓発事業	企画情報課	/	/	/	継続	2
		「議会だより」への掲載	議会事務局	0掲載	1掲載	0掲載	継続	3

2. 男女共同参画に関する情報の収集と調査・研究の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
1	情報の収集・発信の充実		企画情報課	/	/	/		
2	メディアにおける男女共同参画の推進	広報事業への女性参画(広報うわじま・HP作成等)	総務課	1人/3人	1人/3人	1/2人	継続	4

推進方策2 男女共同参画に関する教育・学習の推進

1. 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
1	家庭教育に関する学習機会の提供	生きる力を育む教育活動推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	93%	100%	92%	継続	5
		家庭教育推進事業(地区公民館)	生涯学習課	29館	30館 (延べ60回)	30館	充実	6
		校区別人権・同和教育懇談会	人権啓発課	5回	4回	4回	継続	7

2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
1	学校等における男女平等教育・啓発の推進	就学前教育における啓発の推進(実施している施設の割合)	福祉課	/	/	/	充実	8
			教育総務課	/	/	/	充実	9
		豊かな心を育む教育活動推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	97%	100%	95%	継続	10
		教職員人権・同和教育研修会(講演会)	人権啓発課	/	/	/	継続	11
2	多様な選択を可能にする教育の充実	特別支援教育推進事業	教育総務課	/	/	/	充実	12
			学校教育課	/	/	/	継続	13
3	学校等の運営における男女共同参画の推進	進路指導推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	85%	100%	89%	継続	14
		幼稚園運営における男女共同参画の推進(実施している施設の割合)	教育総務課	87.5%	100%	100%	充実	15
4	教育関係者への研修の推進	開かれた学校づくり推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	90%	100%	93%	継続	16
		教職員の資質・能力の向上推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	84%	100%	90%	継続	17

3. 地域における男女平等に関する学習の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
1	地域や事業所における男女共同参画の推進	男女共同参画出前講座	企画情報課	4回	5回	1回	継続	18
		自治会別人権・同和問題学習会	人権啓発課	41回	35回	41回	継続	19
2	多様な学習機会の提供	生涯学習センターにおける男女共同参画セミナー (同一関連事業あり・調査省略)	生涯学習課	1講座/年	1講座/年	1講座/年	継続	1
		市民啓発事業(差別をなくする市民のつどい)	人権啓発課	1,020人	1,500人	1000人	継続	20
3	学習活動への参加促進	臨時託児所設置事業	企画情報課	/	/	/	新規	21
		学習活動参加促進事業(生涯学習センター・地区公民館)	生涯学習課	/	/	/	充実	22
4	メディア・リテラシーの向上	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調査省略)	企画情報課	/	/	/	継続	2
		生きる力を育む教育活動推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	87%	100%	89%	継続	23

基本目標Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり

推進方策1 政策・方針決定過程への女性の参画促進

1. 市職員の能力開発・登用等の推進

具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
			現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
	女性市職員の管理職への登用の推進(市の一般行政職における課長補佐級以上に占める女性割合)	総務課	5.1%	5.0%	6.1%	継続	24
	市職員のスキルアップ研修への参画促進	総務課				継続	25
	計画的な人事異動の実施	総務課				継続	26

2. 各種審議会等における女性の参画促進

具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
			現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
1 各種審議会における女性の参画促進	審議会における女性の参画促進(審議会・委員会等における女性の割合)	企画情報課	18%	35%	19%	継続	27
	選挙時の投票立会人における女性参画促進	選挙管理委員会	31.4%	38%	31%	継続	28
2 人材育成の充実	男女共同参画社会づくり活動補助金交付事業	企画情報課				継続	29

3. 企業・地域団体等における女性の参画促進

具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
			現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
1 事業者等への女性登用の働きかけ	農業協同組合等団体への女性登用の協力要請	農林課				継続	30
	商工会議所、商工会等への要請	商工観光課				継続	31
2 地域における政策・方針決定過程への女性の参画促進	地域審議会への女性の参画促進	企画情報課	28%	35%(設置期間H27年度末まで)	31%	継続	32
	国民保護協議会及び防災会議における女性委員の登用	危機管理課				継続	33
	廃棄物減量等推進員への女性の参画促進	生活環境課	17%	30%	18%	充実	34
	宇和島市美化運動推進委員会への女性の参画促進	生活環境課	13%	25%	13	充実	35
	まちづくり女性会議の設立	商工観光課				継続	36

4. 地域社会への男女の参画促進

具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		%	計画(2次)での方向	項
			現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
1 地域社会での男女共同参画意識の啓発	意識啓発促進事業	生涯学習課				継続	37
2 男性の地域活動への参画促進	男性料理教室(地区公民館)	生涯学習課	3館	30館	3館	充実	38
3 コミュニティ活動の活性化と活動情報の提供	自治会単位での自主防災組織の育成	危機管理課	413組織	500組織	417組織	継続	39
	花いっぱい運動	生活環境課				継続	40
	まちづくりの主体となる組織・リーダー育成事業	商工観光課				継続	41
	青少年活動振興事業	生涯学習課	16,304人	20,000人	14,371人	充実	42
4 コミュニティ施設の整備・充実	インターネットによる施設予約の推進	企画情報課				継続	43
	集会所改修補助事業	企画情報課				新規	44
	市有施設における空きスペースの有効活用	財政課				継続	45
	交流拠点施設の女性の運営参画	商工観光課				継続	46
5 自主防災組織の育成	自治会単位での自主防災組織の育成(同一関連事業あり・調査省略)	危機管理課	413組織	500組織	417組織	継続	39
6 男女共同参画推進団体等のネットワークづくりの推進	男女共同参画推進団体連携事業	企画情報課				新規	47

5. 市政への関心の高揚

具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
			現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
1 市民と行政との情報・意識の共有化	ホームページへのアクセス件数	総務課	1,088件/日	1,800件/日	1,225件/日	充実	48
2 多様な分野における市民及び民間の参画・協働の促進	パブリックコメントを求めた件数	総務課	4件/年	7件/年	1件/年	充実	49
3 ホームページを利用した議会情報の発信	議会インターネットライブ中継	議会事務局				継続	50
4 議会への関心の高揚	議場を活用したイベント等の開催	議会事務局	0回/年	1回/年		継続	51

推進方策2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保

1. 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
1	就業環境の整備	商工会議所、商工会を通じ事業所等への啓発	商工観光課				継続	52
			病院局(宇和島病院)				継続	53
2	雇用機会の確保と雇用の促進	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調査省略)	企画情報課				継続	2
		シルバー人材センター充実支援	高齢者福祉課				継続	54
		地域提案型雇用創造促進事業(セミナーの開催)	商工観光課				継続	55
3	男女雇用機会均等法等について事業所への啓発	団体を通じ、農林業従事者への啓発	農林課				継続	56
		商工会議所、商工会を通じ事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調査省略)	商工観光課				継続	52
		団体を通じ、水産従事者への啓発	水産課				継続	57
4	男女雇用機会均等法等について市民への啓発	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調査省略)	企画情報課				継続	2
5	企業等における男女平等教育・啓発の推進	男女共同参画出前講座 (同一関連事業あり・調査省略)	企画情報課	4回	5回	1回	継続	18
		男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調査省略)	企画情報課				継続	2
		商工会議所、商工会を通じ事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調査省略)	商工観光課				継続	52
6	労働に関する相談や苦情への対応	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調査省略)	企画情報課				継続	2
7	セクシュアル・ハラスメントの防止	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調査省略)	企画情報課				継続	2
8	セクシュアル・ハラスメントの相談対応	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調査省略)	企画情報課				継続	2
9	男女どちらかの性の進出が遅れている分野への参画促進	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調査省略)	企画情報課				継続	2
10	市の契約手法の検討	入札(見積)参加資格業者登録への反映の検討	財政課				継続	58

2. 母性健康管理対策の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
1	女性就労者の健康管理の啓発	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調査省略)	企画情報課				継続	2
		商工会議所、商工会を通じ事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調査省略)	商工観光課				継続	52

3. 市役所や市関連施設などにおける男女共同参画の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
1	市職員への啓発	市職員男女共同参画研修会	企画情報課				新規	59
2	働きやすい環境づくりとセクシュアル・ハラスメントの防止	市職員のセクハラ被害相談への対応のマニュアル化	総務課				充実	60
		セクハラ相談窓口設置	総務課				充実	61
		選挙時の開票作業における女性参画促進	選挙管理委員会	3.4%	10%	5%	継続	62
		病院局における各施設へのセクハラ相談窓口	病院局				継続	63

推進方策3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立

1. 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
1	農林水産業、商工業など自営業における男女共同参画の推進	家族経営協定締結の支援	農林課				継続	64
2	農業委員会等への参画支援	農業委員への女性の参画促進	農業委員会	3名	4名	改選なし	継続	65
3	家族経営協定の推進	家族経営協定締結の支援 (同一関連事業あり・調査省略)	農林課				継続	64
		家族経営協定締結の支援	農業委員会				継続	66
4	経営能力向上のための支援	高速インターネットの普及促進(地域情報化推進事業)	企画情報課				継続	67
		宇和島市生活研究協議会の活動支援	農林課				継続	68
		宇和島地域ブランド化事業	商工観光課				継続	69
		有用貝類・海藻類試験研究事業(特産品の開発)	水産課				継続	70
		農林漁業振興事業資金利子補給事業(経営体制の強化)	水産課				継続	71
5	快適に働くための条件整備	家族経営協定締結の支援 (同一関連事業あり・調査省略)	農林課				継続	64
6	都市と交流・共生する農山漁村づくり	シーカヤックによる交流人口拡大を目指す。	商工観光課				継続	72

2. 再就職や起業活動などへのチャレンジ支援

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
1	起業活動の支援		産業経済部各課					
2	女性の職業能力開発のための支援	地域提案型雇用創造促進事業(セミナーの開催) (同一関連事業あり・調書省略)	商工観光課				継続	55
3	起業家育成のための情報提供	地域提案型雇用創造促進事業(セミナーの開催) (同一関連事業あり・調書省略)	商工観光課				継続	55
4	再就職への支援	地域提案型雇用創造促進事業(セミナーの開催) (同一関連事業あり・調書省略)	商工観光課				継続	55

推進方策4 国際交流・協力の推進

1. 国際交流の充実および国際感覚の向上

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
1	国際ボランティア養成講座の開催	中国象山県との交流事業(中国語講座開催事業)	総務課	59人	70人	55人	継続	73
2	国際交流の充実	ハワイ交流事業	総務課				継続	74
		日韓友好支援事業	生涯学習課				継続	75
3	国際社会の動向の情報収集		企画情報課					

基本目標Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることのできる環境づくり

推進方策1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援

1. 働き方の見直しの促進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
1	事業所に対する働き方の見直しの意識啓発	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				継続	2
		商工会議所、商工会を通じての事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調書省略)	商工観光課				継続	52
2	労働時間短縮等の促進	市職員の年次有給休暇の取得促進	総務課	年平均10.5日	年平均10日以上	年平均9.3日	継続	76
		市職員の休業・休暇制度の周知、環境整備	総務課				継続	77
		男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				継続	2
		商工会議所、商工会を通じての事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調書省略)	商工観光課				継続	52
3	在宅勤務等、新しい就業形態等の推進	市職員への短時間勤務制度の導入	総務課				継続	78
		市職員の時間外勤務時間の削減	総務課	-	年間上限360時間	-	継続	79
		高速インターネットの普及促進(地域情報化推進事業) (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				継続	67
		男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				継続	2
4	子育てを促進する職場環境の整備	商工会議所、商工会を通じての事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調書省略)	商工観光課				継続	52
		高速インターネットの普及促進(地域情報化推進事業) (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				継続	67
		男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				継続	2
		商工会議所、商工会を通じての事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調書省略)	商工観光課				継続	52

2. 家庭生活における男女共同参画の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
1	家庭での男女共同参画に関する意識啓発	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				継続	2
		意識啓発促進事業 (同一関連事業あり・調書省略)	生涯学習課				継続	37
2	男女共同参画による子育ての促進	保育所・子育て支援センター事業	福祉課	6箇所	6箇所	5箇所	継続	80
		幼稚園の情報機能の活用による意識の見直し	教育総務課	100%	100%	100%	充実	81
		おやじの会推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	77%	100%	84%	継続	82
3	男性の家事・育児等への参画促進	両親学級	保険健康課				充実	83
		男性料理教室(地区公民館) (同一関連事業あり・調書省略)	生涯学習課	3館	30館	kasyi	充実	38

推進方策2 育児期・介護期における環境の整備

1. 子育て支援の充実

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
1	育児休業制度の促進	市職員の仕事と子育ての両立等についての相談窓口での相談受付	総務課				継続	84
		市職員の育児休業等取得率の向上(少子化・子育て支援)	総務課	男性0% 女性100%	男性10% 女性100%	男性5.3% 女性100%	継続	85
		商工会議所、商工会を通じての事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調査省略)	商工観光課				継続	52
2	子ども看護休暇制度の啓発	市職員への子どもの看護休暇等の特別休暇の周知と取得の促進	総務課				継続	86
		商工会議所、商工会を通じての事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調査省略)	商工観光課				継続	52
3	男性の育児休業取得に向けた意識啓発	「えひめの保育」等を通じた情報提供・意識啓発	福祉課				継続	87
4	育児支援サービスの利用促進	保育サービスネットワーク事業	福祉課				充実	88
5	延長保育の充実	延長保育の充実	福祉課	6箇所	9箇所	6箇所	充実	89
6	休日保育の充実	休日保育の充実	福祉課				継続	90
7	特定保育の実施	特定保育の実施	福祉課				充実	91
8	病後児保育の充実(施設型)	病後児保育の充実(施設型)	福祉課	1箇所	2箇所	1箇所	充実	92
9	一時保育の充実	一時保育の充実	福祉課				充実	93
10	パソコンネットワークの構築	保育サービスネットワーク事業 (同一関連事業あり・調査省略)	福祉課				継続	88
11	放課後子どもプランの充実	学童保育の充実	福祉課	9箇所	10箇所	9箇所	充実	94
		放課後子どもプランの充実	生涯学習課	10箇所	10箇所 (事業拡充)	11箇所	充実	95
12	地域子育て支援センター事業への支援充実	地域子育て支援センター事業	福祉課				継続	96
13	ファミリー・サポート・センター事業の実施	ファミリー・サポート・センター事業	福祉課				継続	97
14	児童館設置の検討	児童館設置の検討	福祉課	-	1箇所	-	継続	98
15	育児支援等各種の情報提供	保育サービスネットワーク事業 (同一関連事業あり・調査省略)	福祉課				継続	88
16	乳幼児・児童を持つ家庭への各種手当・医療費の助成	乳幼児医療費助成・児童手当	福祉課				継続	99
17	ひとり親家庭への各種手当・医療費の助成	母子家庭医療費助成・児童扶養手当	福祉課				継続	100
18	ひとり親家庭への相談・支援活動の充実	家庭・児童相談室(相談員3人)	福祉課				継続	101
19	ひとり親家庭への就労支援	母子自立支援事業	福祉課				継続	102
20	子育て意識の啓発	子育て支援広報啓発事業	福祉課				継続	103
		健康衛生推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	83%	100%	85%	継続	104
21	子育てを支援する環境整備	歩道の切下げ及び点字ブロックの設置等	建設課	20%	22%	20%	継続	105
		都市公園における移動等円滑化への対応	都市整備課				継続	106
		公営住宅整備事業(バリアフリー型公営住宅数の拡大)	建築住宅課	56戸	128戸	-	継続	107
22	地域交流の推進	保育所地域交流事業	福祉課				継続	108
		幼稚園における地域交流	教育総務課				充実	109
		豊かな人間性育成推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	87%	100%	86%	継続	110
		地域交流推進事業	生涯学習課				継続	111

2. 介護支援の充実

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
1	介護休業制度の促進	市職員への休業・休暇制度の周知、環境整備	総務課				継続	112
		商工会議所、商工会を通じての事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調査省略)	商工観光課				継続	52
2	介護支援の充実	家族介護支援事業(介護用品支給事業)	高齢者福祉課				継続	113
		在宅老人等介護手当事業	高齢者福祉課				継続	114
		地域支援事業(高齢者見守り配食事業(週3回以内配食、安否確認))	高齢者福祉課				継続	115
		やわらか食お料理教室	病院局 (宇和島病院)				継続	116

基本目標Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり

推進方策1 あらゆる暴力の根絶

1. あらゆる暴力の防止

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
1	あらゆる人に対する暴力の防止	防犯灯設置補助金交付事業	企画情報課				継続	117
		児童虐待・DVに関する情報を広報に掲載	福祉課				継続	118
		「愛の一声」活動推進事業(少年センター)	生涯学習課				継続	119
		市民啓発推進事業	人権啓発課				継続	120
2	配偶者等からの暴力の防止	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				継続	2
		DVに関する情報を広報に掲載	福祉課				継続	121
3	ストーカー行為防止対策	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				継続	2
		婦人相談員事業	福祉課				継続	122
4	外国人労働者に対する暴力等の防止	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				継続	2

2. 相談体制の充実と被害者保護の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
1	相談事業の充実	婦人相談員事業 (同一関連事業あり・調書省略)	福祉課				継続	122
2	被害者保護の推進	DV被害者の申請による住民票等交付制限の取扱い等の徹底	市民課				継続	123
		相談体制の充実(週5日常勤の婦人相談員の配置)	福祉課				継続	124
3	雇用の分野以外でのセクシュアル・ハラスメントの防止・相談体制の充実	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				継続	2
		婦人相談員事業 (同一関連事業あり・調書省略)	福祉課				継続	122

推進方策2 生涯を通じた健康支援

1. 市民の健康づくり支援

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
1	健康教育・健康相談	健康相談事業	保険健康課				充実	125
		健康教育事業	保険健康課				充実	126
		高齢者サロンへの医療出前講座	病院局 (吉田病院)	-	18回	3回	新規	127
		医療懇談会の実施(地域住民の健康増進)	病院局 (津島病院)	(49自治会)	50回	42回	継続	128
2	生活習慣病予防教室	特定保健指導の推進	保険健康課	36%	60%	37%	継続	129
		糖尿病教室	病院局 (宇和島病院)				継続	130
		心臓病教室	病院局 (宇和島病院)				継続	131
		肝臓病教室	病院局 (宇和島病院)				新規	132
		生活習慣病予防のためのお料理教室	病院局 (宇和島病院)				新規	133
3	壮年期からの健康づくり	心の健康相談事業	保険健康課				継続	134
4	男性に対する健康づくり支援	心の健康づくり教育事業	保険健康課				継続	135
5	喫煙・飲酒に対する対策	健全育成推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	91%	100%	92%	継続	136
		受動喫煙防止対策事業(公民館施設内禁煙)	生涯学習課				継続	137
		禁煙外来の開設	病院局(宇和島・津島病院)				新規	138
6	安心して子どもが産める環境づくり	妊婦健康診査(公費負担)	保険健康課	98.1%	100%	99.1%	継続	139
		両親学級	保険健康課				充実	140
		妊産婦相談	保険健康課				充実	141
		母子健康手帳の交付事業	保険健康課				充実	142
		安産教室	病院局 (宇和島病院)				新規	143
		育児学級	病院局 (宇和島病院)				継続	144
7	生涯スポーツの推進	総合型スポーツクラブの組織充実への支援	生涯学習課				充実	145

2. 教育・相談の充実

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
1	HIV/エイズや性感染症に関する知識の普及	HIV/エイズ・性感染症に関する正しい知識の普及・啓発	保険健康課				継続	146
		健康衛生推進事業・人権啓発推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	87%	100%	89%	継続	147
2	発達段階に応じた生命と人権を大切に する性教育の推進	生きる力を育む教育推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	87%	100%	89%	継続	148

3. 保健・医療体制の整備

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
1	健康診査	基本健康診査の推進(H19年度老人保健法→H20年度特定健診の受診率)	保険健康課	20.3%	60%	22%	継続	149
		人間ドックの充実(施設設備・検査項目)	病院局(宇和島病院)				継続	150
2	がん検診の体制整備	がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん)	保険健康課	12%	50%	増加	継続	151
3	地域医療の充実	国民健康保険直営診療所運営事業	保険健康課	9施設4医師	9施設5医師	9施設4医師	継続	152
		診療船うわじま維持管理事業	保険健康課				継続	153
		病院と診療所の連携強化	保険健康課				継続	154
			病院局(宇和島病院)				新規	155
		地域がん診療連携拠点病院としての機能充実	病院局(宇和島病院)				継続	156

推進方策3 高齢者や障害者等がいそいそと生活できる条件整備

1. 社会参画の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
1	地域生活支援体制の整備	コミュニティバス運行事業	企画情報課	38,971人	43,000人	37,323人	継続	157
		生活交通バス路線維持・確保事業	企画情報課				継続	158
		離島航路維持・確保事業	企画情報課				継続	159
		在宅福祉事業(宇和島市緊急通報装置貸与事業)	高齢者福祉課				継続	160
		家族介護支援事業(介護用品支給事業) (同一関連事業あり・調書省略)	高齢者福祉課				継続	113
		在宅老人等介護手当事業 (同一関連事業あり・調書省略)	高齢者福祉課				継続	114
2	地域生活の支援	地域支援事業(高齢者見守り配食事業(週3回以内配食、安否確認)(同一関連事業あり・調書省略)	高齢者福祉課				継続	116
		コミュニケーション支援事業	福祉課	431人	500人	374回	充実	161
		移動支援事業	福祉課				継続	162
		地域活動支援センター	福祉課	180人/月	延利用人数 9,500人	175人/月	継続	163
		日常生活用具医療等事業	福祉課	571人	350人	588人	継続	164
		相談支援事業	福祉課				継続	165
		自立支援医療事業	福祉課				継続	166
		重度心身障害者医療事業	福祉課				継続	167
		特別障害者(児)福祉手当事業	福祉課				継続	168
		特別児童扶養手当事務事業	福祉課				継続	169
3	教育・育成の充実		福祉課				継続	170
		特別支援教育推進事業	教育総務課				充実	171
			学校教育課				継続	172
4	消費者対策の充実	消費者教育事業(消費者講座)	企画情報課	323人	500人	310人	継続	173
		消費者啓発事業	企画情報課				継続	174
5	高齢者の生きがいづくり	老人クラブ育成事業	高齢者福祉課				継続	175
		老人福祉事業(シルバー人材センター充実支援) (同一関連事業あり・調書省略)	高齢者福祉課				継続	55
		高齢者の生きがいづくり推進事業(地区公民館)	生涯学習課	21館	30館	26館	充実	176
6	高齢者や障害者等にやさしいまちづくり	歩道の切下げ及び点字ブロックの設置等 (同一関連事業あり・調書省略)	建設課	20%	22%	20%	継続	105
		都市公園における移動等円滑化への対応 (同一関連事業あり・調書省略)	都市整備課				継続	106
		公営住宅整備事業(バリアフリー型公営住宅数の拡大) (同一関連事業あり・調書省略)	建築住宅課	56戸	128戸	-	継続	107
		障害者用トイレ設置事業(中央・地区公民館)	生涯学習課	13館	15館	13館	継続	177

2. 介護予防事業の充実

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
1	介護予防事業の実施	介護予防事業に係る二次予防事業	高齢者福祉課				継続	178
		介護予防事業に係る一次予防事業	高齢者福祉課				継続	179
2	地域包括支援センター事業の実施	介護予防ケアマネジメント事業	高齢者福祉課				継続	180
		総合相談・権利擁護事業	高齢者福祉課				継続	181
		成年後見人制度支援事業	高齢者福祉課				継続	182
		包括的・継続的ケアマネジメント事業	高齢者福祉課				継続	183
3	認知症高齢者への支援	介護予防事業に係る一次予防事業 総合相談権利擁護事業	高齢者福祉課				継続	184

3. 貧困など生活上の困難に直面する男女への支援

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H24)	目標値(H29)	実績値(H25)		
1	多重債務相談の実施	多重債務相談	企画情報課				新規	185

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	1 広報・啓発の推進	
施策の方向及び具体的施策	1 男女共同参画についての広報・啓発活動の充実	(1) 男女共同参画セミナーの開催

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
生涯学習センターにおける男女共同参画セミナー	生涯学習課	1講座/年	1講座/年	①充実		●	③新規	
事業の概要								
講演会や研修会等あらゆる機会を通じて、男女共同参画の理念や内容についての啓発を行うために研修会を行う。								
平成25年度実績								
公開講座1回:「放射線は人の健康にどんな影響を与えるか」参加者数13人							決算額	
							20千円	
							実績値	
							1講座	
							進捗状況	
							3	
事業に対する評価・課題等								
平成25年度、参加人数は少なかったが、1講座を実施した。今年度も継続実施ができるようにしたい。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3	
平成26年度予定								
公開講座1回(実施予定)							予算額	
							50千円	
							目標値	
							-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	1 広報・啓発の推進	
施策の方向及び具体的施策	1 男女共同参画についての広報・啓発活動の充実	(2) あらゆる機会における広報・啓発活動の充実

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
男女共同参画広報啓発事業	企画情報課			①充実		●	③新規
事業の概要							
男女共同参画に関する理解を広めるため、国の取組みや宇和島市で策定した「男女共同参画基本計画」に基づく施策などを広報誌などにより周知するほか、市民を対象とした講演会やイベントを開催して意識啓発を図ろうとするものである。							
平成25年度実績							
【男女共同参画講演会】 日時:平成25年6月2日(日)13:30~15:00 場所:南予文化会館 内容:講演会 講師 絵本作家 宮西達也 氏 演題 「お父さんはウルトラマン」 ロビー展 (男女共同参画啓発パネル展,人権に関するパネル展,健康に関するパネル展,消費生活に関するパネル展)							決算額
							760千円
							実績値
							左記参照
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
参加人数は280人と少なかったが、今まで講演会に参加のなかった若い世代や親子連れの参加があったことは評価できる。周知方法に工夫をしより多くの方に参加してもらえる工夫をする必要がある。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成26年度予定							
【男女共同参画講演会】 日時:平成26年7月12日(土)13:30~15:00 場所:南予文化会館 内容:講演会 講師 書家 金澤泰子 氏 ロビー展 (男女共同参画啓発パネル展,人権に関するパネル展,消費生活に関するパネル展)							予算額
							907千円
							目標値
-							

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	1 広報・啓発の推進	
施策の方向及び具体的施策	1 男女共同参画についての広報・啓発活動の充実	(2) あらゆる機会における広報・啓発活動の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
「議会だより」への掲載	議会事務局	0掲載	1掲載	①充実		●	③新規
事業の概要							
年4回発行している議会だよりの紙面の一部を利用して男女共同参画啓発に関する文面を掲載する。							
平成25年度実績							
実績なし							決算額
							実績値
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
議会的には題材に乏しいが、女性議員を特集するなど、今後検討していく必要がある。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成26年度予定							
実施を検討する。							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	1 広報・啓発の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 男女共同参画に関する情報の収集と調査・研究の推進	(2) メディアにおける男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
広報事業への女性参画(広報うわじま・HP作成等)	総務課	1人/3人	1人/3人	①充実		●	③新規

事業の概要

市の広報紙、ホームページ等について男女双方から見ても違和感、疎外感のない表現となよう点検し、必要に応じて見直しを行ないます。また、刊行物等に関する表現についてガイドラインの作成を検討します。

平成25年度実績

市の広報紙、ホームページ等について、男女双方から見ても違和感、疎外感のない表現となるよう点検している。	決算額	-
	実績値	1人/2人
	進捗状況	3

事業に対する評価・課題等

男女双方から見ても違和感、疎外感のない表現ができた。
刊行物等に関する表現についてはガイドラインの作成には至っていない。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成26年度予定

市も広報紙、ホームページ等での表現については、今後も点検しながら業務を遂行し、必要に応じて見直しを行う。また、刊行物等に関する表現についてガイドラインの作成を検討する。	予算額	-
	目標値	1人/2人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり			
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進			
施策の方向及び具体的施策	1 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進	(1) 家庭教育に関する学習機会の提供		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向
		現状値(H24)	目標値(H29)	
生きる力を育む教育活動推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	93%	100%	①充実 ②継続 ● ③新規
事業の概要				
家庭学習の習慣化、早寝・早起き・朝ごはん運動を、学校と家庭との連携を強化して推進する。 学級PTAや参観日の話し合いの場で、家庭教育のあり方について考えるなど、家庭教育に関する学習の機会を多く持つ。				
平成25年度実績				
学級PTAや参観日の話し合いの場で、家庭教育のあり方について考えるなど、家庭教育に関する学習の機会を多く持つ。家庭生活において、相手の人格と立場を理解・尊重し、助け合い協力し合うことの大切さを学ぶ機会を、家庭科や総合的な学習の時間などに設けた。学校だより・学年通信・学級通信・保健だより・生徒指導通信を定期的に発行した。校区別人権・同和教育懇談会を人権・同和教育参観日に行った。学校だより等のお知らせを通して、家庭での基本的な生活習慣の育成が重要であることを啓発した。地区別教育懇談会・個別懇談を実施し、家庭学習や学校での学習の様子などを理解していただき、学校と家庭との協力関係を構築できた。男女の特性を理解した上で、家庭における生活の在り方については、保健体育科、技術・家庭科、学級活動等で、発達段階に応じた年間指導計画でその基盤を学習している。望ましい食生活についての授業を参観日に行い、その後の学校保健委員会で栄養士さんにバランスの良い食事の大切さについて話をいただいた。男女の特性を理解したうえでの家庭における生活の在り方については、保健体育科、技術・家庭科、学級活動等で、発達段階に応じた年間指導計画でその基盤について学習している。	決算額			
	実績値			
	92%			
	進捗状況			
				4
事業に対する評価・課題等				
学校便り、学級通信等を定期的に発行し、家庭教育のあり方について意識してもらうように努めた。講演会など各種行事への参加人数の確保が難しい。参観日等の学校での会合には、夫婦で参加する保護者が増加した。授業参観は多いが、学級PTAへの参加は少ない。学校と家庭とが、子育て等に関する情報交換や学習の場をもつことができたが、2極化の傾向にある。もっと自由に意見が言えるような雰囲気作りが必要である。学級懇談会についても参加していただける保護者は固定化している。				
男女共同参画の視点での評価				
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか				4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか				5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか				4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか				5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか				4
平成26年度予定				
各種通信やホームページの内容の充実を図る。みんなが興味を示し、積極的に参加できる事業を行う(参加率を上げる)。学級レク活動が楽しい交流の場となり、保護者通しの意思疎通が図れるようにする。PTA専門部会を中心に、みんなが会の企画・運営に参加できる事業を実施する。学校保健委員会に歯科衛生士さんを招いて、歯と口の健康について学習する。毎月第一日曜日を「結出小家読の日」として設定し、親子読書活動を推進する。	予算額			
	目標値			
	100%			

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり						
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進						
施策の方向及び具体的施策	1 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進			(1) 家庭教育に関する学習機会の提供			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
家庭教育推進事業(地区公民館)	生涯学習課	29館	30館 (延べ60回)	①充実 ●	②継続		③新規
事業の概要							
家庭教育力の向上を目指し、保護者会などの機会を活用して思春期の子どもをもつ親を対象に公民館で家庭教育に関する講座を実施するもの。							
平成25年度実績							
【家庭教育講座】 実施公民館数 : 30館 講座実施回数 : 77講座 述べ時間数 : 127時間 参加者数 : 3,120人(うち、男性 1,260人、女性 1,860人)							決算額
							484千円
							実績値
							30館
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
実施公民館数が、平成24年度から1館増加した。 講座の内容として、子育て・食育等が中心となっているため、参加者がどうしても女性中心になる。職をもつ親が参加しやすいように夜間(18:00以降)の開講も積極的に進めていきたい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
【家庭教育講座】 実施公民館数 : 29館 講座実施回数 : 82講座 述べ時間数 : 135時間							予算額
							421千円
							目標値
							30館

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり						
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進						
施策の方向及び具体的施策	1 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進			(1) 家庭教育に関する学習機会の提供			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
校区别人権・同和教育懇談会	人権啓発課	5回	4回	①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
人権尊重の意識を高めるとともに、人権の視点や関連から男女平等の考え方や家庭生活の大切さについての認識を深めるため、毎年1回講師を招いての講演会等を開催するものである。							
平成25年度実績							
会場 宇和島市立三間小学校 平成25年5月26日(日) 参加者:40名 「しあわせに生きる1番のカギ～差別する心からともに生きる心へ」 講師 宇和島市人研教育協議会副会長 浅田 淳 さん							決算額
							38千円
会場 宇和島市立和霊小学校 平成25年10月13日(日) 参加者:400名 「命の根っこにある人権」 講師 大洲高等学校教諭 繁樹義一 さん							実績値
会場 宇和島市立下灘小学校 平成25年10月27日(日) 参加者:147名 「今でしょ！人権学習」 講師 宇和島市立下波公民館長 酒井忠彦 さん							4回
会場 宇和島市立南部小学校 平成25年12月5日(木) 参加者:25名 「しあわせに生きる1番のカギ～差別する心からともに生きる心へ」 講師 宇和島市人研教育協議会副会長 浅田 淳 さん							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
言葉の大切さや「人権」の意味について、児童にも分かりやすく話をしていただいた。友だちなどの人間関係についても、考え直す機会となり、感想の中にもそのことがよく表れていた。パワーポイントを利用し、変化と機知に富んだお話で、楽しい充実した講演であった。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成26年度予定							
人権尊重の意識を高め、人権の視点や関連から男女平等の考え方や家庭生活の大切さについての認識を深めるために、人権問題講演会等を4回程度開催する。							予算額
							38千円
							目標値
							4回

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(1) 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
就学前教育における啓発の推進(実施している施設の割合)	福祉課			●			
事業の概要							
<p>学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなどの教育を充実させます。また、児童一人一人の特性に応じた生徒指導を行うことにより、いじめや不登校の未然防止に努めます。</p>							
平成25年度実績							
通常保育の一部として行い、全ての保育所で実施している。							決算額
							0千円
							実績値
							100%
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
特になし							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
前年と同様							予算額
							0千円
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方針	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(1) 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続		③新規
就学前教育における啓発の推進(実施している施設の割合)	教育総務課			①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
<p>学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなどの教育を充実させます。また、児童生徒一人一人の特性に応じた生徒指導を行うことにより、いじめや不登校の未然防止に努めます。</p>								
平成25年度実績								
<ul style="list-style-type: none"> ・幼児一人一人の発達や特性を理解し、職員が連携し合い、より良い成長が促されていくよう援助した。また、幼児同士が関わる中で、互いの良さに気付くように努めた。 ・遊びや生活の中で、集団のルールの大切さに気付かせ、優しさや思いやりの気持ちが育まれるよう取り組んできた。 ・幼児同士が触れ合い、自分の思いをのびのびと表現しながら活動できる場の工夫に努めた。 ・家庭教育支援事業等を通して、子育ての楽しさや家庭教育の大切さを知らせるなど、保護者への啓発を図ってきた。 ・園生活の様子を保護者へ伝えたり、発信したりして家庭生活の大切さを啓発してきた。 ・家族参観日など、子育てに関心を示してもらう機会を設けるとともに、人権・同和教育の研修会や保育実践を行う。 								決算額
								—
								実績値
								100%
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の幼児理解に努め、発達課題を明らかにし個々に即した指導に取り組むことができた。集団生活における決まりの必要性を知らせ、自己抑制ができるように努めるとともに命の大切さについても知らせていく。 ・生活リズムの乱れから遅刻や欠席等が続く家庭については、理解・協力がなかなか得られなかった。 ・互いの思いを伝えたり、受け止めたりしながら活動するようになった。 ・保護者の子育てに対する意識の変化がみられるようになった。 ・人権・同和教育研修会を通して、人権尊重への意識や、家庭生活の大切さを理解してもらうことができた。父親の研修会参加が課題である。 								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成26年度予定								
<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の幼児理解と、個々に合った指導の在り方の充実 ・地域の方や身近な人たちとの交流。 ・引き続き職員間の幼児理解と個に応じた援助等を行うとともに、保護者への啓発に努める。 ・互いの思いを伝え合い、相手を思いやる幼児の育成・指導家庭教育の大切さの意識啓発 ・家族参観日・人権・同和教育保護者学習会 								予算額
								—
								目標値
								100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(1) 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
豊かな心を育む教育活動推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	97%	100%	①充実	②継続	●	③新規	
事業の概要								
<p>学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなど教育の充実。児童一人一人の特性に応じた指導を行うことにより、いじめや不登校の未然防止を図る。男女平等の精神を学校教育全体を通して児童に指導していく。</p>								
平成25年度実績								
<p>縦割班の活動を通して、男女や学年の枠を超えた活動が行えた。定期的に「児童を見つめる会(生徒指導研修)」を実施し、全教職員体制で、児童一人一人の特性に応じた指導に努める。教員一人一人の能力・特性を生かした校務分掌の在り方を検討した。男女混合名簿を作成するなど、男女平等思想に基づいた教育実践を行った。清掃、体育祭・運動会、遠足、諸活動などを学年を超えて班に分けて行った。学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭教育の大切さ等に関する教育を充実させた。また、児童生徒一人一人の特性に応じた指導を行うことで、いじめや不登校の未然防止を図った。全校児童を対象に毎学期「なかよし生活アンケート」を毎月行った。全校児童生徒を対象に「生活アンケート」を毎月行った。</p>								決算額
								実績値
								95%
								進捗状況
事業に対する評価・課題等								
<p>男女が協力して授業や学校行事に取り組む場面が多く見られた。生徒指導情報を全教職員が共有し、全教職員体制で生徒指導に対応することができた。教育相談の仕方を工夫し、全教職員で全校児童を見守る体制を整えることができたチームでの取組を継続していきたい。いじめに関しては今後もしっかり注意していかなければならない。保護者の啓発を今後も続けていきたい。学校の教育目標「笑顔で登校満足して下校」の達成に大きな効果があった。女子のリーダーが育ってきている。</p>								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成26年度予定								
<p>児童一人一人に目を向けた教育相談の充実を図る。幼稚園との交流活動をさらに充実させる。全校児童と向き合う時間の確保に努め、教師に悩みや願いを相談できる信頼関係を確立する。保育園、障害のある方との交流活動を年間計画に組み込み、充実を図る。いじめや不登校などの未然防止の取組について、保護者に分かりやすく説明し、理解と協力を得るようにする。</p>								予算額
								目標値
								100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(1) 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
教職員人権・同和教育研修会(講演会)	人権啓発課			●			

事業の概要

様々な人権問題解決への確固たる姿勢を確立するとともに、男女平等の意識も含めた人権意識を高め、一人ひとりの教職員の資質向上を図るため年1回研修会を開催する。

平成25年度実績

日 時 平成25年8月9日(金) 会 場 宇和島市立コスモスホール三間 テー マ 「LDから考えよう! ~あらゆる子どもの為にできること~」 講 師 明蓬館高等学校コーディネーター 南雲 明彦 さん 参加人数 520名	決算額	247千円
	実績値	1回
	進捗状況	5

事業に対する評価・課題等

学習障害の一つであるディスレクシア(読み書き困難)についてご講演いただいた。発達障害がある子をはじめ様々な立場の子どもの存在を認め、クラスに居場所を作ってほしいという講師の訴えに、参加した教職員は熱心に聞き入っていた。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

平成26年度予定

日 時 平成25年8月8日(金) 会 場 宇和島市立コスモスホール三間 テー マ 「深刻化するネットいじめ ~その現状と大人の役割~」 講 師 メディアジャーナリスト 渡辺 真由子 さん 参加人数 500名	予算額	30千円
	目標値	1回

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(2) 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
特別支援教育推進事業	教育総務課			●			

事業の概要

子どもたちが将来の進路や仕事、家庭生活等について、性別にとらわれず主体的に多様な選択ができるよう、指導の充実を図ります。また、一人一人のニーズに合った特別支援教育の充実を図ります。

平成25年度実績

<ul style="list-style-type: none"> ・園だより・クラスだより等を通して、園での幼児の姿や育ちを知らせるとともに、家庭教育学習会を実施し、家庭教育の大切さや楽しさなどを共有することで、保護者の子育ての参考になることや思い等発信してきた。 ・園生活を通して、様々なことに興味・関心をもち、自己発揮しながら活動できる環境 設定を工夫し、援助の仕方考えた。 ・保護者との連携を通して一人一人の課題や問題点を探り、解決できるよう努めてきた。また、特別支援教育については、関係諸機関と連携を図りながら、職員自身も研修を深めてきた。 ・一人一人の個性や自主性を尊重し、様々な体験を通して、自分に自信を持ち、自分を大切にできる幼児を育てる。 	決算額	—
	実績値	100%
	進捗状況	5

事業に対する評価・課題等

- ・保護者との連携を深め、協力しながら幼児自身が自分で考え、自分で行動することができるよう生きる力の基礎を培っていく。
- ・成長の過程を、長いスパンで考えていくようにして、日々心豊かな経験を積み重ねていく。
- ・家庭教育学習会の場を十分に提供することができなかった。
- ・年長の保護者全員が、発達障害の症状や保護者に対して、理解と共感を示してくれた。配慮を取り巻く人たちの協力を得ながら、就学することができた。今後の小学校との連携が課題である。
- ・園内研修を重ね、共通理解を図りながら指導にあたり、幼児の成長・発達が見られる。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

平成26年度予定

<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学習会の充実した内容の選択と取組 ・保護者の実情や要望等に適した学習会の内容を取り入れ、園と保護者との一層の連携を図る。 ・多様なニーズに対応できる環境構成や、幅広い考えを受け入れる素地作りの指導を工夫する。 ・様々な機会を作り、幼児の育ちや保護者の思いを理解する。 ・家庭の協力を得ながら幼児一人一人に自尊感情の芽生えを育み、配慮を要する幼児を中心に、主体的に取り組む幼児集団の育成を目指す。 	予算額	—
	目標値	100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(2) 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
特別支援教育推進事業	学校教育課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
一人一人のニーズにあった個別の教育支援計画を作成するなど、特別支援教育の充実を図る。校内支援委員会において、全職員の共通理解を図り、より適切な支援ができるようにする。一人一人の良さを生かす教育を推進する。							
平成25年度実績							
一人一人のニーズにあった個別の教育支援計画を作成するなど、特別支援教育の充実を図る。校内支援委員会において、全職員の共通理解を図り、より適切な支援ができるようにする。一人一人の良さを生かす教育を推進する。「個別の教育支援計画書」を作成し、特別支援教育推進の充実に努めた。特別支援教育コーディネーターを中心に、特別支援教育の校内研修の充実を図った。個別の教育支援計画・指導計画を作成するとともに、特別支援教育研修を計画的に実施した。校内委員会を定期的に実施し、全教職員の共通理解を図り、適切な支援をすることができた。一人一人の障害に対する正しい理解と認識を認め、適正な就学の推進に「努め、関係諸機関と連携し、指導内容や方法の充実を図った。校内研修で取り上げ、校内就学指導委員会の充実を図った。ケース会議を定期的に開催した。言葉の教室担当教諭を講師として招き、明瞭な発音のための口形の指導を受けた。							決算額
							実績値
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
特別支援教育支援員の理解・協力により、きめ細かな支援を行うことができた。全職員が共通理解を図りながら、支援・指導に当たることができた。教職員の研修が深まり、個に視点をあてた取り組みをすることができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成26年度予定							
特別支援学級の児童に対し、家庭との連携を密にするとともに、生活支援員や関係諸機関との連携も図り、生活の質の向上に努める。個に応じた支援活動の更なる充実。支援員との協力体制の強化。特別支援学級と協力学級との連携を強化し、児童生徒の居場所づくりに努める。特別な支援を必要とする児童の障害の状態等に応じたきめ細やかな指導と支援を全校体制で行う。巡回教育相談等を活用して、特別な支援を必要とする児童に対する指導のあり方についての理解を深める。							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(2) 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
進路指導推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	85%	100%	①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
<p>将来の進路や仕事、家庭生活等において、性別にとらわれず主体的に多様な選択ができるよう指導の充実を図る。キャリア教育の推進。発達段階に応じた職業意識を育てる。自己有用感を育てる。</p>							
平成25年度実績							
<p>地域人材を活用した総合的な学習を進めることにより、地域に対する愛着を強めるとともに、自己有用感を高める効果が見られた。縦割班活動を通して、性別に促されない役割分担を行うことができた。体験活動を通じて、園児とのふれあい、お年寄りとの交流の機会を設定することで、自己有用感を高めることができた。将来への夢や希望を持ち、明るい気持ちで生活しようとする態度の育成に努めた。具体的な将来像を描けるよう、キャリア教育の推進を図った。性別にとらわれない異年齢集団の活動をした。性別にとらわれない児童会活動、係・当番活動の充実を図った。総合的な学習で、校区内体験を行ったり、産業・文化等について調べ学習を行い、校区に対する理解を深めることができた。学校のすべての教育活動を通して、自己有用感や自己肯定感を育てることに努めた。個人差への対応のため補充学習に力を入れた。性別にとらわれない児童会活動、係・当番活動の充実。総合的な学習の時間を利用した職場体験学習を実施した。</p>							決算額
							実績値
							89%
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
<p>職業や自分の将来に対する児童の関心・意欲が高まった。教育活動を通して、発達段階に応じた勤労感が育ってきている。多様な働き方があることを小学生が実態としてつかむことが困難である。まずは自分の長所にしっかり目を向けることができるよう配慮していく。防災事業を推進したことにより、地域をよく知ることができた。児童にとって、男女の協力体制で児童会活動・係活動・当番活動で働くことの大切さが理解できた。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
<p>地域の人材を多用した体験的な学習を充実させる。自分の考えが素直に言い合えるような学級づくりを行う。高学年と低学年の交流、活動の活性化と個別の補充学習をいっそう計画的に進めていく。赤十字ボランティア活動を通して、働くことの尊さを実感させる。縦割り班活動や委員会活動等を通して、役に立つ喜びを味わわせることにより、発達段階に応じて働く意義を考えさせる。委員会活動や奉仕活動を通じて、働くことの尊さを実感させる。上級生と下級生の交流、活動の活性化と個別の補充学習を一層計画的に進めていく。委員会活動や奉仕活動を通じて、働くことの尊さを実感させる。児童の主体的な活動になるようにする。</p>							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(3) 学校等の運営における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
幼稚園運営における男女共同参画の推進(実施している施設の割合)	教育総務課	87.5%	100%	①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
幼稚園運営における男女の役割を見直すなど、男女共同参画を推進するとともに、これがPTA活動などにも浸透するよう努めます。							
平成25年度実績							
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へPTA研修会への参加の呼びかけや参加を通して学習の機会を提供してきた。 ・委員会や園内研修などを通して、共通意識をもち協力して仕事に取り組んできた。 ・祖父母との活動だけでなく、地域の老人クラブの人たちと「昔の遊び交流会」を行い、保護者も交えて楽しい時間を過ごした。 ・園行事やPTA活動の中で、父親参加を推進し、子育てに関心をもつなど男女参画へとつなげる。 ・PTA活動に積極的に取り組み、活動が浸透するよう努めた。 							決算額
							—
							実績値
							100%
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画にかかわる家庭教育学習会の機会を提供しさらに推進に努める。 ・保護者のニーズに合った行事日程を組むことで、参加者も多く、みんなの協力を得ることができている。 ・父親参加が多く見られるようになってきた。 ・父親の参加者は多いが、子育てに関する理解には至っていない。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成26年度予定							
<ul style="list-style-type: none"> ・幼児への適切な指導の為の研修会への参加と充実 ・家庭教育学習会や子育てサポート内容の充実を図る。 ・久々の男性の会長を中心に、保護者の協力を得ながら、様々な活動に取り組んでいく。 ・子育て学習会や保護者学習会、PTA活動の充実 							予算額
							—
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(3) 学校等の運営における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
開かれた学校づくり推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	90%	100%	①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
学校運営における男女の役割を見直すなど、男女共同参画を推進するとともに、PTA活動などにも浸透するよう努めている。専門職としての資質・能力の向上と信頼される組織作り。保護者や地域の人々と連携した学校づくり。							
平成25年度実績							
PTA理事の女性の視点を生かしたPTA活動を行うことができた。男女の特性に応じた学校・学級経営の在り方について研修に努めることができた。教職員一人一人の能力・特性を生かした適材適所による校務分掌を行った。男女の特性を生かしたPTA活動を工夫した。学校評価アンケート、学校関係者評価委員会の方のご意見を取り入れ、開かれた学校づくりのために改善を図った。また学校ホームページを開設し情報発信に努めた。重点改善指導目標に対して、男女の性別にとらわれずにチームで行動する組織作りに努めた。互いによさを認め合い、高めあう教職員の雰囲気作りができた。地域や学校関係者評価委員と積極的な意見交換を行い、課題の改善に取り組めた。保護者や地域の声に耳を傾け、要望等に対しては即日対応を心掛けた。							決算額
							実績値
							93%
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
PTA活動に男女が協力して取り組む場面が数多く見られた。男女平等の中にも、それぞれの特性を生かした学校運営ができています。適材適所の組織づくりができ、スムーズな学校運営ができた。PTA活動への父親の参加が増え、男女が協力して活動することができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
保護者や地域の人々と連携した学校づくりの推進。専門職としての資質・能力の向上と信頼される教職員の組織づくり。学校評価アンケート、学校関係者評価委員会、ほか、地域の方との交流の中で、様々な意見を参考にしていきたい。教職員がともに認め合える組織づくり。校内にチャレンジコーナーを新設して、校外スポーツや各種の体験活動等への参加を呼びかけるようにする。男女の特性を生かしたPTA活動への参画。学校運営における男女の役割を見直すなど、男女共同参画を推進する。							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(4) 教育関係者への研修の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
教職員の資質・能力の向上推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	84%	100%	①充実		●	③新規
事業の概要							
男女共同参画に関わる研修の充実。教職員の資質・能力の向上、各種研修会への参加の充実。							
平成25年度実績							
男女共同参画に関わる研修の充実。教職員の資質・能力の向上、各種研修会への参加の充実。学校運営における男女の役割を見直し、教職員一人一人の資質・能力の向上に努めた。年間30回以上の校内研修会を実施した。各研修会・研究会への積極的な参加を促した。研究授業や出張報告等により、教職員の資質・能力の向上に努めた。							決算額
							実績値
							90%
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
外部講師を招いての研修を実施することにより、職員の意識の向上につながった。男女関係なく、研修の機会を多数設けた。年間15回以上の授業研究会をもち、各指導者が自信をもって授業を公開することができた。教員の場合、制度としてライフステージに沿った研修が男女性差なく行われている。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
出張研修の報告会を校内研修会に取り入れる。教職員の能力・資質の向上のために計画的な校内研修を行う。学力向上の推進、学習指導の改善についての研修を行う。セクハラ・パワハラについての研修会を持つ。中学校区の共通課題を踏まえ、さらに協力して校内研修充実に努める。男女双方から研修希望を取り、計画的な校内研修を行う。							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	3 地域における男女平等に関する学習の推進	(1) 地域や事業所における男女共同参画の推進

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
男女共同参画出前講座	企画情報課	4回	5回	①充実		●	③新規	
事業の概要								
市民が男女共同参画を理解し、職場・学校・地域・家庭、その他の社会のあらゆる分野において男女共同参画社会の形成が促進されることを目的として、各種団体等が主催する集会や研修会につき、講師派遣及び謝礼金などの支援を行うもの。								
平成25年度実績								
H25.11.6(水) 三間中学校PTA研修会「内容:自分らしく生きるコツ」								決算額
								13千円
								実績値
								1回
								進捗状況
事業に対する評価・課題等								
男女共同参画に関する幅広いテーマでの出前講座を開催することで、男女共同参画について団体等が考えるきっかけづくりができ、理解を深める事ができた。ただし、多く利用いただくためにも周知に力を入れる必要がある。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成26年度予定								
昨年度と同様に広報への掲載・関係団体へのチラシ送付等により事業の周知を図り、団体等の実施する研修会等の支援を行う。								予算額
								92千円
								目標値
-								

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	3 地域における男女平等に関する学習の推進	(1) 地域や事業所における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
自治会別人権・同和問題学習課	人権啓発課	41回	35回	①充実		●	③新規

事業の概要
 昨今、マスコミ等では日々悲惨な事件や事故等が報じられている。学校では、いじめ・不登校、家庭では、幼児虐待・引きこもり・ニート・DV、職場では、リストラ・セクハラ・パワハラ等の言葉が頻繁に聞こえるようになってきた。地域のコミュニティーも疎遠になりつつある。このような状況の中で、心通い合う明るい町を作ることは皆の願いである。その願いを実現するために、人権・同和問題学習会を通じて、地域の住民と一緒に毎日の暮らしを見つめ直しながら色々な問題について意見交換をすることを目的とするものである。

平成25年度実績

わになろう会：小地域別人権・同和教育懇談会 目的：同和問題をはじめとする様々な人権問題に対する理解と認識を深め、あらゆる差別を解消する意欲と実践力を養う。 開催期間：平成25年12月19日～平成26年3月7日 19:00～20:30 会場：20自治集会所(35自治会区) 参加者数：126名 内容：アイスブレイキング(様々なリボン)、視聴覚教材による人権学習他 推進員：公民館主事、教職員他 であい・ふれあいみんなの人権講座：小集団人権学習会 テーマ：一人ひとりの人権が尊重される町づくりをめざして ～宇和島市人権に関する市民意識調査より～ 会場：14自治会の集会所または公民館(14自治会区) 開催期間：平成25年10月4日～平成25年10月18日 19:30～21:00 参加者：145人 推進委員：三間町人権教育推進委員(32名：6藩編成)であい・ふれあい・みんなの人権講座	決算額
	563千円
	実績値
	41回
	進捗状況
5	

事業に対する評価・課題等

わになろう会：小地域別人権・同和教育懇談会
 参加者が年々減少しているため、周知方法や内容等の検討が必要である。

 であい・ふれあい・みんなの人権講座：人権学習会
 回覧等で周知はしているが、参加者が各自治会10人程度と少なく、今後どう参加者を増やしていくかが課題である。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成26年度予定

わになろう会：小地域別人権・同和教育懇談会 開催予定期日：平成26年10月～平成27年3月(27自治会20会場で実施予定) であい・ふれあいみんなの人権講座：小集団人権学習会 開催予定期間：平成26年10月 19:00～21:00(16自治会で実施予定)	予算額
	858千円
	目標値
	45回

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	3 地域における男女平等に関する学習の推進	(2) 多様な学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市民啓発事業(差別をなくする市民のつどい)	人権啓発課	1,020人	1,500人	①充実		●	③新規
事業の概要							
すべての人の人権が尊重される社会の実現に向けて、あらゆる差別と偏見のない明るく住みよい町を実現するために、毎年人権の集いを開催するものである。							
平成25年度実績							
事業名:三間町人権あったかコンサート 会場:コスモスホール三間 期日:平成25年11月20日(水) 参加人数:600人 内容:人権メッセージ・三間中・三間高生徒実行委員会と岡山洪染一揆資料館研修参加児童・生徒による「人権問題学習発表」、人権啓発ポスター展、バザー(ゆいの里) 講演:講師 古川 正博 さん (テーマ:歌でたどる日本近現代史)							決算額
							630千円
事業名:『人権をまもる町民の集い』 会場:宇和島市立吉田中学校体育館 期日:平成26年2月14日(木) 参加人数:400名 内容:人権啓発作品展示、バザー(青空どりーむ)、手話コーラス(宇和島市連合婦人会吉田支部)、人権作文発表、人権啓発劇(遠見子ども会) 講演:講師 佐々木祐慈 さん (テーマ:原爆の子の像「佐々木禎子」が残したもの)							実績値
							1000人
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
事業名:『三間町人権あったかコンサート』 三間高・三間中生徒実行委員会を中心に司会、運営を行うことにより、より主体的に参加する姿勢を養うことができた。また、人権問題学習発表においても、岡山洪染一揆資料館日帰り研修を通して、学校・団体・行政との交流、連携が深まり、部落差別に対する正しい理解と、人権が守られる社会を共に築いていかなければならないとの思いを強くすることができた。 講演では、古川正博さんから、歌詞に含まれている被差別の立場にある人々の思いについて学ぶことができた。 今後も、より大勢の方に参加してもらうことで、日頃の人権学習の成果をアピールする機会としていきたい。							
事業名:『人権をまもる町民の集い』 子どもから大人まで市民を巻き込んだ人権啓発作品の展示、バザー、手話コーラス、人権啓発劇の発表など幅広い市民の参加と協力をいただき、様々な人権への取組みの中で、人権をより身近に感じてもらい人権意識の再考に大きく寄与することができた。シンガーソングライターの佐々木祐慈さんによる人権講演においても、参加者一人一人の胸に人権の大切さを伝えることができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成26年度予定							
事業名:『人権を考える市民の集い』 会場:宇和島市立城南中学校 期日:平成26年11月(開催日及び講演内容未定) 事業名:『笑顔の集い』 会場:宇和島市立津島中学校 期日:平成26年11月(開催日及び講演内容未定) 事業名:『三間町人権あったかコンサート』 会場:コスモスホール三間 期日:平成26年11月13日(講演内容未定) 事業名:『人権をまもる町民の集い』 会場:宇和島市立吉田中学校 期日:平成27年2月(開催日及び講演内容未定)							予算額
							1,200千円
							目標値
							1300人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	3 地域における男女平等に関する学習の推進	(3) 学習活動への参加促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	③新規	●
臨時託児所設置事業	企画情報課			①充実	②継続	③新規	●
事業の概要							
子育て中の市民の社会参加を支援するため、市が行うイベントや各種会議等に臨時託児所を設置します。							
平成25年度実績							
H25.5.31(金) 天神公民館公民館講座「食育学習会」時臨時託児所 2名利用 H26.6.2(日) 宇和島市男女共同参画講演会時臨時託児所 11名利用							決算額
							14千円
							実績値
							2回
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
子育て中の方も気兼ねなくイベント等に参加できるよう臨時託児所を設置したところ、多くの方に利用いただけた。他課の事業においても積極的に利用してもらいたい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成26年度予定							
H26.7.12(土) 宇和島市男女共同参画講演会時臨時託児所 等							予算額
							40千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	3 地域における男女平等に関する学習の推進	(3) 学習活動への参加促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
学習活動参加促進事業(生涯学習センター・地区公民館)	生涯学習課			①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
<p>「宇和島市生涯学習推進計画」を基本に、生涯学習推進体制の整備をはじめ、生涯学習社会を支える人づくりに努めるとともに、市民の学習ニーズを把握しながら、いつでも、どこでも、だれでも学ぶことができ、ますます高度化・多様化・専門化する学習ニーズに効果的に応えられるよう、生涯学習センターや公民館をはじめとする生涯学習関連施設を中心に、多様な学級・講座や各種事業を開催し、市民に学習の場を提供する。</p>							
平成25年度実績							
<p>【地区公民館】学級・講座(実施回数) ①家庭教育講座: 77回 ②人権・同和教育講座: 25回 ③女性学級: 59回 ④高齢者学級: 99回 ⑤成人学級: 6回 ⑥公民館講座: 203回 【生涯学習センター】 1. 第21回生涯学習うわじまフェスティバル(参加人数) ①夢「であい」魔SSHOWコンサート ファイナル: 450人 ②第11回宇和島名作劇場: 132人 ③第16回宇和島文学歴史講座: 152人 ④市民大学「愛大探検隊!」: 7人 ⑤カタリバn宇和島2013: 68人 2. 市民講座(実施回数) ①ばそこん講座: 28回 ②クラフトバッグ教室: 4回 ③光る泥だんご作り講座: 2回 ④七宝焼き教室: 1回 ⑤布で作る季節の飾り講座: 4回 ⑥クリスマスリース講座: 3回 ⑦ストレッチポール教室: 2回</p>							決算額
							4,181千円
							実績値
							-
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<p>各種学級・講座及び事業は、男女の別や年齢に関わらずできるだけ多くの人が学べるように、土日や日中、夜間等に分散にて開催しており、内容もできるだけ住民の学習ニーズに応えられるよう工夫している。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
<p>【地区公民館】 ①家庭教育講座: 82回 ②人権・同和教育講座: 69回 ③女性学級: 56回 ④高齢者学級: 102回 ⑤成人学級: 0回 ⑥公民館講座: 148回 【生涯学習センター】 1. 第22回生涯学習うわじまフェスティバル(実施予定) ①宇和島芸術祭 ②第17回宇和島文学歴史講座 ④市民大学 ⑤カタリバn宇和島2013 2. 市民講座(実施予定) ①ばそこん講座: 30回 ②クラフトバッグ教室: 4回 ③光る泥だんご作り講座: 2回 ④布で作る季節の飾り講座: 4回 ⑥クリスマスリース講座: 2回 ⑦ストレッチポール教室: 2回</p>							予算額
							4,396千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	3 地域における男女平等に関する学習の推進	(4) メディア・リテラシーの向上

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
生きる力を育む教育活動推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	87%	100%	①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
それぞれの個人が、さまざまな情報について取捨選択し、必要な内容については情報の共有化を図る。いろいろな情報に対して、自ら判断できるような資質の育成を図る。メディア・リテラシーの向上のための学習機会を確保する。							
平成25年度実績							
研修、職員会を利用し、メディアリテラシーの研修を行った。情報教育についての研修を計画的に校内研修で実施した。年度当初の研修会でメディア・リテラシーの研修を行う。長期休業を利用して外部講師を招いた校内研修を行う。情報教育主任がホームページに関する研修を行った。長期休業を利用して外部講師を招いた校内研修を行なった。ホームページ更新のための研修やソフト活用のための研修を実施した。課題に応じて情報を収集・判断し、受け手に発信・伝達する学習に取り組んだ。総合的な学習の時間や技術家庭の時間において、コンピューターの基本操作やソフトウェアの機能を理解し活用できるようにした。情報教育の校内研修を実施し、教職員が情報セキュリティについて共通理解を図った。新聞、テレビ、インターネット等のメディアリテラシーについて、社会科や技術・家庭科、総合的な学習の時間等で生徒に指導した。また、スマートフォン、携帯、ブログやライン利用方法やマナーについて徹底を図った。							決算額
							実績値
							89%
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
児童のメディアリテラシーを高める研修の機会が少なかった。教職員一人一人が、情報管理を意識しながら行うようになった。教職員のメディア・リテラシーへの意識が高まった。教職員一人一人が自分のパソコンの管理を慎重に行うようになった。教職員の能力差が大きくて、最低限の研修になることが多い。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
児童の情報モラルを高める研修の実施。教職員一人一人が、メディア・リテラシー向上に向けた研修を受ける。情報機器の効果的な活用を行うとともに、危機管理に対する意識を常にもつ。学校ホームページの充実を図る。情報モラル教育の充実(パソコン、携帯電話だけでなく、スマートフォンにも視野を広げて)。情報機器の活用方法の研修を行うとともに、危機管理に対する意識を常にもつ。電子黒板の授業での効果的な活用方法を研修する。夏季休業中にホームページ作成研修や情報管理研修を実施							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり						
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進						
施策の方向及び具体的施策	1 市職員の能力開発・登用等の推進						
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
女性市職員の管理職への登用の推進(市の一般行政職における課長補佐級以上に占める女性割合)	総務課	5.1%	5.0%				
事業の概要							
平成24年度における一般職員(保育士、幼稚園教諭、診療所職員、病院局採用職員及び派遣職員は除く。)に占める女性管理職(課長補佐級以上)の割合は5.1%であり、目標値だった3.5%はクリアできたが、今後においても、職員数が減少していくことで、管理職員数自体も減少することが予測される中、政策・方針決定過程への女性の参画促進を推進する。							
平成25年度実績							
							決算額
							—
○平成25年度 管理職132人のうち女性職員8人 6.1% <内訳:部長9人(うち女性0人)、課長級39人(うち女性2人)、課長補佐級84人(うち女性6人)>							実績値
							6.1%
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
管理職数が平成25年度132人から平成26年度131人と減少したが、女性管理職数は平成25年度8人から平成26年度9人と増えたことにより、割合が6.1%から6.9%に増加したものの、依然として女性職員の管理職員が少数であり、今後も女性の管理職への登用を推進する。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成26年度予定							
							予算額
○平成26年度 管理職131人のうち女性職員9人 6.9% <内訳:部長9人(うち女性0人)、課長級40人(うち女性3人)、課長補佐級82人(うち女性6人)> 今後において、将来管理職になり得る係長級についても、女性職員を積極的に登用し、同時に意識改革・能力開発のために研修への参加を図る。							—
							目標値
							6.9%(実績)

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり						
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進						
施策の方向及び具体的施策	1 市職員の能力開発・登用等の推進						
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市職員のスキルアップ研修への参加促進	総務課						
事業の概要							
<p>県研修所で行われるスキルアップ研修は、職員からの希望を募り参加させている。女性からの受講希望は希少であるが、女性の能力開発のため、人事係から女性職員を選定している。</p>							
平成25年度実績							
○ 平成25年度実績 ステージアップ研修 36人 うち女性5人							決算額
							-
<参考>							実績値
係長研修	7人	うち女性2人					5人
市町村アカデミー	1人	うち女性0人					進捗状況
中堅職員研修	9人	うち女性0人					4
事業に対する評価・課題等							
女性の受講希望者は少ないが、今後もステージアップ研修のほか階層別研修等への参加を積極的に推進する。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成26年度予定							
平成26年度はステージアップ研修に20名、うち女性8名を参加させる予定である。							予算額
							-
							目標値
							8名

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり						
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進						
施策の方向及び具体的施策	1 市職員の能力開発・登用等の推進						
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
計画的な人事異動の実施	総務課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
<p>専門職を除く若手職員については、早い段階で多様な分野の職務を経験させるための「ジョブローテーション」を推進することとしているが、女性職員についても、固定的な性別役割分担をなくし、計画的な人事異動を推進する。</p>							
平成25年度実績							
<p>○平成25年4月定期異動の状況 病院局採用職員及び消防職を除く異動者 247人 うち女性 81人(32.8%)</p>							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<p>定期人事異動を行う際、若手職員については、男女とも、採用後10年の間に「窓口部門」「総務管理部門」「事務執行部門」の3つの分野をなるべく経験できるよう配慮しているところであるが、職員数の抑制に伴い、男女を問わず異動が困難な状況になっており、長年にわたり同じ部署という職員も見受けられる。 在課年数の長い職員は必ず異動することを前提として、体制を整えていただくよう各担当課にも啓発していきたい。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成26年度予定							
<p>○平成26年4月定期異動の状況 病院局採用職員及び消防職を除く異動者 264人 うち女性 71人(26.9%)</p>							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	2 各種審議会等における女性の参画促進	(1) 各種審議会における女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
審議会における女性の参画促進 (審議会・委員会等における女性の割合)	企画情報課	18%	35%	①充実		●	③新規
事業の概要							
<p>政策・方針決定過程への女性の参画を推進するため、地方自治法180条の5に基づき設置する委員会(教育委員会、選挙管理委員会等)、202条の3または、要綱等に基づき設置する審議会・委員会等、政策又は方針の立案及び決定に際して意見を述べ、または審査、審議等を行なう各種審議会等への女性の登用を促進しようとするもの。</p>							
平成25年度実績							
【H.25.4.1現在の女性の登用率】							決算額
<ul style="list-style-type: none"> ○地方自治法180条の5に基づき設置する委員会 3/6(女性がいる委員会/委員会数)、6/64(女性委員数/総委員数)→女性比率9.4% ○地方自治法202条の3に基づき設置する委員会、要綱等による委員会等 30/41(女性がいる委員会/委員会数)、166/810(女性委員数/総委員数)→女性比率20.5% ○地方自治法202条の3以外により設置する委員会等 10/15(女性がいる委員会/委員会数)、28/160(女性委員数/総委員数)→17.5% 							-
} 計19.3%							実績値
							19%
							進捗状況
							2
事業に対する評価・課題等							
各種団体や各課の長が委員となっている組織が多いことから、自ずと登用が進んでいないのが現状である。条例、要綱等の改正も視野に入れ、登用の促進を図っていく必要がある。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成26年度予定							
H26.4.1現在の女性の登用率については現時点で不明(6/13)							予算額
							-
							目標値
							20%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	2 各種審議会等における女性の参画促進	(1) 各種審議会における女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
選挙時の投票立会人における女性参画促進	選挙管理委員会	31.4%	38%	①充実		●	③新規

事業の概要

「男女共同参画社会」を進めていくため、選挙において投票当日及び期日前投票所の管理執行に立会う投票立会人に女性の比率を高めていこうとするものである。

平成25年度実績

			決算額
○参議院議員通常選挙	投票日(7/21)	152人中 21人	13.8%
	期日前投票(7/5~7/20)	160人中 82人	51.3%
	全体(期日前~投票当日)	312人中 103人	33.0%
○宇和島市長・市議選挙	投票日(9/1)	152人中 17人	11.2%
	期日前投票(7/5~7/20)	88人中 50人	56.8%
	全体(期日前~投票当日)	240人中 67人	27.9%
総合計	552人中 170人	30.8%	
			実績値
			31%
			進捗状況
			2

事業に対する評価・課題等

今後とも女性立会人を増員していきたいと思えます。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成26年度予定

		予算額
愛媛県知事選挙		
		目標値
		35%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	2 各種審議会等における女性の参画促進	(2) 人材育成の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
男女共同参画社会づくり活動補助金交付事業	企画情報課						

事業の概要

男女共同参画社会の実現に向けて活動する団体や個人に対して、補助金を交付するもの。行政機関・NPO等各種団体が主催する研修・交流事業に参加する場合や、市民を対象とした研修会の開催、啓発活動等を行う場合を対象として補助を行っている。

平成25年度実績

実績なし	決算額	0千円
	実績値	0件
	進捗状況	1

事業に対する評価・課題等

研修・啓発活動開催、研修会参加の募集を行ったものの、今年度においては申請がなかった。内容や利用方法の周知を、さらに検討する必要がある。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

平成26年度予定

男女共同参画推進のための活動が活性化されることを目指し、広報などで事業の周知を図り継続実施する。	予算額	100千円
	目標値	1件

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	3 企業・地域団体等における女性の参画促進	(1) 事業者等への女性登用の働きかけ

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
農業協同組合等団体への女性登用の協力要請	農林課			①充実		●	③新規
事業の概要							
女性委員を積極的に登用するよう依頼し、女性の社会進出を図ると共に、農業経営を家族の一員として共に支えることができるよう支援するものである。							
平成25年度実績							
女性のみで構成されている団体においては、女性の視点から農業分野に積極的にかかわっていくための活動を展開した。各種団体等に対しては、女性委員の登用の必要性の意識づけを図った。							決算額
							実績値
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
女性が積極的に参画できる場を提供し、活動が展開できるように推進できた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成26年度予定							
今後もあらゆる機会を通して、女性が積極的に農業分野に参画できるよう推進していきたい。							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	3 企業・地域団体等における女性の参画促進	(1) 事業者等への女性登用の働きかけ

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
商工会議所、商工会等への要請	商工観光課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
会議所、商工会等を通じて、事業者等への女性登用の働きかけを依頼する。							
平成25年度実績							
会議所・商工会会員を中心に啓発(総会等)。							決算額
							-
							実績値
							2回
							進捗状況
							2
事業に対する評価・課題等							
現在の中小企業を取り巻く状況は厳しく、推進は難しい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成26年度予定							
会議所・商工会会員を中心に啓発の継続。							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	3 企業・地域団体等における女性の参画促進	(2) 地域における政策・方針決定過程への女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
地域審議会への女性の参画促進	企画情報課	28%	35% 審議会設置期間 合併日～H27年度末	①充実	②継続	●	③新規

事業の概要
 市町村合併の特例に関する法律第5条の4に基づいて設置される市長の諮問機関で、その位置づけは地方自治法第202条の3に基づく付属機関である。合併にあたり、地域の住民の声を適切に市の施策に反映させ地域の特性に応じたきめ細やかな行政サービスを行っていくため、「地域審議会の設置に関する協議」に基づいて各地域にそれぞれ15名以内の委員で構成される地域審議会を設置しており、この審議会への女性の登用を促進しようとするものである。

平成25年度実績

事業内容	決算額
【宇和島地域審議会】 7/ 8 第24回(新市建設計画の進捗状況について、地域課題等の意見交換について) 1/20 第25回(主要事業について、地域課題等の意見交換について、平成26年度地域審議会の開催予定について)	455千円
【吉田地域審議会】 6/21 第28回(第29回会議のための事前会議) 7/ 9 第29回(新市建設計画の進捗状況について、地域課題等の意見交換について) 1/21 第30回(主要事業について、地域課題等の意見交換について、平成26年度地域審議会の開催予定について)	実績値
【三間地域審議会】 7/10 第20回(新市建設計画の進捗状況について、地域課題等の意見交換について) 1/22 第21回(主要事業について、地域課題等の意見交換について、平成26年度地域審議会の開催予定について)	31%
【津島地域審議会】 7/11 第19回(新市建設計画の進捗状況について、地域課題等の意見交換について) 1/23 第20回(主要事業について、地域課題等の意見交換について、平成26年度地域審議会の開催予定について)	進捗状況
	5

事業に対する評価・課題等

女性の割合はどの審議会でも女性委員は率先して意見を述べられていた。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	3

平成26年度予定

事業内容	予算額
6月に四地区合同の審議会、11月、2月に各地区定例会を予定している。 女性の割合は、目標値の25%を達成している。	
【宇和島地域審議会】総数:14人 女性委員数:4人 女性の割合:28.6%	570千円
【吉田地域審議会】 総数:14人 女性委員数:4人 女性の割合:28.6%	目標値
【三間地域審議会】 総数:13人 女性委員数:5人 女性の割合:38.5%	達成済
【津島地域審議会】 総数:13人 女性委員数:3人 女性の割合:23.1%	(29.6%)

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	3 企業・地域団体等における女性の参画促進	(2) 地域における政策・方針決定過程への女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
国民保護協議会及び防災会議における女性委員の登用	危機管理課			●			

事業の概要

各種会議に女性委員を登用することにより、計画策定等に女性の意見も取り入れていくもの。

平成25年度実績

女性の新規登用なし。	決算額	0千円
	実績値	0%
	進捗状況	1

事業に対する評価・課題等

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	2
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	-

平成26年度予定

現時点では現行どおり変更なし。	予算額	0千円
	目標値	-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	3 企業・地域団体等における女性の参画促進	(2) 地域における政策・方針決定過程への女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続		③新規
廃棄物減量等推進員への女性の参画促進	生活環境課	17%	30.0%	①充実	●	②継続		③新規

事業の概要

一般廃棄物の減量化再生利用を促進し、地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るために設置される、廃棄物減量等推進員への女性の参画を促進しようとするものである。

平成25年度実績

廃棄物減量等推進員(全体)・・・137名 内女性・・・24名 割合・・・24 / 137 = 18% 内訳 40代・・・3名 50代・・・3名 60代・・・8名 70代・・・10名	決算額
	40千円
	実績値
	18%
	進捗状況
	2

事業に対する評価・課題等

全体数に対する女性の割合は18%である。
 年齢層も、40代3名、50代3名、60代8名、70代10名という内訳になっている。
 推進員の業務については、ごみ収集ステーションへの排出指導や資源物回収の普及推進等があり、子育てに忙しい20代～40代の女性の割合が低くなっている。子育てから離れた60代～70代の女性の割合が高い。
 時間的制約の多い世代(20代～40代)の女性の参加者確保が課題である。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	2
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	2
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	2

平成26年度予定

廃棄物減量等推進員(全体)・・・127名 内女性・・・28名 割合・・・28 / 127 = 22% 内訳 40代・・・1名 50代・・・5名 60代・・・10名 70代・・・12名	予算額
	41千円
	目標値
	22%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	3 企業・地域団体等における女性の参画促進	(2) 地域における政策・方針決定過程への女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続		③新規
宇和島市美化運動推進委員会への女性の参画促進	生活環境課	13%	25.0%	①充実	●	②継続		③新規

事業の概要

宇和島市美化運動推進委員会は、本市における美化運動の推進についても協議し、もって生活環境の保全と文化の向上に資する事を目的とする組織で、本委員会の委員として、女性の登用を促進しようとするものである。

平成25年度実績

[美化運動推進委員会における女性の登用状況]
委員8名の内女性1名(登用率12.5%)、会長:宇和島市女性団体連絡協議会会長(女性)
[会議の開催状況]
平成25年6月3日(月)美化運動推進委員会開催(議事)
○花いっぱい運動推進重点地区事業としての花いっぱい運動推進について
○環境美化推進を図るための団体・個人へのごみ袋支給
○国道沿線等美化清掃活動としての「クリーン新宇和島」実施について
○美化推進に寄与した団体・個人の表彰実施について
平成25年11月11日(月)美化表彰式

決算額

-

実績値

13%

進捗状況

4

事業に対する評価・課題等

○委員会は各団体の代表で構成されているため、男性である場合が多い。
○市民の意識向上により環境問題及び美化推進にも賛同していただき、美化推進活動については男女の区別なく参加いただいている。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	2

平成26年度予定

○美化運動推進委員会における女性の登用状況は25年度と同様
○美化推進活動については26年度も計画実施し、内容的にも各種事業につき「男女共同参画」を意識して展開する

予算額

-

目標値

-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	3 企業・地域団体等における女性の参画促進	(2) 地域における政策・方針決定過程への女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
まちづくり女性会議の設立	商工観光課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
女性の視点による中心市街地の活性化を試みるため、女性を中心とするまちづくり会議「Beppin塾」を設立。							
平成25年度実績							
<ul style="list-style-type: none"> ・定例会の開催(年13回) ・まちづくり通信「vif femme」の発行(年3回 毎号4,000部配布) ・海の恋人まつり実行委員会への参画 							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの立場からまちづくりについて真剣に考え、取り組んでいる。 ・持続的な活動と自立に向けた話し合いが必要である。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成26年度予定							
<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回の定例会の開催、年に3回のまちづくり通信「vif femme」の発行を行う。 ・他団体と協力し、イベント等の実施に携わっていく。 ・持続的な活動と自立に向けての会議も行っていく。 							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	4 地域社会への男女の参画促進	(1) 地域社会での男女共同参画意識の啓発

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
意識啓発促進事業	生涯学習課			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
地域における各種事業について、性別にとらわれず誰でも気軽に参加でき、様々な計画にも女性が主体的に関わることができるよう、公民館の広報活動を通して意識啓発を図る。								
平成25年度実績								
【啓発紙原案の協議】 他県、他市の啓発紙を参考に、原案の方針を継続して協議中。								決算額
								0千円
								実績値
								—
								進捗状況
事業に対する評価・課題等								
原案の方針・方向性を決定した段階で、今後は詳細部分について各地区公民館と協議する予定。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成26年度予定								
原案の方針・方向性を決定し、各地区公民館と詳細を協議し、原案を完成させる。								予算額
								0千円
								目標値
—								

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	4 地域社会への男女の参画促進	(2) 男性の地域活動への参画促進

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続		③新規
男性料理教室(地区公民館)	生涯学習課	3館	30館	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
高齢化や核家族化が進む中、地域の男性を対象に料理教室を開催することにより、夫婦がともに協力し合うことの大切さや男性が積極的に家事に参画する意識の向上を図る。								
平成25年度実績								
【男性料理教室】 開催公民館数：3館 開催回数：15回 参加者数：162人(うち、男性94人)								決算額
								22千円
								実績値
								3館
								進捗状況
事業に対する評価・課題等								
開催公民館数は平成24年度と変わらず3館であったが、実施回数が2回増加した。公民館として、当該事業に対する取り組み姿勢がまだ消極的なため、各地区公民館に対して積極的な開催を促す必要がある。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-
平成26年度予定								
【男性料理教室】(予定) 開催公民館数：4館 開催回数：18回								予算額
								40千円
								目標値
								5館

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	4 地域社会への男女の参画促進	(3) コミュニティ活動の活性化と活動情報の提供

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
自治会単位での自主防災組織の育成	危機管理課	413組織	500組織	①充実		●	③新規	
事業の概要								
男女がともに地域での防災活動へ参画できるよう自主防災組織の育成を促進し、参画機会を提供します。								
平成25年度実績								
平成26年3月31日現在 自主防災組織数 417組織(組織率 88.8%) 平成25年度に結成した組織数 4組織								決算額
								2,000千円
自主防災組織による防災訓練数 7件 愛媛県津波避難訓練参加組織数 342組織								実績値
								417組織
自主防災組織結成支援事業補助金支給組織数 1組織 自主防災組織育成事業 1件								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
男女の別なく組織での防災活動には参画しているが、各種責任者については男性の比率が多い。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								2
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成26年度予定								
訓練を実施していく中で、自主防災組織を支援し育成を促進していく。								予算額
								目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	4 地域社会への男女の参画促進	(3) コミュニティ活動の活性化と活動情報の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
花いっぱい運動	生活環境課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
花いっぱい運動推進重点地区事業として宇和島市の駅前、港の玄関口及び公共施設を市内各種団体の協力を得て、花壇・プランターに四季の花の植栽・灌水・除草除去等の管理をしていただき花いっぱい運動の推進に努めた。							
平成25年度実績							
〔花づくりボランティア実施団体(地域環境づくり団体)〕 (旧市内)中組老人クラブ、住吉美化推進グループ、明倫環境美化推進グループ、宇和津校区老人クラブ連合会、 、宇和島市社会福祉協議会、保田自治会ほか (旧津島)増穂老人クラブ、若葉会、於泥いきいきサロン、はまゆう会、てんやわんや王国ほか (旧吉田)御殿内集会所運営委員会、御殿内ファミリー、ニューモラル宇和島、本町会、吉田商工会本町会、 白浦三つ葉会、吉田町手をつなぐ育成会他 (オレンジロード分)藤堂組、畑地小学校、浅田組、丸之内歩道橋ファミリー、栄町Fガーデン、富 士建設コンサルタント、立間婦人会、少林寺拳法宇和島支部、亀岡建設、松広造園							決算額
							2,394千円
							実績値
							左記参照
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
緑化推進事業として年2回実施しているが、ボランティアで各団体に管理運営をしていただいており、市民からも好評を得ている。男女がともに参加できる事業であるが、女性の方が多く、また高齢者の方の参加協力が多いという傾向もある。今後は若年層及び男性にも参加を呼びかける啓発運動を実施したい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							2
平成26年度予定							
平成26年度も計画実施し、各種団体などに協力を得ながら花いっぱい運動を展開する。							予算額
							2,874千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	4 地域社会への男女の参画促進	(3) コミュニティ活動の活性化と活動情報の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
まちづくりの主体となる組織・リーダー育成事業	商工観光課			①充実		●	③新規
事業の概要							
女性の視点による中心市街地の活性化を試みるため、女性を中心とするまちづくり会議「Beppin塾」を設立。							
平成25年度実績							
<ul style="list-style-type: none"> ・定例会の開催(年13回) ・まちづくり通信「vif femme」の発行(年3回 毎号4,000部配布) ・海の恋人まつり実行委員会への参画 							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの立場からまちづくりについて真剣に考え、取り組んでいる。 ・持続的な活動と自立に向けた話し合いが必要である。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成26年度予定							
<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回の定例会の開催、年に3回のまちづくり通信「vif femme」の発行を行う。 ・他団体と協力し、イベント等の実施に携わっていく。 ・持続的な活動と自立に向けての会議も行っていく。 							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	4 地域社会への男女の参画促進	(3) コミュニティ活動の活性化と活動情報の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続		③新規
青少年活動振興事業	生涯学習課	16,304人	20,000人	①充実	●	②継続		③新規

事業の概要

公民館や愛護会、青少年育成団体など、行政、地域、家庭、学校が連携し、青少年が新時代の本市の担い手として心身ともに健全に育成されるような様々な体験活動やボランティア活動、交流活動への参加を促進する。

平成25年度実績

【事業】総数: 62事業(市民運動会、納涼祭を除く) 【内容】 ①スポーツ・レクリエーション活動(子どもスポーツ大会、クロッケー大会等) ②文化活動(虫送り、門松作り等) ③自然体験活動(野外活動等) ④その他の活動(地域清掃活動、環境美化活動等) 【参加者】総数: 14,371人	決算額
	1,194千円
	実績値
	14,371人
	進捗状況
	4

事業に対する評価・課題等

地域の公民館が愛護会等の社会教育関係団体と連携し、青少年の体験活動や世代間交流の事業を行っているが、団体の活動が縮小するなかで、事業内容も低下の傾向にある。このため地域総ぐるみで青少年の育成活動に取り組むための枠組みが必要とされている。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成26年度予定

【事業】総数: 85事業 【内容】 ①スポーツレクリエーション活動 ②文化活動(虫送り、しめ飾り作り等) ③自然体験活動(野外活動等) ④その他の活動(地域清掃活動、環境美化活動等) 【参加者】総数: 16,221人	予算額
	1,382千円
	目標値
	8,395人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	4 地域社会への男女の参画促進	(4) コミュニティ施設の整備・充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
インターネットによる施設予約の推進	企画情報課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
体育施設等の公共施設について、インターネットを使ってオンライン予約や予約状況の確認ができるようシステムを整備し、利用者の利便性向上を図った。							
平成25年度実績							
・システム整備済(平成22年9月) 【空き状況の公開施設】 46施設(総合体育館、丸山公園、石丸公園、三間町運動公園、三間町国民体育館、宮下ふれあい広場、保手公園運動広場、津島勤労者体育センター、第4号南予レクリエーション都市内の施設) 【予約可能施設】 17施設(丸山公園、石丸公園、宮下ふれあい広場、保手公園運動広場内の施設)							決算額
							—
							実績値
							左記参照
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成26年度予定							
							予算額
							—
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	4 地域社会への男女の参画促進	(4) コミュニティ施設の整備・充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	③新規	●
集会所改修補助事業	企画情報課			①充実	②継続	③新規	●
事業の概要							
地域住民のコミュニティ活動の場となる集会所において、修繕を必要とする場合に補助金を交付するもの。							
平成25年度実績							
補助申請件数 12件							決算額
							5,970千円
							実績値
							—
							進捗状況
							—
事業に対する評価・課題等							
修繕及び整備を行うことで、年代や男女を問わず地元住民の使用するコミュニティ施設として永く使用できる。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成26年度予定							
特になし。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	4 地域社会への男女の参画促進	(4) コミュニティ施設の整備・充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市有施設における空きスペースの有効活用	財政課			①充実		●	③新規
事業の概要							
市有施設の効率的な運用を図り、空きスペースについては、コミュニティ活動への場の提供の可能性を検討します。							
平成25年度実績							
具体的な実績なし							決算額
							-
							実績値
							-
						進捗状況	
						-	
事業に対する評価・課題等							
空きスペースの有効活用については、継続して検討していく必要がある。場の提供を求めているコミュニティ活動の存在等、実態把握が必要。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						-	
平成26年度予定							
具体的な予定なし							予算額
							-
							目標値
						-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	4 地域社会への男女の参画促進	(4) コミュニティ施設の整備・充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
交流拠点施設の女性の運営参画	商工観光課			①充実		●	③新規
事業の概要							
宇和島地域及び姉妹都市の農林水産物、加工品等の販売、真珠の展示販売・加工体験、郷土料理レストランにおける宇和島の食文化の普及、米粉パンの製造販売による米消費拡大などによって産業を振興するとともに、イベントによる地域間交流の促進を図り、宇和島市のイメージアップにつなげることを目的とした施設である。この施設において、女性の運営への参画及び雇用を促進しようとするもの。							
平成25年度実績							
平成24年3月の高速道路の宇和島への開通などの恩恵も受け、売上は施設全体で1,012,020千円、前年対比約99.2%であった。レジ通過客数においても、1,181,613人を記録し、前年対比97.8%であったが、4年連続でレジ通過客数100万人超えを達成した。 フリーマーケット、4周年記念イベントや自主企画イベントなど各種イベントを実施し、地域間交流を促進した。特に、自主企画イベントにおいて女性職員が積極的に企画・商品開発を行った。 【女性の参画状況】 運営に関わっている女性の人数:9人(総人数13人)							決算額
							-
							実績値
							9人
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
女性の感性を生かした商品開発等への参画や運営が行われている。 また、パン工房みなみや、企業組合あこやひめ等の女性が活躍している団体とともに積極的な関わりがなされた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
イベント等における女性の参画推進を図りながら、施設運営を行っていく。 【女性の参画状況】 運営に関わっている女性の人数:10人(総人数14人)							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	4 地域社会への男女の参画促進	(6) 男女共同参画推進団体等のネットワークづくりの推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	③新規	●
男女共同参画推進団体連携事業	企画情報課			①充実	②継続	③新規	●
事業の概要							
男女共同参画推進団体相互の連絡協調と連携の強化を図ろうとするものである。							
平成25年度実績							
宇和島市女性団体連絡協議会の役員会・理事会・総会等における連絡強調を図る							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
宇和島市女性団体連絡協議会開催の各種会議等において、男女共同参画についての啓発等を行うとともに、協力体制を築くことができている。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
例年同様連絡強調を図っていく。							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	5 市政への関心と高揚	(1) 市民と行政との情報・意識の共有化

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
ホームページへのアクセス件数	総務課	1,088件/日	1,800件/日	●			
事業の概要							
市ホームページの充実を図ることにより、市民への行政情報の発信に努める。							
平成25年度実績							
閲覧者数 : 1,225件/日							決算額
							-
							実績値
							1,225件/日
							進捗状況
							2
事業に対する評価・課題等							
閲覧者数が減少しており、今後の取り組み方法を考える必要がある。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成26年度予定							
市民がより利用しやすいホームページになるよう努力する。							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	5 市政への関心と高揚	(2) 多様な分野における市民及び民間の参画・協働の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
パブリックコメントを求めた件数	総務課	4件/年	7件/年	①充実	●	②継続	③新規

事業の概要

市の施策に関する基本的な計画等の立案にあたり、その目的、内容その他必要な事項を公表して、広く市民からの意見を求め、提出された意見等を考慮して意思決定を行うことにより、市の施策形成過程における公平性の確保及び透明性の向上を図るとともに、市民の積極的な市政参加の推進を図る。

平成25年度実績

平成25年度 : 1件	決算額	-
	実績値	1件/年
	進捗状況	3

事業に対する評価・課題等

市民からの意見が少なく、十分な意見の反映ができていない。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	-

平成26年度予定

職員へのパブリックコメント制度の活用を周知する。 ホームページでの周知方法を更に検討する。	予算額	-
	目標値	5件/年

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	5 市政への関心と高揚	(3) ホームページを利用した議会情報の発信

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
議会インターネットライブ中継	議会事務局	年4回		①充実	②継続	●	③新規

事業の概要

宇和島ケーブルテレビ(株)協力のもと、リアルタイムで議会の様子が見られるようにする。

平成25年度実績

3月、6月、9月、12月の本会議を、宇和島ケーブルテレビ(株)の協力のもと、リアルタイムで放送した。	決算額
	実績値
	年4回
	進捗状況
	5

事業に対する評価・課題等

インターネットにより家庭等で議会がリアルタイムで傍聴できることで、より多くの人に情報発信できる。議会に関心を持っていただくために必要なことである。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	

平成26年度予定

平成26年度も実施	予算額
	目標値
	年4回

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	5 市政への関心と高揚	(4) 議会への関心の高揚

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
議場を活用したイベント等の開催	議会事務局	0回/年	1回/年	①充実		●	③新規
事業の概要							
議場において、合唱などのミニコンサートや模擬議会など、議場を利用したイベント等を開催することで、広く市民に開かれた議会、親しまれる議会を目指す。							
平成25年度実績							
実績なし。							決算額
							実績値
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
広く市民に開かれた議会、親しまれる議会を目指すことは、議会改革の中でも重要なテーマの一つとなっており、工夫をして取り組んでいく必要がある。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成26年度予定							
予算化していない。							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保	
施策の方向及び具体的施策	1 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進	(1) 就業環境の整備

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
商工会議所、商工会を通じ事業所等への啓発	商工観光課			①充実		●	③新規	
事業の概要								
会議所、商工会等を通じて、事業所等への啓発を行う。								
平成25年度実績								
会議所・商工会会員を中心に啓発(総会等)。								決算額
								実績値
								2回
								進捗状況
2								
事業に対する評価・課題等								
現在の中小企業を取り巻く状況は厳しく、推進は難しい。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								
平成26年度予定								
会議所、商工会等を通じて、事業所等への啓発を行う。								予算額
								-
								目標値
-								

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保	
施策の方向及び具体的施策	1 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進	(1) 就業環境の整備

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
院内保育所の運営	病院局 (宇和島病院)			①充実		●	③新規	
事業の概要								
看護師確保の一環として、看護師が働きやすい環境整備のため、乳児又は幼児を対象に院内保育所を設置、運営している。(定員50人)								
平成25年度実績								
年延利用児童数8,760人、1日平均29.8人								決算額
								76,574千円
								実績値
								1施設
								進捗状況
事業に対する評価・課題等								
福利厚生施設であるため、市内の他の保育園と比較して保育料は割安であり、預けやすい環境を作っているが、休日、夜間、また病児保育が出来ていないため、夜勤業務があり、休暇が取りにくい看護師の負担軽減にはつながっていない。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成26年度予定								
現在の予算規模では休日保育は難しいため現在の運用を維持しつつ、病院に隣接することを利用して院内でのイベントに児童を積極的に参加いただいて、保護者の勤務中でも園児と触れ合える環境を作る。								予算額
								51,382千円
								目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保	
施策の方向及び具体的施策	1 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進	(2) 雇用機会の確保と雇用の促進

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
シルバー人材センター充実支援	高齢者福祉課			①充実		●	③新規
事業の概要							
定年退職者その他の高齢者の就業において、臨時的かつ短期的なもの又はその他軽易な業務の機会を確保し、その就業を援助、または能力の積極的な活用を図るため、シルバー人材センターに対し補助金を交付している。							
平成25年度実績							
事業受託件数：3,064件 就業実人員：377人 就業延人員：26,572人日							決算額
							14,000千円
							実績値
							左記参照
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
高齢者の就業機会の確保や能力の積極的な活用を図るための支援ができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成26年度予定							
事業受託件数：3,300件 就業実人員：430人 就業延人員：29,000人日							予算額
							14,000千円
							目標値
-							

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保	
施策の方向及び具体的施策	1 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進	(2) 雇用機会の確保と雇用の促進

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
地域提案型雇用創造促進事業(セミナーの開催)	商工観光課			①充実		●	③新規	
事業の概要								
事業拡大を支援し、雇用の受け皿を増やし、人材育成のための各種セミナーを開催し、労働者のスキルアップを図る。また、就職支援事業として、宇和島地域合同就職面接会を開催し、直接的な雇用増加を目指す。								
平成25年度実績								
人材育成メニュー(求職者向けメニュー)セミナー、受講者235人参加。達成率121%。 就職支援事業(合同就職面接会)参加企業82社 参加者94人。達成率85%。 人材育成各種セミナー16回および宇和島地域合同就職面接会1回の開催、43社の参加、329人の参加。達成率108%。就職者37人 達成率137%								決算額
								19,764千円
								実績値
								左記参照
								進捗状況
事業に対する評価・課題等								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成26年度予定								
事業拡大支援セミナー、人材育成各種セミナー、宇和島地域合同就職面接会の開催								予算額
								31,681千円
								目標値
								390人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保	
施策の方向及び具体的施策	1 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進	(3) 男女雇用機会均等法等について事業所への啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
団体を通じ、農林業従事者への啓発	農林課			●			
事業の概要							
従来から男社会と考えられていた、農林業の分野において、女性の積極的な進出を図り、男女が共に協力し合ってよりよい職場づくりを行う。							
平成25年度実績							
研修等あらゆる機会において、積極的に女性の参加を呼びかけ、農林業への理解を深めた。							決算額
							実績値
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
6次産業化の取組みのための研修会等を通じ、女性のネットワークの構築を図り、女性が積極的に農業の場で活躍する機会を設けることができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
引き続き、あらゆる機会を捉えて、女性の参加を推進していきたい。							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保	
施策の方向及び具体的施策	1 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進	(3) 男女雇用機会均等法等について事業所への啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
団体を通じ、水産業従事者への啓発	水産課			①充実		●	③新規
事業の概要							
男女雇用機会均等法や育児・介護休業法など労働に関する各種法律について事業所や団体等への啓発に努めようとするものです。							
平成25年度実績							
漁業協同組合関係団体等へ男女共同参画関係のイベント等の告知を行った。							決算額
							実績値
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
イベント参加等、協力を得られたが、労働法関係の啓発不足であった。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							2
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							2
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成26年度予定							
男女雇用機会均等法や育児・介護休業法など労働に関する各種法律について事業所や団体等への啓発を努めたい。							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保	
施策の方向及び具体的施策	1 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進	(10) 市の契約手法の検討

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
入札(見積)参加資格業者登録への反映の検討	財政課			●			
事業の概要							
<p>市が発注する工事や購入する物品等において、契約相手となる企業等の男女共同参画推進への取組状況(男女雇用機会均等法やパートタイム労働法などの遵守やポジティブ・アクション(積極的改善措置)、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進など)の評価について、その可能性を検討します。</p>							
平成25年度実績							
<p>平成25・26年度宇和島市建設業者格付事務取扱要領において、「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」に規定する育児休業制度を就業規則で定めている建設業に対しては、格付の加点要素とした。</p>							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
<p>平成25・26年度の市内工事登録業者135者のうち、「就業規則への育児休業制度」を規定している業者は35者しかいないが、今回加点要素としたことで、次回(平成27・28年度)入札参加資格申請の登録の時には、「就業規則への育児休業制度」を規定する業者の増加が期待できる。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成26年度予定							
<p>「次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画」を策定している業者に対しても、次回から格付けの加点要素とするかどうかを引き続き検討する。</p>							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保	
施策の方向及び具体的施策	3 市役所や市関連施設などにおける男女共同参画の推進	(1) 市職員への啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	③新規	
市職員男女共同参画研修会	企画情報課						
事業の概要							
男女共同参画社会形成促進のため、関係各課等で様々な施策を行っており、男女共同参画社会の実現のため、市民の模範となるべき市職員の知識向上を図るため研修を行うもの。							
平成25年度実績							
愛媛県が実施する男女共同参画推進支援事業「市町男女共同参画講座」を利用して実施 H25.10.10(木)13:30～15:00 市役所大ホールにて開催 講師:愛媛県男女共同参画センター 館長 越智やよい 氏 演題:ポジティブ・アクションはなぜ必要? 参加者:市職員84名							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
市職員を対象とした研修を開催することにより、宇和島市における男女共同参画をより一層推進することができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成26年度予定							
愛媛県実施の男女共同参画推進支援事業を活用し実施希望。							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保	
施策の方向及び具体的施策	3 市役所や市関連施設などにおける男女共同参画の推進	(2) 働きやすい環境づくりとセクシュアル・ハラスメントの防止

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
市職員のセクハラ被害相談への対応	総務課			●			
事業の概要							
市職員のセクハラ被害相談への適切な対応のため、セクハラ被害相談対応マニュアルを作成するもの。							
平成25年度実績							
人事院の「セクシュアル・ハラスメントに関する苦情相談に対応するに当たり留意すべき事項についての指針」等を参考に対応しているが、独自のマニュアルは未作成							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							2
事業に対する評価・課題等							
担当者の育成が必要							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成26年度予定							
相談員に研修を受講させ、マニュアル化に取り組みたい。							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保	
施策の方向及び具体的施策	3 市役所や市関連施設などにおける男女共同参画の推進	(2) 働きやすい環境づくりとセクシュアル・ハラスメントの防止

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
セクハラ相談窓口設置	総務課			●			
事業の概要							
セクハラ相談窓口を設置し、相談しやすい体制を整える。							
平成25年度実績							
「宇和島市職員のハラスメントの防止等に関する要綱」に基づきセクハラも含めたハラスメント相談窓口を設置している。							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
担当者の育成が必要。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成26年度予定							
相談窓口における相談体制の充実を図る。							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保	
施策の方向及び具体的施策	3 市役所や市関連施設などにおける男女共同参画の推進	(2) 働きやすい環境づくりとセクシュアル・ハラスメントの防止

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
選挙時の開票作業における女性参画促進	選挙管理委員会	3.4%	10%	①充実		●	③新規

事業の概要

「男女共同参画社会」を進めていくため、選挙の開票作業に女性の比率を高めていこうとするものである。

平成25年度実績

			決算額
参議院議員通常選挙	開票事務従事者	120名中女性職員 5名 (女性の占める割合 4.17%)	
宇和島市長・市議選挙	開票事務従事者	91名中女性職員 5名 (女性の占める割合 5.50%)	
総合計		211人中女性職員10名 (女性の占める割合 4.74%)	5%
			進捗状況
			2

事業に対する評価・課題等

今後も国の選挙執行経費が減額されることが予想されるため、開票事務従事者の増員はますます困難な状況である。従って、女性職員だけを増員していくことは困難な状況となっている。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成26年度予定

		予算額
愛媛県知事選挙		
		目標値
		6%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保	
施策の方向及び具体的施策	3 市役所や市関連施設などにおける男女共同参画の推進	(2) 働きやすい環境づくりとセクシュアル・ハラスメントの防止

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
病院局における各施設へのセクハラ相談窓口	病院局			①充実		●	③新規
事業の概要							
病院局の各施設(医療行政管理部、3病院、2老健)に、セクシャルハラスメントの被害者を支援するため、相談窓口を設置し情報の提供を行う。							
平成25年度実績							
各施設事務局を相談窓口としているが相談実績は無し。							決算額
							—
							実績値
							5箇所
							進捗状況
							2
事業に対する評価・課題等							
病院局内での統一窓口の設置を目指したが、設置に至らず。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							1
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							1
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							1
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							1
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							1
平成26年度予定							
病院局内統一窓口の設置と担当職員の指定。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立	
施策の方向及び具体的施策	1 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進	(1) 農林水産業、商工業など自営業における男女共同参画の推進

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
家族経営協定締結の支援	農林課			①充実		●	③新規	
事業の概要								
農家の家族関係を近代化し、農業後継者の確保や女性の地位向上を目指す。								
平成25年度実績								
家族経営協定締結数 新規 4家族 合計93家族								決算額
								実績値
								左記参照
								進捗状況
事業に対する評価・課題等								
経営面や生活面でのルールを文書化することで、妻や後継者も経営参画することができた。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成26年度予定								
今後も家族経営協定締結を推進していきたい。								予算額
								目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立	
施策の方向及び具体的施策	1 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進	(2) 農業委員会等への参画支援

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
農業委員への女性の参画促進	農業委員会	3名	4名	①充実		●	③新規

事業の概要
 宇和島市農業委員会農業委員の定数は47人で、公選によるものが40人、土地改良区・共済・農協推薦がそれぞれ1人、議会推薦が4人となっている。これまで女性農業委員が選出されておらず、平成20年10月改選時に議会推薦枠4人のうち2人、平成23年10月改選時に議会推薦枠4人のうち3人の女性委員が誕生した。平成26年の改選時には、公選からも女性委員が選出されるように「男女共同参画社会」について理解を深めていこうとするものである。

平成25年度実績	
平成25年度実績は農業委員の改選がなかったため実績なし	決算額
	実績値
	進捗状況

事業に対する評価・課題等
 平成26年の改選時には推薦枠だけでなく、公選からも女性委員の立候補を促し「男女共同参画社会」の理解を深めていきたい。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	3

平成26年度予定	
平成26年10月に農業委員の改選予定	予算額
	目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立	
施策の方向及び具体的施策	1 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進	(3) 家族経営協定の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
家族経営協定締結の支援	農業委員会					●	

事業の概要

宇和島市農業支援センターが開催する家族経営協定締結時に、会長・事務局が出席して、調印式の挨拶・調印の立会人をする。また、農業者の安心で豊かな老後生活をサポートする農業者年金の加入推進、情報の提供を行なう。(事業主管:農林課)

平成25年度実績

(本事業の主管課は農林課)	決算額	
	実績値	
	進捗状況	

事業に対する評価・課題等

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	

平成26年度予定

	予算額	
	目標値	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立	
施策の方向及び具体的施策	1 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進	(4) 経営能力向上のための支援

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
高速インターネットの普及促進(地域情報化推進事業)	企画情報課			①充実		●	③新規	
事業の概要								
宇和島市地域情報ネットワーク施設の完成により、採算性の問題等により民間通信事業者による整備が困難だった地域でも高速インターネットの利用ができるようになり、情報通信格差是正を実現した。引き続き、施設指定管理者と共に、安定かつ利用しやすいサービス提供を継続します。								
平成25年度実績								
※平成21年度に民間の通信事業者のサービスを含め、市内全域の高速インターネット環境整備は完了した。今後は、宇和島市のサービス地域については、指定管理者により加入促進を行っていく。								決算額
								0千円
								実績値
								100%
								進捗状況
5								
事業に対する評価・課題等								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-
平成26年度予定								
								予算額
								-
								目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立	
施策の方向及び具体的施策	1 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進	(4) 経営能力向上のための支援

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
宇和島市生活研究協議会の活動支援	農林課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
宇和島市の農山漁村において、農漁家生活の研究と農業改良を学習実践している女性の自主的なグループが、情報や技術等を研究しあい、グループの健全な発展を図っている。							
平成25年度実績							
研修会の開催や地産地消活動、食文化の伝承・普及活動を行った。 主な活動として、 ・6次産業化先進地視察 ・特産品開発講座 ・グリーンツーリズム体験取り組み施策研修 ・宇和島市、鬼北地区生活研究協議会交流大会 ・えひめ食文化普及講座 3回 ・愛媛県農山漁村ふるさとづくり推進大会参加							決算額
							370千円
							実績値
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
女性農業者として自主的、積極的に活動している。 今後は、メンバーの高齢化と共に活動が衰退していかないように、新たな会員の勧誘など指導していきたい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
昨年同様の活動を展開する。							予算額
							370千円
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立	
施策の方向及び具体的施策	1 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進	(4) 経営能力向上のための支援

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
宇和島地域ブランド化事業	商工観光課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
真珠を核とした宇和島地域のブランド化に取り組み、地域産業の活性化と交流人口の拡大を目指す。							
平成25年度実績							
女性団体の有志による、企業組合が継続運営されている。企業組合が提供しているご当地エステ「パールエステ」が大手旅行代理店からも高い評価を得ており、観光客誘致のひとつのツールとして大変注目されており、事業継続が充実している。							決算額
							0千円
							実績値
							-
							進捗状況
							-
事業に対する評価・課題等							
女性が中心となり地域の活性化に取り組む中で、企業組合を立ち上げ起業したことは大きな成果である。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成26年度予定							
パールエステの普及拡大を図るため、昨年度に引き続きパールエステの担い手育成に努めるほか、ホテルや旅館等と連携した旅行商品造成の土台づくりに取り組むとともに、新たな雇用の創出を目指す。							予算額
							0千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立	
施策の方向及び具体的施策	1 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進	(4) 経営能力向上のための支援

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
有用貝類・海藻類試験研究事業(特産品の開発)	水産課			①充実		●	③新規
事業の概要							
生産技術向上や水産加工品の販売など、女性の自営業への参画促進するため、技術に関する学習会開催や情報提供を行うものである。							
平成25年度実績							
トサカノリ養殖 普及技術指導 イワガキ養殖 普及技術指導							決算額
							実績値
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
生産者がある程度の収益を上げているが、さらなる技術品質の向上を目指す必要がある。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成26年度予定							
生産技術向上や生産加工品の販売など、女性の自営業への参画を促進するため、技術に関する学習会開催や情報提供を行いたい。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立	
施策の方向及び具体的施策	1 農林水産業、商工業などの自営業における 男女共同参画の推進	(4) 経営能力向上のための支援

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
農林漁業振興事業資金利子補給事業(経営体制の強化)	水産課			①充実		●	③新規
事業の概要							
農林漁業者等に対し、低金利の融資を円滑にする措置を講じて農林漁業の経営の近代化と合理化等を図り、その振興に資する。							
平成25年度実績							
平成25年度 農林漁業振興事業資金利子補給金 近代化 33,145,129円 他 5事業 62,081,523円							決算額
							62,082千円
							実績値
							左記参照
							進捗状況
-							
事業に対する評価・課題等							
景気の低迷は今後とも長期化することが予想され、漁業を取り巻く環境は厳しい状況にあるため、資金の返済方法(回数、金利)等の変更を要すると思われる。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成26年度予定							
農林漁業者等に対し、低金利の融資を円滑にする措置を講じて農林漁業の経営の近代化と合理化等を図り、その進行に資する。							予算額
							-
							目標値
-							

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立	
施策の方向及び具体的施策	1 農林水産業、商工業などの自営業における 男女共同参画の推進	(6) 都市と交流・共生する農山漁村づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
シーカヤック関連整備事業	商工観光課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
シーカヤックによる交流人口の拡大を目指す。							
平成25年度実績							
宇和島シーカヤッククラブを主体とし、講習会や親子ふれあい体験教室等を開催。							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
利用者は女性も多いが、クラブの活動メンバーに女性がいない。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成26年度予定							
宇和島シーカヤッククラブを主体とし、講習会や親子ふれあい体験教室等を開催。							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	4 国際交流・協力の推進	
施策の方向及び具体的施策	1 国際交流の充実及び国際感覚の向上	(1) 国際ボランティア養成講座の開催

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
中国象山県との交流事業(中国語講座開催事業)	総務課	59人	70人	①充実		●	③新規
事業の概要							
中国象山県との友好交流の一環として、宇和島市国際交流員を講師とし、週1回公民館で開催するものであり、市民が語学を学ぶことにより相互理解や友好親善が推進されることを目的としている。							
平成25年度実績							
中国語講座 講師 王 姿妍							決算額
週1回(木)19:00~21:00 吉田支所で開催							12千円
開催実日数46日(初級・中級の2講座実施)							実績値
受講登録者数 55名(男25名・女30名) 延べ受講者数1,472名							55人
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
参加者の多くは中国交流に大変熱心であり、象山県からの柑橘農業技術研修生と積極的な交流を図る等活発に活動している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成26年度予定							
受講生が継続的且つ楽しく語学を学べるように、テキストのみでなく、絵付きカード、CD、DVD、中国映画上映や象山県からの研修生を参加させて、生きた中国語を実感させる。							予算額
							12千円
							目標値
							60人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	4 国際交流・協力の推進	
施策の方向及び具体的施策	1 国際交流の充実及び国際感覚の向上	(2) 国際交流の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
ハワイ交流事業	総務課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
<p>国際交流団体や住民との連携を深め、国際化に対応した地域づくりの活性化を図る。 愛媛とハワイの子供たちが一堂に会し、交流の意味を込めた野球大会を隔年でハワイ、愛媛県(松山・宇和島)で開催している。 えひめ丸の不幸な事故を風化させることなく後世に伝えるとともに、姉妹都市としての友好関係をより深める目的で開催している。</p>							
平成25年度実績							
愛媛ハワイ交流少年野球大会 平成25年度:ハワイで開催 えひめ丸事故を機にハワイ州ホノルル市との姉妹都市提携を行い、交流野球大会は今回で第12回目となるもので、今後の更なる交流促進のために継続していく必要があるものと思われる。 また25年度は、市内のフラ団体を中心に訪問団を結成し、フラを通じた宇和島とホノルル市民との交流を図りつつ、26年度に実施する姉妹都市提携10周年記念事業の事前協議を行い、お互いが認識を深めることが出来た。							決算額
							3,257千円
							実績値
							1回
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
関係者の多数の参加があり、盛大に開催できた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成26年度予定							
平成26年度は、交流少年野球大会レセプションを宇和島で開催する。 姉妹都市提携10周年を迎えるにあたり、ホノルル市での記念式典・レセプションを開催する。							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	4 国際交流・協力の推進	
施策の方向及び具体的施策	1 国際交流の充実及び国際感覚の向上	(2) 国際交流の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
日韓友好支援事業	生涯学習課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
【目的】 国際感覚を持った有為な人材育成に寄与するとともに、国際親善、国際交流を推進する。							
【内容】 宇和島市内の小学生と、韓国浦項市の小学生がお互いの国を訪問して、ホームステイや交歓会を行うことにより相互理解と日韓親善を深める。							
平成25年度実績							
中止(国際情勢や日韓の外交上の都合により)							決算額
							—
							実績値
							—
							進捗状況
							2
事業に対する評価・課題等							
国際情勢や日韓の外交上の影響を受けやすく、突然の中止を余技なくされる場合がある。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
中止							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援	
施策の方向及び具体的施策	1 働き方の見直しの促進	(2) 労働時間短縮等の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市職員の年次有給休暇の取得促進	総務課	年平均 10.5日	年平均 10日以上	①充実		●	③新規
事業の概要							
市職員の年次有給休暇の取得を促進し、職業生活と家庭・地域生活のバランスの取れた、健康的な生活を支援する。							
平成25年度実績							
平成25年1月～12月までの年次有給休暇取得日数 平均9.3日							決算額
							-
							実績値
							9.3日
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
年次有給休暇の取得について、目標値である平均年10日以上に達していない所属課がある。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成26年度予定							
各所属課において年間10日以上有給休暇が取得できるよう推進する。							予算額
							-
							目標値
							10日

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援	
施策の方向及び具体的施策	1 働き方の見直しの促進	(2) 労働時間短縮等の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市職員への休業・休暇制度の周知、環境整備	総務課			①充実		●	③新規
事業の概要							
休業・休暇制度について国に準じて制度を整備するとともに、制度の周知を行う。							
平成25年度実績							
嘱託職員育児休業制度(平成23年度創設) 平成25年度の嘱託職員の育児休業取得者は計3名であった。							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
正規職員に係る特別休暇は国に準拠して制度を整備することとなるが、非正規職員に関しては市の財政状況や他市の状況を考慮しながら対応することとなっている。法律や国の制度改革が伴った場合は、非正規職員の勤務条件も速やかに改善に努める。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成26年度予定							
国に準じて制度の整備に努める。							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援	
施策の方向及び具体的施策	1 働き方の見直しの促進	(3) 在宅勤務等、新しい就業形態等の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市職員への短時間勤務制度の導入	総務課			●			
事業の概要							
平成20年度より、職員の職業生活と家庭生活との両立を支援するため、職員が職務を完全に離れることなく育児を行うことができるよう、正職員に育児のための短時間勤務制度を導入した。 勤務形態: 3時間55分/日×週5日(週19時間35分)、4時間55分/日×週5日(週24時間35分)、 7時間45分/日×週3日(週23時間15分)、7時間45分/日×週2日+3時間55分/日×週1日(週19時間25分)							
平成25年度実績							
平成25年度の育児短時間勤務者: 0名							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							-
事業に対する評価・課題等							
代替職員の確保及び仕事の引き継ぎに課題がある。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成26年度予定							
育児短時間勤務の請求があった場合には、代替職員を確保することにより許可できる環境づくりに努める。							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援	
施策の方向及び具体的施策	1 働き方の見直しの促進	(3) 在宅勤務等、新しい就業形態等の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市職員の時間外勤務時間の削減	総務課	-	年間上限 360時間	①充実		●	③新規
事業の概要							
ワーク・ライフ・バランスを推進するため、市職員の時間外勤務時間の削減を行う。							
平成25年度実績							
○平成25年度実績 23,132時間(水道3,890時間 その他19,242時間)前年度比964時間増 年間360時間超過職員 3人(水道1人 その他2人)前年度比2人減							決算額
							-
							実績値
							左記参照
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
平成24年度実績は、22,168時間(水道3,807時間 その他18,361時間)で、25年度には総時間数で964時間、4.3%増加する結果となった。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成26年度予定							
今後も業務の効率化に努め、時間外勤務時間数の減少に努めたい。							予算額
							-
							目標値
-							

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援	
施策の方向及び具体的施策	2 家庭生活における男女共同参画の推進	(2) 男女共同参画による子育ての促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
保育所・子育て支援センター事業	福祉課	6箇所	6箇所	①充実		●	③新規
事業の概要							
保育所(園)・地域子育て支援センターなどの情報提供機能を活用し、父親の子育て参加に対する意識啓発を促進していきます。							
平成25年度実績							
地域子育て支援拠点事業を法人5園で実施							決算額
							37,100千円
							実績値
							5箇所
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
特になし							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成26年度予定							
							予算額
							37,100千円
							目標値
							5箇所

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援	
施策の方向及び具体的施策	2 家庭生活における男女共同参画の推進	(2) 男女共同参画による子育ての促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続		③新規
幼稚園の情報機能の活用による意識の見直し	教育総務課	100%	100%	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
保育所(園)・地域子育て支援センター・幼稚園・小学校などの情報提供機能を活用し、父親の子育て参加に対する意識啓発を促進していきます。								
平成25年度実績								
<ul style="list-style-type: none"> ・参観日・家族参観日などを通して、園の取組や指導内容の理解を図ってきた。また、子育て支援の講演会を開き、家族の役割について具体的に啓発した。 ・園行事やPTA活動への父親の参加を促した。 ・25年度から、週3回園庭開放を行い、保護者間の親睦を深めてきた。 								決算額
								—
								実績値
								100%
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携を十分にとる。 ・保護者の幼稚園教育の理解と父親の子育てへの積極的な参加を図る。 ・園庭を開放したことで、母親同士のつながりが深まってきている。また、参観日等への父親の参加が増え、子育てに対する意識も高まっている。 ・園行事には、ほとんどの家庭が協力的であり、父親の参加も多い。 								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成26年度予定								
<ul style="list-style-type: none"> ・幼児への適切な指導のための園内研修やPTA活動を充実する。 ・行事や通信などを利用し、保護者と同じ意識をもって子育てを推進する。 ・保護者間に、「園児数が少ないため、役員の仕事は全員で行おう。」という意識がある。仕事を持っている母親も増えているため、行事の精選をしながら、両親参加型のPTA活動をしていきたい。 								予算額
								—
								目標値
								100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援	
施策の方向及び具体的施策	2 家庭生活における男女共同参画の推進	(2) 男女共同参画による子育ての促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
おやじの会推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	77%	100%	①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
父親の子育て参加に対する意識啓発の促進。学校行事、PTA活動等、学校教育活動への父親参加の呼びかけ。よりよい子育てを目指しての研修啓発活動の実施。							
平成25年度実績							
PTA活動での父親の活躍が目についた。「おやぢの会」による環境整備作業や見守り活動が行われた。「MEIRINみまもり隊」の活動への参加協力を行った。家族参観日、親善球技大会の実施。夏季休業中のプールの監視、親子奉仕活動、運動会の準備等、学校行事に父親も積極的に参加していただいている。環境整備奉仕作業、PTA一日研修、青空クッキング、芋作り、運動会等のPTA行事や学校行事に父親の参加が増えた。PTA学級役員を各学級父親、母親各1名選出。夏季休業中のプールの監視、プール清掃、運動会の準備や種目参加に父親の参加が増えている。「父ちゃん母ちゃんの会」と呼ばれる会を年間を通して実施し、保護者間の交流を深めるとともに、父親の参加意識の高揚を図った。							決算額
							実績値
							84%
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
家族参観日や球技大会、校内環境整備等で父親が積極的に活動に参加した。関係諸機関・諸団体との連絡調整がうまくいき、協力体制ができていく。父親の参加しやすく、父親の協力を得やすい行事内容の設定。家族が参加する行事は、母親が中心になることが多いので、父親のネットワークを広げていきたい。日曜日や祝日の行事については父親の参加が多く見られるが、平日の参観日・学級PTAでは父親の参加は少ない。PTA行事への参加はあるが、父親との直接懇談の場の確保は難しいのが現状である。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
授業参観への父親の参加率を高める。学校行事やPTA活動等へのより一層の参加呼びかけを行う。父親に参加していただけるような会の持ち方を工夫する。各種通信で、男女参画の重要性を発信していく。							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援	
施策の方向及び具体的施策	2 家庭生活における男女共同参画の推進	(3) 男性の家事・育児等への参画促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
両親学級	保険健康課			●			

事業の概要

妊婦及びその家族に対し、子どもを健康に産み育てるための知識・技術について支援し、母子保健の向上に努める。また、妊娠・出産に対する不安の軽減を図り、仲間作りの場とするものである。

平成25年度実績

【パパママスクール】 (対象) 宇和島市に居住地を有する妊婦及びその配偶者 (場所・回数) 宇和島保健センター一年9回(日曜日5回・平日の夜間4回) (内容) 栄養についての講話、試食、夫の妊婦体験、妊婦体操、赤ちゃんの育て方・沐浴実習 など (従事者) 保健師・栄養士					決算額
					11千円
					実績値
					9講座
					進捗状況
				4	

	回数(回)	受講者数(人)			(別掲妊婦の両親姉妹等)
		全数	(再掲妊婦)	(再掲)夫	
I マタニティ編	4	80	42	38	0
II 育児編	5	110	57	53	2
計	9	190	99	91	2

事業に対する評価・課題等

・昨年度まで実施していたマタニティスクール・マタニティクッキングは参加者が少ないため今年度より中止し、夫婦で参加できる教室を充実させることとし、「パパママスクール」の回数を増やして実施した。
 ・「学級の内容に満足できた」と答えた妊婦は99.0%夫も98.9%と満足度は高い。
 ・出産まで「親になる」自覚を持ちにくい夫も多いと思うが、少しでも自覚を促していきたい。

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

平成26年度予定

・教室の内容を検討し、利用しやすいプログラムとする	予算額
	16千円
	目標値
	8講座

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(1) 育児休業制度の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市職員の仕事と子育ての両立等についての相談窓口での相談受付	総務課			●			
事業の概要							
市職員の仕事と子育てについて相談を受ける窓口を設置し、仕事と子育ての両立ができるよう職員のサポートを行うもの。							
平成25年度実績							
総務課人事係で相談を受ける体制となっており、産前休暇願申請の際に個別に相談を受けることとしている。							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
職員が気軽に相談できる雰囲気づくりを心掛けたい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成26年度予定							
継続して、気軽に相談できる雰囲気づくりに努める。							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(1) 育児休業制度の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市職員の育児休業等取得率の向上(少子化・子育て支援)	総務課	男性0% 女性100%	男性10% 女性100%	①充実		●	③新規
事業の概要							
市職員が育児休業を取得しやすい職場環境を整えとともに、男性職員の取得を促進していく。							
平成25年度実績							
○ 平成25年度中に新たに育児休業が取得可能になった職員数と取得実績 対象者 男性19人 女性5人 取得者 男性1人(5.3%) 女性5人(100%)							決算額
							-
							実績値
							男性5.3% 女性100%
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
平成25年度実績として、女性の取得率100%に対し、男性の取得率5.3%であった。さらに育児休業制度及び育児短時間勤務制度の周知を行うとともに、男性職員の育児休業取得を促進する。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成26年度予定							
職員が育児休業を取得しやすい職場環境づくりに心がけ、男性職員の育児休業取得を促進する。							予算額
							-
							目標値
							男性10% 女性100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(2) 子ども看護休暇制度の啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市職員への子どもの看護休暇等の特別休暇の周知と取得の促進	総務課			①充実		●	③新規
事業の概要							
<p>「子の看護のための休暇」は、職員が負傷又は病気の小学校就学の始期に達するまでの子の看護を行なう場合で、その勤務しないことが相当と認められるときを対象とする特別休暇で、1年において5日(2人以上は10日)の範囲内で認められる。子どもの看護休暇等の子育てを支援する特別休暇制度の周知を行い、取得の促進を図る。</p>							
平成25年度実績							
平成25年度 子の看護休暇取得 6人 21日0時間 (うち男性職員4人)							決算額
							-
							実績値
							6人
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
制度の周知を行う。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成26年度予定							
男性職員の取得がさらに促進するため、制度の周知を図る。							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(3) 男性の育児休業取得に向けた意識啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
「えひめの保育」等を通じた情報提供・意識啓発	福祉課			●			
事業の概要							
「えひめの保育」や各種情報誌など、あらゆる機会を活用し、男性の育児休業取得に向けた意識啓発を行う。							
平成25年度実績							
「えひめの保育」や各種情報誌などを保育所に配布している。							決算額
							0千円
							実績値
							-
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
特になし							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成26年度予定							
							予算額
							0千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(4) 育児支援サービスの利用促進

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
保育サービスネットワーク事業	福祉課			●			
事業の概要							
各種保育サービスや地域支援体制など支援サービスや制度について周知に努め、公的サービスの利用を促進します。 ・地域内における保育サービスに関するパソコンネットワークを構築し、病後児保育・一時保育・認可外保育施設などの空き状況の情報提供 ・育児休業取得者、育児を行う就業者に対する育児支援等の、国・県の関係諸施策や各種制度の広報・情報提供、関係団体と連携して啓発に努める							
平成25年度実績							
「宇和島市保育サービスネットワーク」としてホームページを開設しており、随時更新を行っている。							決算額
							0千円
							実績値
							-
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
保育や子育て支援サービスの内容など多岐に渡って掲載しており、かなり充実していると思われる。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
前年度と同様							予算額
							0千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(5) 延長保育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
延長保育の充実	福祉課	6箇所	9箇所	①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
開園時間を超える保育ニーズに対応するため、延長保育を充実する。							
平成25年度実績							
延長保育促進事業を法人立保育園6園で実施							決算額
							35,424千円
							実績値
							6箇所
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
開演時間を超える保育ニーズに対応するため、延長保育を充実した。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
前年度と同様に実施する。							予算額
							35,424千円
							目標値
							6箇所

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(6) 休日保育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
休日保育の充実	福祉課			①充実		●	③新規
事業の概要							
保護者の日曜・祝日の勤務などの理由によって保育ができない場合の対応を充実します。							
平成25年度実績							
休日保育事業を法人立保育園1園において実施							決算額
							1,337千円
							実績値
							1箇所
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
日曜・祝日に保育が必要な人に対しては十分な対応ができたが、今後の利用促進のため更なる啓発は必要。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成26年度予定							
利用があるため、該当保育園の運営状況及び国の基準等を勘案して継続。							予算額
							1,337千円
							目標値
							1箇所

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(7) 特定保育の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
特定保育の実施	福祉課			●			
事業の概要							
就労形態等の多様化に伴い、家庭での保育が一時的に困難となる場合など、様々な保育ニーズに対応するため、週2・3回程度、また、午前か午後のみなどの柔軟な保育事業を実施する。							
平成25年度実績							
類似した内容の事業へ一本化したため、平成25年度より実施していない。							決算額
							0千円
							実績値
							-
							進捗状況
							-
事業に対する評価・課題等							
特になし							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成26年度予定							
特になし							予算額
							0千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(8) 病後児保育の充実(施設型)

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
病後児保育の充実(施設型)	福祉課	1箇所	2箇所	●			

事業の概要

現在、実施されている病後児保育に対して支援を行い、保護者の就労などにより、病気回復期に家庭での保育が困難な乳幼児の保育を充実する。

平成25年度実績

こおり小児科にて実施。	決算額	8,800千円
	実績値	1箇所
	進捗状況	4

事業に対する評価・課題等

保護者の就労等により、病気回復期に家庭での保育が困難な乳幼児の保育に対応できた。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成26年度予定

前年度と同様に実施	予算額	8,800千円
	目標値	1箇所

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(9) 一時保育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
一時保育の充実	福祉課			●			

事業の概要

保護者の就労形態の多様化や疾病等の緊急時に対応するため、また、保護者の心理的・肉体的負担の解消を図るためにも一時保育を充実する。

平成25年度実績

法人立保育園6園において実施	決算額	9,480千円
	実績値	6箇所
	進捗状況	4

事業に対する評価・課題等

保護者の就労形態の多様化や疾病等の緊急時に対応できた。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成26年度予定

前年度と同様に実施	予算額	9,480千円
	目標値	6箇所

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(11) 放課後子どもプランの充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
学童保育の充実	福祉課	9箇所	10箇所	①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
<p>地域の実情に合わせて子育て支援を充実させるため、小学生の放課後の居場所を確保する放課後児童プラン(放課後児童クラブ)を充実する。(対象者1~3年生)</p>							
平成25年度実績							
放課後児童クラブ 公設民営 4クラブ、民設民営 5クラブを開設。 児童者数(補助基準対象数) 331人							決算額
							26,979千円
							実績値
							9箇所
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<p>平成27年度から子ども子育て支援新制度の導入を控え、住民ニーズ調査によりサービス供給量を踏まえながら、整備等を行う必要がある。また、平成26年年度において、設備及び運営に関する基準に関する条例を制定しなければならない。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
放課後児童クラブ 公設民営 4クラブ、民設民営 5クラブを開設。 児童者数(補助基準対象数) 350人							予算額
							27,067千円
							目標値
							9箇所

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(11) 放課後子どもプランの充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	10箇所	10箇所 (事業拡充)	①充実	●	②継続	③新規

事業の概要

放課後に小学校の余裕教室や公民館等を活用して、子ども達の安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域住民の参画を得て、子ども達とともに勉強やスポーツ、地域住民との交流活動等に取り組むことにより、子ども達が地域社会の中で心豊かで健やかにはぐくまれる環境作りを推進する。

平成25年度実績				決算額
【鶴島放課後子ども教室】	①実施日数：40日	②参加児童(平均)：31.1人/回		9,750千円
【天神放課後子ども教室】	①実施日数：10日	②参加児童(平均)：28.5人/回		
【和霊放課後子ども教室】	①実施日数：10日	②参加児童(平均)：16.1人/回		実績値
【高光放課後子ども教室】	①実施日数：185日	②参加児童(平均)：7.9人/回		
【住吉放課後子ども教室】	①実施日数：187日	②参加児童(平均)：16.8人/回		11箇所
【三間放課後子ども教室】	①実施日数：187日	②参加児童(平均)：10.9人/回		
【二名放課後子ども教室】	①実施日数：187日	②参加児童(平均)：7.8人/回		進捗状況
【成妙放課後子ども教室】	①実施日数：185日	②参加児童(平均)：3.4人/回		
【畑地放課後子ども教室】	①実施日数：187日	②参加児童(平均)：2.9人/回		4
【宇和津放課後子ども教室】	①実施日数：187日	②参加児童(平均)：5.5人/回		
【美沼子ども教室】	①実施日数：77日	②参加児童(平均)：5.7人/回		

事業に対する評価・課題等

平成24年度との比較で1箇所増え、合計11箇所を実施している。
 学校日の開催を基本としている7教室については、学童保育のニーズの高い地域における児童クラブを補完する形での放課後対策事業として一定の評価ができる。長期休業期間や土曜日の学校休業日への対応については、平成25年度に美沼子ども教室(三間地区対象)を開設した。
 公民館で不定期に開催している3教室については貸館の都合上実施回数に限りがあり、地域の教育力を生かした児童の居場所づくりという観点からは十分評価できるものの、学童保育の普及を求める保護者のニーズには十分対応できていない。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成26年度予定				予算額
【鶴島放課後子ども教室】	実施日数：40日	【天神放課後子ども教室】	実施日数：15日	10,469千円
【和霊放課後子ども教室】	実施日数：10日	【高光放課後子ども教室】	実施日数：190日	
【住吉放課後子ども教室】	実施日数：190日	【三間放課後子ども教室】	実施日数：190日	目標値
【二名放課後子ども教室】	実施日数：190日	【成妙放課後子ども教室】	実施日数：190日	
【畑地放課後子ども教室】	実施日数：190日	【宇和津放課後子ども教室】	実施日数：190日	11箇所
【美沼子ども教室】	実施日数：95日			

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(12) 地域子育て支援センター事業への支援充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
地域子育て支援センター事業	福祉課			①充実		●	③新規
事業の概要							
地域子育て支援センターを設置し、保護者の育児相談、保育サービスの利用相談等に対応できる体制を整備する。							
平成25年度実績							
地域子育て支援拠点事業を法人立保育園5園で実施するとともに、外の保育所や公民館などでも出張開催している。							決算額
							37,100千円
							実績値
							5箇所
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
充実して実施している							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
前年度と同様に実施							予算額
							37,100千円
							目標値
							5箇所

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(13) ファミリー・サポート・センター事業の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
ファミリー・サポート・センター事業	福祉課					●	

事業の概要

子育て中の保護者が急な仕事・用事により、子どもの世話ができないとき、一時的に地域住民が子育ての手伝いをおこなう。

平成25年度実績

会員登録数(平成26年3月31日現在) 利用会員 187人 サポート会員 93人 両方会員 17人 計 297人	決算額	2,241千円
	実績値	1個所
	進捗状況	4

事業に対する評価・課題等

平成25年度における活動件数が1,336件にもなっており、昨年度から倍増している。
サービス利用は増加している反面、サポート会員は微増に推移しており、会員の確保が必要な状況にある。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成26年度予定

	予算額	2,348千円
	目標値	1個所

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(14) 児童館設置の検討

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
児童館設置の検討	福祉課	-	1箇所	①充実		●	③新規
事業の概要							
地域において健全な子どもを育成し、情報交換やふれあいの場を提供していくために、児童館の設置を検討する。							
平成25年度実績							
							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							-
事業に対する評価・課題等							
-							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成26年度予定							
							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(16) 乳幼児・児童を持つ家庭への各種手当・医療費の助成

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
乳幼児医療費助成・児童手当	福祉課					●	

事業の概要

子ども手当をはじめとする各種手当の支給や医療費の助成と行い、乳幼児、児童を養育している家庭の福祉の増進を図る。

平成25年度実績

平成25年4月診療分から、児童医療の助成範囲を小学生から中学生卒業まで拡充した。 児童手当の支給 1,140,180千円 乳幼児医療の負担 134,306千円 児童医療費の助成 5,767千円	決算額
	1,280,253千円
	実績値
	左記参照
	進捗状況
	5

事業に対する評価・課題等

国、県の施策に基づき実施

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	-

平成26年度予定

児童手当の支給 1,180,000千円 乳幼児医療の負担 140,000千円 児童医療費の助成 7,200千円	予算額
	1,327,200千円
	目標値
	-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(17) ひとり親家庭への各種手当・医療費の助成

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
母子家庭医療費助成・児童扶養手当	福祉課			●			
事業の概要							
児童扶養手当をはじめとする各種手当の支給や医療費の助成を行い、母子家庭等の福祉の向上を増進をはかる。							
平成25年度実績							
児童扶養手当の支給 474,308千円 母子家庭医療費の助成 78,821千円							決算額
							553,129千円
							実績値
							左記参照
							進捗状況
5							
事業に対する評価・課題等							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成26年度予定							
前年度と同様に実施 児童扶養手当の支給 480,000千円 母子家庭医療費の助成 80,000千円							予算額
							560,000千円
							目標値
—							

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(18) ひとり親家庭への相談・支援活動の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
家庭・児童相談員(相談員3人)	福祉課			●			
事業の概要							
ひとり親家庭に対して、民生児童委員、主任児童委員等との連携を図りながら、生活一般及び自立生活に必要な相談・支援活動を充実させていく。							
平成25年度実績							
1名の母子自立支援員を配置し、母子家庭から相談を受けたり、小口資金10件や福祉資金13件の貸し付けなど支援を行っている。							決算額
							1,855千円
							実績値
							23件
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
児童扶養手当受給者で求職中の者について、ハローワークと連携し就労支援を実施。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成26年度予定							
昨年度と同様に就労支援を実施。 平成26年10月から父子家庭に対しても福祉資金の貸し付けが拡充される。							予算額
							1,938千円
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(19) ひとり親家庭への就労支援

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
母子自立支援事業	福祉課			●			
事業の概要							
母子家庭の社会的、経済的自立を推進していくため、国や県と連携を取りながら推進する。							
平成25年度実績							
平成25年度から自立支援教育訓練費及び高等技能訓練促進費の助成範囲を父子家庭の父にも拡充した。 自立支援プログラム策定事業 1件 高等技能訓練促進費等事業 6人 7,082千円							決算額
							7,082千円
							実績値
							6人
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
国の制度改正を踏まえながら、事業を実施していく。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成26年度予定							
自立支援プログラム策定事業 1件 自立支援教育訓練給付金 40千円 高等技能訓練促進費等事業 9,750千円							予算額
							9,790千円
							目標値
							9人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(20) 子育て意識の啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
子育て支援広報啓発事業	福祉課			①充実		●	③新規
事業の概要							
-							
平成25年度実績							
							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							-
事業に対する評価・課題等							
-							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成26年度予定							
							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(20) 子育て意識の啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
健康衛生推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	83%	100%	①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
<p>生命の尊さや親となる喜びを学ぶ機会の実現・子育てに喜びを感じる社会づくり。自他の生命尊重の大切さを学校・家庭が共有。社会全体で子育てを支える必要性などについての啓発活動の推進。生命尊重を基盤とした教育の実施。</p>							
平成25年度実績							
<p>老人福祉施設を全学年が訪問し、お年寄りとの交流を深めるなど、命や福祉を学ぶ教育の機会を充実させた。子育てについての悩みを話し合う場・機会を設定するよう努めた。教職員と保護者が子育てについて話し合う場・機会を持つことにより、連携・協力した児童の成長にかかわる取組ができた。主任児童委員と連携した児童の健全育成ができた。交通安全教室や薬物乱用教室による警察や関係機関との連携ができた。学校だより・学級通信・保健だよりを通して、連携して命の大切さを伝えていくよう呼び掛けた。日々の集団下校において、命の大切さや発達段階に応じた役割の指導に努めている。交通安全教室や薬物乱用防止教室による、警察や関係機関との連携ができた。総合的な学習の時間において、福祉問題を取り上げ、関係機関の協力を得て、学習の機会を充実させた。見まもり隊等の協力を得て、毎日の安全な登下校を行うことができた。交通安全教室や薬物乱用防止教室による、警察や関係機関との連携ができた。防災教育の中で、自他の生命尊重の大切さを学習した。</p>							決算額
							実績値
							85%
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<p>保健室使いや学級通信等、学校からの啓発活動に努めた。教職員と保護者が子育てについて話し合う場・機会を持つことにより、連携・協力した児童の成長にかかわる取組ができた。御家庭の考え方が多種多様になってきているので、なかなか学校側の真意を理解していただけない場合もある。各家庭での独自の子育て感が強く影響するようになってきている。地域の協力も得られ、感謝の気持ちについても指導のよい機会となっている。各家庭で独自の子育て観があり、子育ての悩みなどを共有することが困難な点もある。道徳教育を、学校全体の教育活動の中で充実させることができた。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
<p>地域全体で防災訓練を実施することを通して、自他の生命尊重の大切さを学ぶ機会とする。性教育年間指導計画に沿って、各教科との関連を図りながら指導をする。学校だより等の通信を通じた、学校情報の発信を行う。公民館主催の事業に積極的に関わり、家庭・地域との連携を深め、あらゆる機会を通して命の尊さを訴える。人権感覚の高揚・生命尊重をテーマにした講演の実施。防災訓練の実施。地域の自主防災組織と連携した防災訓練の実施。人権感覚の高揚・生命尊重をテーマにした講演の実施。</p>							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(21) 子育てを支援する環境整備

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
歩道の切下げ及び点字ブロックの設置等	建設課	20%	22%	①充実		●	③新規	
事業の概要								
<p>交差点及び横断歩道の車道と歩道の段差をなくし、歩行者にやさしい道作りをするものです。また、通学路を中心に歩行者に対して安全対策設備工事を実施する。</p>								
平成25年度実績								
市道成家曾根線(三間町内)に転落防止策(ガードパイプ)を約150m設置したほか、5路線にて歩行者安全対策工事を行った。								決算額
								7,350千円
								実績値
								20%
								進捗状況
								3
事業に対する評価・課題等								
<p>近年の財政状況に対して、市内の補修箇所の増加により予算確保が困難になっている。しかしながら、交通弱者に対して最優先の道造りを行っていかねばならないと考えている。</p>								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成26年度予定								
歩行者にとって危険な箇所について、市民からの要望によりその都度補修を行う予定である。また、通学路緊急合同点検の結果を踏まえ、危険箇所について対策工事を実施予定。								予算額
								8,500千円
								目標値
								21%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(21) 子育てを支援する環境整備

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
都市公園における移動等円滑化への対応	都市整備課			①充実		●	③新規
事業の概要							
出入口の段差解消やスロープの設置等により、高齢者や障がい者、ベビーカーを含む子ども連れの人などに優しい公園造りを目指すもの							
平成25年度実績							
都市公園、児童遊園における公園施設の設置・改修の実績なし。							決算額
							—
							実績値
							—
							進捗状況
							—
事業に対する評価・課題等							
公園施設の機能回復のための修繕はその都度行ったが、機能向上のための改修は行っていない。地域の要望や現状を把握し、財政措置を含めた年次改修計画の策定が必要。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成26年度予定							
都市公園、児童遊園の既存の公園施設の調査・改修。							予算額
							—
							目標値
							1か所以上

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(21) 子育てを支援する環境整備

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
公営住宅整備事業(バリアフリー型公営住宅数の拡大)	建築住宅課	56戸	128戸	①充実		●	③新規
事業の概要							
<p>少子高齢社会に対応するため公営住宅等整備事業により、公営住宅のバリアフリー化を推進する。</p>							
平成25年度実績							
<p>年度内の修繕予算は、公営住宅住民からの修繕願に基づく修繕などで全額使い切る状況で、逆に残不足により年度末近くになると公営住宅住民の生活環境に直結するような修繕すら満足に受け付けられない状況に陥る。したがって、上記関連事業にまわす予算残がなかったことなどから、実績は全くない。</p>							決算額
							—
							実績値
							—
							進捗状況
							1
事業に対する評価・課題等							
<p>H24の現状値は、伊吹団地のシルバーハウジングの戸数であり、目標値にて既存住宅のうち72戸をバリアフリー化しようとするものであるが、上記平成25年度実績にて述べたような例年の逼迫した歳出状況から、同事業のための予算措置をしていただけない限りは、同事業の進捗は全くありえない。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成26年度予定							
<p>昨年度と同様の実情より、今年度に就いても何ら進捗することはないと思われる。</p>							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(22) 地域交流の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
保育所地域交流事業	福祉課			●			
事業の概要							
様々な世代間の交流や中高生による体験学習、郷土芸能の伝承活動、保育所・幼稚園・小学校・中学校の連携など、地域・学校・家庭での交流を促進する。							
平成25年度実績							
公立12園、法人6園で実施							決算額
							1,664千円
							実績値
							18箇所
						進捗状況	
						4	
事業に対する評価・課題等							
世代間の交流を促進することができた							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成26年度予定							
						予算額	
						目標値	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(22) 地域交流の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
幼稚園における地域交流	教育総務課			●			
事業の概要							
<p>様々な世代間の交流や中高生による体験学習、郷土芸能の伝承活動、保育所・幼稚園・小学校・中学校の連携など、地域・学校・家庭での交流を促進します。</p>							
平成25年度実績							
<p>・公民館・地域の高齢者、また、小・中・高等学校との様々な交流や連携を図ってきた。 ・中高生の職場体験学習の受け入れ、小学校・未就園児との交流活動、高齢者福祉施設訪問などの他、地域の祭りにも参加し、様々な世代の人達との交流を行った。 ・中学・高校生による体験学習での交流、稲作を通して地域の人々との交流を行う。</p>							決算額
							—
							実績値
							100%
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
<p>・同じ敷地内に小学校・公民館があり、交流や連携がとりやすかった。また、園行事に老人クラブの方々に参加してもらうことで、お年寄りとの交流ももてた。 ・様々な人との交流を通して、豊かな経験や人のかかわりを深めることができた。 ・園児と様々な世代との交流を重ねてきたことで、親しみの気持ちや思いやりの心が育まれてきている。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成26年度予定							
<p>・小学校や公民館・地域・保育所との交流により、地域で見守り、育てる指導体制を確立する。 ・引き続き、地域行事への参加、地域の人々との交流活動を取り入れる。また、餅つきなどの伝統文化をお年寄りから若い保護者へ受け継いでいけるようにしたい。</p>							予算額
							—
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(22) 地域交流の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
豊かな人間性育成推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	87%	100%	①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
様々な世代間の交流や体験学習、郷土芸能の伝承活動、小中学校の連携など、地域・学校・家庭での交流の促進。公民館活動を中心とした地域行事への積極的な参加。低学年とお年寄りとの交流会の実施。老人クラブとの交流や地域での体験活動。							
平成25年度実績							
地域の老人クラブと、グランドゴルフや注連縄作りを通して交流することができた。公民館活動を中心とした地域行事へ、積極的に参加した。地域の方々がゲストティーチャーとして迎え、稲作体験、梅干し作り、みかん作りなどを行った。公民館(愛護会)の諸行事やボランティア活動への積極的な参加を促した。老人クラブとの交流活動を実施した。お世話になった地域の方々を招き、交流遊び集会を実施した。地域の秋祭りや相撲大会等の行事に参加する。地域の秋祭りの御輿担ぎなどに、多くの児童生徒が参加した。保育所や自治会、老人クラブ等との交流会により、子どもと地域との結び付きをより強固なものにすることができた。地区別教育懇談会を開催し、学校・保護者・地域の方が参加して、生徒の健全育成について話し合いと情報交換を行った。							決算額
							実績値
							86%
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
学校と地域が連携することにより、学校が地域のコミュニティとして機能している。地域との関わりを深めることにより、地域全体で子どもたちを育てているという意識が高まった。地域の方との交流によって、世代間交流がうまくできた。地域の人たちとの交流が進んでいる地域とそうでない地域に差が見られる。地域の人をゲストティーチャーとして校内に招いて指導してもらったり、地域との触れ合い活動を取り入れたりする。地域行事への参加を通して、児童が、地域の歴史や文化を学び、地域の一員としての自覚が高まった。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
世代間交流行事の促進。校外学習の積極的な実施。総合的な学習の時間や生活科の中での地域教材を通して、地域に対する愛着を深める。地域の交通安全指導員の方への、感謝の言葉掛け老人クラブとの交流活動を実施する。児童会を中心に計画を立て、交流遊び集会を実施する。ゲストティーチャーによる学習や体験活動の実施。世代間交流行事の促進。児童が、計画段階から主体的に参加できるような行事の実施。公民館や各種団体と連携して三世代交流を積極的に行う。公民館活動や郷土芸能の伝承活動等への取組を見直し、継承する。地域住民と交流を深める軽スポーツ大会の実施。地域や保護者との交流を深める職場体験学習の実施。							予算額
							目標値
100%							

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(22) 地域交流の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
地域交流推進事業	生涯学習課			●			
事業の概要							
世代間交流や郷土芸能の伝承にかかる学級・講座及び、様々な体験学習を推進し、地域や学校、家庭での交流を促進する。							
平成25年度実績							
【公民館講座】 実施公民館数 :30館 実施回数 :169回 実施時間数 :342時間 参加者数 :2041人 内容 :郷土史学級、三世代交流、光る泥だんご作り、古典読書講座、パソコン教室等							決算額
							525千円
							実績値
							-
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
限られた予算の中で、さまざまな学級・講座が実施できたことは評価できる。今後も多くの人が学べるよう土日や日中、夜間等に分散して開催する努力が必要である。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施に当たり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
【公民館講座】 実施公民館数 :30館 実施回数 :162回							予算額
							631千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	2 介護支援の充実	(1) 介護休業制度の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市職員への休業・休暇制度の周知、環境整備	総務課			●			

事業の概要

職員が家族を介護しなければならなくなった場合には、肉体的、精神的に職業生活と介護の二重の負担がかかることとなり、離職に至ることとなりかねない。介護休暇は、このような事態を回避するため、長期の場合は一定期間の休暇(無給)、短期の場合は特別休暇を認めることにより職員の離職を回避するもの。

長期における取得可能期間: 2週間以上6か月以下
短期における取得可能期間: 1年のうち5日(要介護者が2人以上は10日)

平成25年度実績	
○平成25年度実績 長期における介護休暇 0人 短期における介護休暇 2人	決算額
	-
	実績値
	2人
進捗状況	
3	

事業に対する評価・課題等

制度の周知を行う。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	-

平成26年度予定	
仕事と介護の両立ができるよう、制度の周知や相談体制の充実を図る。	予算額
	-
	目標値
-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	2 介護支援の充実	(2) 介護支援の充実

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
家族介護支援事業(介護用品支給事業)	高齢者福祉課			●				
事業の概要								
居宅において要介護4以上の高齢者を介護している家族に対し、介護用品を支給することにより、経済的負担の軽減を図るとともに、要介護高齢者の在宅生活の継続及び向上を図る。								
平成25年度実績								
利用者数 : 201名								決算額
支給件数 : 1,424件								8,013千円
支給費総額 : 8,013,452円								実績値
								左記参照
								進捗状況
								3
事業に対する評価・課題等								
ケアマネージャーや民生委員等に対して業務説明を行ったため、ある程度の周知は図られたが、市全体として更なる周知を行ってきたい。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成26年度予定								
利用者数 : 200名								予算額
支給件数 : 1,600件								9,600千円
支給費総額 : 9,600,000円								目標値
								-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることのできる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	2 介護支援の充実	(2) 介護支援の充実

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
在宅老人等介護手当事業	高齢者福祉課			●			
事業の概要							
居宅において要介護3以上の寝たきり及び重度認知症の高齢者を介護している家族に対し、介護手当を支給することにより、経済的負担の軽減を図るとともに、要介護高齢者の在宅生活の継続及び向上を図る。							
平成25年度実績							
利用者数：240名 支給月数：1,689ヶ月 支給費総額：8,445,000円						決算額	
						8,445千円	
						実績値	
						左記参照	
						進捗状況	3
事業に対する評価・課題等							
ケアマネージャーや民生委員等に対して業務説明を行ったため、ある程度の周知は図られたが、市全体として更なる周知を行ってきたい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成26年度予定							
利用者数：240名 支給月数：2,300ヶ月 支給費総額：10,000,000円						予算額	
						10,000千円	
						目標値	-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることのできる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	2 介護支援の充実	(2) 介護支援の充実

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
地域支援事業(高齢者見守り配食事業(週3回以内配食、安否確認))	高齢者福祉課			①充実		●	③新規
事業の概要							
<p>居宅において食事の調理等が困難な65歳以上の独居高齢者等に対し、配食サービスを行うことにより栄養状態の改善と健康の増進を図るとともに、利用者の安否確認を行う。</p>							
平成25年度実績							
利用者数：656名(延) 配食件数：5,711件 支給費総額：1,236,050円(委託料のみ)						決算額	
						1,236千円	
						実績値	
						左記参照	
						進捗状況	4
事業に対する評価・課題等							
<p>○食事の提供が週に1回(昼食)のみであったため、十分な事業効果が得られていなかった。H21年度から週3回を上限に利用回数を増やし、利用者の安否確認を行うことに重点を置いている。 ○事業者選定は3年に1度実施しているが、H24年度から津島地区で、事業者が不在の状態が続いていたが、度重なる追加募集の結果、1社が決定し、9月から津島地区での実施が再び再開できた。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成26年度予定							
利用者数：1,400名(延) 配食件数：6,300件 支給費総額：1,700,000円(委託料のみ)						予算額	
						1,700千円	
						目標値	—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	2 介護支援の充実	(2) 介護支援の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向					
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	③新規	●		
やわらか食お料理教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続		③新規	●
事業の概要									
高齢化等に伴う嚥下機能低下に対応したレシピを栄養士が作成し、誤嚥防止のための調理実習を調理師とともにを行い、実践につながる学習機会の提供を行う。									
平成25年度実績									
・実施回数 9回 ・延べ参加者数 72名(すべて外来患者)									決算額
									—
									実績値
									先のとおり
									進捗状況
事業に対する評価・課題等									
・定期的に開催しており、事前に広報うわじまで周知することで、在宅や施設、病院など嚥下食が必要な患者・市民に情報提供を行うことができた。 ・参加者の希望する内容で調理実習を行い、実際作ることによって理解や自信取得につながり、他施設での嚥下食の発展に貢献することができた。 ・教室参加を通して、各施設や病院スタッフの情報交換の場を提供できた。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									5
平成26年度予定									
今後も定期的に実施する。嚥下食地域連携勉強会と共同して、地域住民や他施設、他の病院に調理実習を通して嚥下食の情報提供を行っていく。									予算額
									—
									目標値
—									

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	1 あらゆる暴力の根絶						
施策の方向及び具体的施策	1 あらゆる暴力の防止			(1) あらゆる人に対する暴力の防止			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
防犯灯設置補助金交付事業	企画情報課						
事業の概要							
住民の防犯意識を高め、犯罪を未然に防ぐ地域社会づくりに寄与するため、宇和島市の自治会が防犯灯を新規設置する場合及び既存防犯灯照明器具を一式交換する場合に補助金を交付するもの。							
平成25年度実績							
地域づくり交付金の事業計画により必要な場合は支出費用を交付されることとなったため、平成25年度より事業費なし。							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							-
事業に対する評価・課題等							
地域づくり交付金の事業計画により必要な場合は支出費用を交付されることとなったため、平成25年度より事業費なし。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成26年度予定							
地域づくり交付金の事業計画により必要な場合は支出費用を交付されることとなったため、平成25年度より事業費なし。							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	1 あらゆる暴力の根絶						
施策の方向及び具体的施策	1 あらゆる暴力の防止			(1) あらゆる人に対する暴力の防止			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
児童虐待・DVに関する情報を広報に掲載	福祉課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
乳幼児など児童に対する暴力を容認しない社会環境をつくるための啓発を推進するとともに、生涯を通じて暴力への加害者にも被害者にもなることがないよう、啓発、情報提供を行う。また、関係機関と連携し、女性に対する暴力を誘引する有害環境の浄化を推進する。							
平成25年度実績							
2名の相談員を配置し児童家庭相談活動を実施した。 宇和島市要保護児童対策地域協議会代表者会 1回 " 実務者会 3回 " ケース進行管理会 3回 " 個別ケース会13回							決算額
							0千円
							実績値
							20回
							進捗状況
5							
事業に対する評価・課題等							
昨年と同様困難なケースが多くあるが、関係機関との連携により対処することができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成26年度予定							
昨年と同様に要保護児童対策地域協議会を開催し、事案に対処していきたい。							予算額
							0千円
							目標値
							随時

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	1 あらゆる暴力の根絶						
施策の方向及び具体的施策	1 あらゆる暴力の防止			(1) あらゆる人に対する暴力の防止			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
「愛の一声」活動推進事業(少年センター)	生涯学習課						
事業の概要							
街頭において声かけをすることによって、少年の非行を未然に防ぎ少年自身に自らの行為の過ちに気付かせるような補導活動を進める。 屋間補導 16:00～18:00 夜間補導 19:30～21:30							
平成25年度実績							
「愛の一声」年間対象者人数:1465人 (内訳) 小学生 242人(男125人 女117人) 中学生 288人(男155人 女133人) 高校生 909人(男461人 女448人) その他 26人(男 8人 女 18人)							決算額
							0千円
							実績値
							-
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
少年補導委員はあらゆる機会を通して、自らの補導委員としての資質を高め、日々の活動の中で青少年に「愛の一声」をかけられるよう研鑽を心がけることが大切である。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成26年度予定							
ボランティア精神による各地区での「愛の一声」運動を推進し、前年度同様に積極的な声かけを実施する							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	1 あらゆる暴力の根絶						
施策の方向及び具体的施策	1 あらゆる暴力の防止			(1) あらゆる人に対する暴力の防止			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市民啓発推進事業	人権啓発課						
事業の概要							
市民を対象に、人権啓発パネル展を開催し、すべての人の人権が保障され、乳幼児から高齢者に至るまであらゆる人に対する暴力を容認しない社会環境をつくる啓発を推進する。							
平成25年度実績							
事業名:人権啓発パネル展 会 場:南予文化会館 ロビー 平成25年6月2(日) 参加者:280名							決算額
							0千円
							実績値
							1回
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
人権啓発パネル展の実施により、男女雇用機会均等法やセクシャルハラスメントなど企業における「女性の人権」を広く市民に啓発した。働く女性の人権について、わかりやすく説明した内容となっており、参加者にあらためて女性の人権について考えるきっかけとなった。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
事業名:人権啓発パネル展 会 場:南予文化会館 ロビー 平成26年7月12日(土) 参加者:350名							予算額
							0千円
							目標値
							1回

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	1 あらゆる暴力の根絶						
施策の方向及び具体的施策	1 あらゆる暴力の防止			(2) 配偶者等からの暴力の防止			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
DVIに関する情報を広報に掲載	福祉課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
講座の開催やパンフレットの作成配布など、配偶者等からの暴力についての認識を深め、配偶者等からの暴力防止に向けた啓発に努める。							
平成25年度実績							
県から送付されたパンフレットの配布を行った。							決算額
							0千円
							実績値
							1回
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
特になし							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
前年度と同様							予算額
							0千円
							目標値
							1回

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり	
推進方策	1 あらゆる暴力の根絶	
施策の方向及び具体的施策	1 あらゆる暴力の防止	(3) ストーカー行為防止対策

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
婦人相談員事業	福祉課			①充実		●	③新規
事業の概要							
広報誌による啓発や、警察広報への協力などにより、つきまとい・待ち伏せなどのストーカー行為とそれに対する自己防衛策の周知に努めるとともに、相談体制の充実を図る。							
平成25年度実績							
2名の相談員を配置し婦人相談事業として、相談業務を実施している。							決算額
							0千円
							実績値
							—
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
警察などの関係機関との連携は取れている。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
前年度と同様							予算額
							0千円
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	1 あらゆる暴力の根絶						
施策の方向及び具体的施策	2 相談体制の充実と被害者保護の推進				(2) 被害者保護の推進		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
DV被害者の申請による住民票等交付制限の取扱い等の徹底	市民課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
ドメスティックバイオレンスやストーカー行為等の被害者から申請を受け、申出者の住民票・戸籍附票の発行交付を制限している。また関係する課の協力を得て、各課が扱う住所情報の保護にも配慮している。							
平成25年度実績							
平成25年度の申出件数は、28件。							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
特に問題点や支援もなく運営された。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成26年度予定							
平成25年度の内容継続							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	1 あらゆる暴力の根絶						
施策の方向及び具体的施策	2 相談体制の充実と被害者保護の推進			(2) 被害者保護の推進			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
相談体制の充実(週5日常勤の婦人相談員の配置)	福祉課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
配偶者等からの暴力等の相談体制の充実を図るとともに、関係機関とのネットワークを確立し、被害者保護と自立を支援する取組を強化する。							
平成25年度実績							
2名の相談員(常勤:1名、非常勤:1名)を配置し、相談活動を行った。 緊急性や被害状況等を勘案しながら、警察や愛媛県婦人相談所と連携し対処を行った。							決算額
							0千円
							実績値
							1回
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
警察、愛媛県婦人相談所他関係機関との連携体制が確保できている。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
昨年と同様							予算額
							0千円
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	2 生涯を通じた健康支援				
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援		(1) 健康教育・健康相談		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H24)	目標値(H29)		
健康相談事業	保険健康課			①充実 ●	②継続
事業の概要					
<p>健康増進法に基づく健康増進事業による健康相談を実施する。 事業の対象年齢は、40歳から65歳未満とされているが、宇和島市健康づくり推進計画を基本として、成人期の健康づくりに役立てることとしている。事業の主な内容は、血圧測定・体重・体脂肪率の測定を始め、尿検査、保健師・栄養士による健康及び栄養に関するアドバイスを通して市民の健康づくりに寄与する。</p>					
平成25年度実績					
1)まちの健康相談室 実施内容:健康に関する相談、健診結果の説明、血圧・体重測定・体脂肪測定(偶数月のみ)・尿検査(必要時) 実施回数:年間 48回(市役所、三間保健福祉センター、津島保健センター、吉田支所において毎月実施) 参加者数:年間延べ 305人 2)その他の健康相談 実施内容:歯周疾患健康相談、病態別健康相談、市民健康相談等 実施回数:年間延べ 161回 参加者数:延べ 1,870人					決算額
					241千円
					実績値
					209回
総計: 209回 延べ 2,175人					進捗状況
4					
事業に対する評価・課題等					
<p>・平成25年度から開始した「生活習慣病重症化予防対策」の一環として、重症化ハイリスク者に対して、健診結果説明会(病態別健康相談)の利用勧奨を実施したことにより、健診受診後の治療放置予防に役立っている。しかしながら、来所者の高齢化、固定化の傾向は続いており、より若い世代への周知を図っていく必要がある。</p> <p>・市民のニーズに即した出前相談等は増加傾向にあり、今後も随時相談対応が可能であることを周知し、市民に身近な相談窓口として活用を推進していく予定である。</p>					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					4
平成26年度予定					
①まちの健康相談室の日程を特定健診及び後期高齢者健診受診者へ配布する冊子に記載し周知する。 ②医療機関と連携し、治療中の若い世代や健診受診後の保健指導が必要な人が、市の保健サービスが活用できるよう、利用勧奨を依頼する。(チラシやポスター掲示) ③生活習慣病重症化ハイリスク者への電話等による利用勧奨 ④市民が集まる機会等へ出向き健康相談を実施する機会を増やす。(出前健康相談等)					予算額
					256千円
					目標値
					増加

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	2 生涯を通じた健康支援				
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援		(1) 健康教育・健康相談		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H24)	目標値(H29)		
健康教育事業	保険健康課			①充実 ●	②継続
事業の概要					
健康増進法に基づく健康増進事業による健康教育を実施する。 事業の対象年齢は、40歳から65歳未満とされているが、宇和島市健康づくり推進計画を基本として、成人期の健康づくりに役立てることとしている。事業の主な内容は、生活習慣病予防をはじめ市民の健康づくりを目的とした運動、栄養等に関する知識の普及と実践への支援を行う。					
平成25年度実績					
1)教育内容(種別) ・病態別(生活習慣病やがん予防)、歯周疾患、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、ロコモティブシンドローム予防及び一般健康教育等					決算額
2)ヘルスアップ実践講座・・・体験型健康教育を通じて、楽しみながら生活習慣行動の改善に取り組む ①運動編(基礎編・総集編)年間11回 参加者数 延べ96人 ②栄養編(試食型及び実習型)年間11回 参加者数 延べ130人					735千円
3)その他の健康教育及び啓発活動 ①「健康づくり出前講座」の実施・・・公民館、保育園・幼稚園、学校等との連携による健康教育の実施 ②広報うわじま「健康づくり通信」掲載・・・毎月 ③「健康づくりパネル展」の実施・・・年間 26回 ④公民館館報掲載					実績値
健康教育 総計: 271回 延べ 11,918人					271回
					進捗状況
					4
事業に対する評価・課題等					
・今年度から、介護予防の視点も含めた“ロコモティブシンドローム予防”が健康増進事業の教育内容となり、従来のウォーキングを中心とした内容から筋力アップ等の基礎を含めた内容とし、参加者からも好評を得た。また、栄養編では、手軽な野菜レシピが実践しやすいとの感想等が得られた。 ・各種団体や地区組織からの依頼による健康教育は、依頼元のニーズと市の健康課題を組み合わせ、プログラムや内容を検討し実施した。 ・「健康づくり出前講座」が定着化しているが、内容のマンネリ化もあり、地域の健康課題や住民ニーズに応じた内容の検討が必要である。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					5
平成26年度予定					
①「ヘルスアップ実践講座」の日程を、特定健診及び後期高齢者健診受診者へ配布する冊子に記載し周知する。(後期高齢者については、地域包括主催の講座等紹介含む)					予算額
②集団健診の場を利用した野菜摂取啓発(フードモデル使用)や、婦人がん予防、COPD予防教育等を実施していく。(継続)					757千円
③市の保健事業の利用勧奨とともに、身近な健康づくりに利用できる社会資源に関する情報提供を実施し、生活改善等が継続できるよう支援する。					目標値
④「健康づくり出前講座」のメニュー見直しと地域特性に応じた健康教育を実施する。					-
⑤ケーブルテレビ等を活用した啓発活動を実施する。					-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり							
推進方策	2 生涯を通じた健康支援							
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援				(1) 健康教育・健康相談			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H24)	目標値(H29)					
高齢者サロンへの医療出前講座	病院局 (吉田病院)	-	18回	①充実		②継続	③新規 ●	
事業の概要								
高齢者の健康支援のため、医師・看護師・栄養士・理学(作業)療法士・薬剤師等が地域の高齢者サロンに出向き、医療(健康)講座・相談を行う。 (24年度より実施中)								
平成25年度実績								
・高齢者サロン 2会場(約40名) 内容…歯科衛生士「お口の健康」、栄養士「高齢者の食事」、看護師「血圧測定・健康診断」、理学療法士「日常生活注意点とストレッチ」 ・地区社協・公民館主催講座 1回(約40人) 内容…検査技師「検査の見方」、看護師「血圧測定・健康相談」、理学療法士「ストレッチ体操」							決算額	
							—	
							実績値	
							3回	
							進捗状況	
							3	
事業に対する評価・課題等								
評価: サロンの希望により内容を決めているため興味を持って受講され、終了後のお茶会・懇談会にも参加し個別相談等を行って好評である。 課題: サロンの開催日、時間が土日や午前中が多く、業務の関係上、出向けない場合が多いため、土日の開催については出向けるよう検討する。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							3	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—	
平成26年度予定								
・開催希望の高齢者サロンで継続して実施予定。 ・土日開催のサロンへの出前講座を実施。							予算額	
							—	
							目標値	
							6回	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(1) 健康教育・健康相談			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
医療懇談会の実施(地域住民の健康増進)	病院局 (津島病院)	(49自治会)	50回	①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
地域住民の健康増進を図るため、自治会単位での医療懇談会の実施。							
平成25年度実績							
津島地区の各自治会の集会所等において、病院長及びスタッフが住民と医療について懇談を行った。 実施回数42回、出席者数609人。							決算額
							—
							実績値
							42
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成26年度予定							
各自治会で継続して開催していく。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(2) 生活習慣病予防教室			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実		②継続 ●	③新規
特定保健指導の推進	保険健康課	36%	60%				
事業の概要							
<p>内臓脂肪症候群に着目した特定健康診査の結果に基づく階層化により、生活習慣改善の必要度に応じた「積極的支援」「動機づけ支援」「情報提供」の分類を行い、それぞれに即応した特定保健指導を行う。</p> <p>特定保健指導は、市民自らが生活習慣改善の目標を設定し、実践するものであり健康に関する自己管理ができ、結果として内臓脂肪症候群の改善を目的として実施する。</p>							
平成25年度実績							
特定保健指導 積極的支援 対象者 222名 初回面接実施者 78名 実施率 35.1% 動機付け支援 対象者 381名 初回面接実施者 145名 実施率 38.1%							決算額
							707千円
特定保健指導受講者の改善状況 (積極的支援から動機付け支援・情報提供、動機付け支援から情報提供になったもの) 平成24年度特定保健指導受講者 積極的支援 改善率40.4% 動機付け支援 改善率33.1%							実績値
							37%
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
<p>初回面接の実施率は37%と昨年度の36%から上昇した。</p> <p>5年間経年未受診ハガキ送付の効果で、新規対象者・40代の対象者が増加し、新規受講者が増加したことにより、全体の実施率が向上したと考えられる。</p> <p>H26年度からの特定健診自己負担無料化の相乗効果により、さらなる新規受講者の増加が見込める可能性は大きい。</p> <p>過去に特保を受けたことがある者の受講率(リピーター率)は年々減少傾向である。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成26年度予定							
①特定保健指導拒否者のうち、重症ハイリスク者へ対しては、訪問等による保健指導を実施し、生活習慣病の発症・重症化予防に努める。							予算額
②内臓脂肪とインスリン抵抗性についての理解を深めるため指導冊子を見直し、対象者が保健指導後も振り返り、目標継続に活用できるようにする。							1,120千円
③栄養素別のリーフレットを作成し、より具体的で各受講者に応じた栄養指導を行う。							目標値
④魅力ある保健指導実施のため、支援スタッフのスキルアップを行う。							52%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(2) 生活習慣病予防教室			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
糖尿病教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
入院患者や外来患者を対象として、医師により糖尿病の基礎知識や治療法に関する講義を行うほか、発病または進行を予防するための食事栄養・運動等の療法について栄養士、リハビリ技師等が指導するなど、実践に繋がる学習機会の提供を行う。							
平成25年度実績							
							決算額
							—
・実施回数33回(夜間糖尿病教室3回を含む) のべ参加者数610人(入院85人、外来525人)							実績値
							左記のとおり
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
・定期的な開催が継続できている。市広報や病院ホームページ、院内ポスター掲示、開催当日の院内放送などで、患者、市民に広く浸透し、糖尿病予防の啓発が図れた。 ・平成25年度の予定通り、これまでの内科のみならず皮膚科、歯科口腔外科、眼科などの医師や、栄養士、理学療法士、薬剤師、臨床検査技師、看護師のコアスタッフに加え歯科衛生士、総務管理課、地域連携室職員による講義を実施し、多角的に糖尿病の理解を深めることができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成26年度予定							
屋間糖尿病教室年間30回、夜間糖尿病教室3回開催 平成25年度同様、医師・コメディカル・事務部門の全病院スタッフが講師となる予定。患者会(パール会)活動を通して世界糖尿病デー(11/14)のイベントも平成25年度同様実施予定。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(2) 生活習慣病予防教室			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
心臓病教室	病院局 (宇和島病院)			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
入院患者や外来患者を対象として、特に3大疾病の1つである心筋梗塞を引き起こす可能性のある心臓病に焦点をあて、生活習慣を改善することで予防に繋げるため、医師による病気の基礎知識及び治療法に関する講義、栄養士による栄養食事指導など実践に繋がる学習機会の提供を行う。							
平成25年度実績							
・実施回数12回 延べ参加者数171名(入院患者18名、外来患者153名)							決算額
							—
							実績値
							左記のとおり
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
定期的に開催しており、事前に広報うわじまでの周知や当日は随時院内放送を実施していることから、患者・市民に広く浸透し、心臓病予防に対する意識啓発が図れた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成26年度予定							
今後も定期的に実施する。							予算額
							—
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(2) 生活習慣病予防教室			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
肝臓病教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続	③新規 ●
事業の概要							
入院患者や外来患者を対象として、医師による肝臓病についての正しい知識や治療法に関する講義を行うほか、栄養士による栄養食事指導を行い、実践につながる学習機会の提供を行う。							
平成25年度実績							
実施回数4回、延べ参加者数31名(入院患者1名、外来患者30名)							決算額
							—
							実績値
							左記のとおり
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
参加人数は他の教室に比べると少ないが、広報や院内掲示・ポスターにより実施しており、本当に必要な患者の知識・普及は実施できていると考える。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成26年度予定							
平成25年度同様年間4回の実施。担当は内科の清家医師から行本医師、花山医師へ変更となる。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(2) 生活習慣病予防教室			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
生活習慣病予防のためのお料理教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続	③新規 ●
事業の概要							
生活習慣病予防のために、食事内容の改善につながることを目的に、栄養士が減塩や野菜たっぷりのレシピを作成し、実習を行い、実践につながる調理自習の機会を提供する。							
平成25年度実績							
実施回数10回。延べ参加者数51名。							決算額
							—
							実績値
							左記のとおり
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
毎回テーマに沿った献立を立案し、講義と調理実習を通して生活習慣病予防のため日常的な実践に繋がる情報を提供した。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成26年度予定							
月1回実施予定(ただし8月、1月は休み)							予算額
							—
							目標値
							月一回実施

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(3) 壮年期からの健康づくり			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
心の健康相談事業	保険健康課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
<p>心の健康に関する相談事業をいう。 当該事業は、個別の相談に対して、相談窓口の周知による情報提供及び必要な助言を行うことにより、個々のもつ悩みを軽減することを目的として実施する。近年は、うつ病に関する相談をはじめ精神障害に関する相談や社会復帰のための相談が多くなっている。 事業の従事者としては、精神科医師、臨床心理士、保健師等で対応する。</p>							
平成25年度実績							
①実施場所	宇和島市役所						決算額
②日程	毎月第2水曜日:年12回 予約制						-
③スタッフ	精神科医師相談(精神科スタッフ):年6回 保健師相談:年12回						実績値
④利用状況	実人数 8人						12回
⑤相談内容内訳(重複あり)	うつ病:5人 妄想:1人 依存症:1人 自殺願望:1人 統合失調症1人 治療に関する相談 2人						進捗状況
⑥来所者内訳	10代:0人 20代:1人 30代:4人 40代:0人 50代:1人 60代:0人 70代:2人						5
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ・新規相談者が多く、特に若い30代のうつ傾向の相談が多かった。 ・相談内容としては、うつ傾向が多く、また既に治療に結びついているケースからの相談もあった。必要に応じて訪問など継続した支援を行っている。 ・医師相談後病院を受診し、治療開始となったケースもあった。相談をきっかけに円滑な早期治療に結びついたケースもあり、気軽に利用できる医師相談の目的が達成されている。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						5	
平成26年度予定							
1)対面型相談支援事業の充実 2)人材養成事業の実施により、相談者側のスキルアップに努める。 3)相談窓口の周知強化 ①周知用パンフレットの作成・配布 ・相談窓口一覧を明記した健康カレンダーを作成し、全戸配布する。 ②保健事業を通じて、相談窓口の周知を図る。						予算額	
						-	
						目標値	
						-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり		
推進方策	2 生涯を通じた健康支援		
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援	(4) 男性に対する健康づくり支援	

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
心の健康づくり教育事業	保険健康課			●			

事業の概要

精神保健に関する知識の普及を図ることを目的として、健康教育を実施する。
事業の内容は、全市民を対象とした講演会をはじめ、公民館、各種団体等に出向き保健師による健康教育を実施する。

平成25年度実績

①心の健康づくり講演会 日時：平成25年11月24日(日) 場所：市役所2階大会議室 講師：NPO法人こころ塾 塾長 村松 つね テーマ：「あなたのこころに寄り添って」～地域でいきいきと暮らすためにあなたもゲートキーパーになろう～ 参加者：110人 ②心の健康づくり健康教育 年間計画に基づき、各地区で実施		決算額
		2,466千円
		実績値
		950人
		進捗状況
	5	

地区	開催回数	延人数	対象者	内容
本庁	10	413	民生児童委員会協議会総会 女性団体宇和島支部 支援 教室関係者 一般市民 婦 人会 祝森公民館祭	地域で支えよう心の健康づくり 心のリフレッシュ講座 「思春期保健」ともに うつ予防(DVD視聴)
吉田	7	83	吉田高校教職員 つほみっこ 倶楽部 一般市民 老人クラブ 奥南母子愛育会	あなたの「こころ」はお元気ですか 心のリフレッシュ講座
三間	8	287	一般市民	心の健康づくり うつ予防(DVD視聴)
津島	5	57	福祉会館体操教室参加者 一 般市民	ストレスと上手につきあうために うつ予防(DVD視聴)
計	30	840		

事業に対する評価・課題等

- ①心の健康づくり講演会
・広く市民に、心の健康づくり、うつ予防に関する正しい知識とゲートキーパーの考え方の普及をすることを目的として講演会を開催した。
・講演はゲートキーパーとしての「気づき」「聴いて」「見守り」について具体的に話をされ、内容的にも当市にあったわかりやすいものであった。アンケート集計では、「講演内容についてわかった」、「講演内容が役立つ」人がほとんどであり、「自分自身のことも分かり、人のこともわかってあげられる講演だった」「人の気持ちに寄り添い、自分自身も心身ともに健康でいることの大切さを感じた」などの感想がたくさん記述されていた。
・講演資料は先生のご厚意で、今後地域でのゲートキーパーの考え方の普及として活用する予定である。
- ②心の健康づくり教育
・一般市民向けの普及啓発用の全戸配布用パンフレットを作成し健康教育に使用することで、多くの人にライフステージごとのストレス要因や起こりやすい心のトラブルと予防対策、相談窓口等を周知することができた。健康教育の人数は大幅に増加した。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

平成26年度予定

1)自殺予防の視点を強化した啓発活動の実施	予算額
①講演会の継続開催・・・若い世代からを対象に内容は「自己尊重、自殺予防、命を考える」	1,865千円
2)地域に出向いた教育により知識の普及啓発を図る。	目標値
①年間計画に基づいた健康教育の実施・・・啓発パンフレット・DVDの利用 ②心の相談窓口ちらしを作成し各協力機関や各地区健康教育で周知	600人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(5) 喫煙・飲酒に対する対策			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
健全育成推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	91%	100%	①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
喫煙、飲酒の健康被害について情報を提供する。「心身ともに健康な子」の育成。							
平成25年度実績							
校舎敷地内禁煙の徹底を図った。学校薬剤師を招聘し、薬物乱用防止教室を実施した。学校医による健康管理に関する講演会を実施した。校舎敷地内喫煙禁止の徹底を図った。							決算額
							実績値
							92%
							進捗状況
4							
事業に対する評価・課題等							
禁煙に対する保護者の意識が高まり、運動会や学習発表会においても敷地内禁煙を徹底することができた。児童は、喫煙・飲酒の健康被害について理解することができたが、今後も継続して行いたい。未成年の喫煙・飲酒・薬物乱用の害についての理解が深まった。公共の場でのマナーについての理解が深まった。喫煙や飲酒・薬物についての理解は深まったが、無理解な家庭もあり課題がある。学級活動や体育科の保健領域の指導に、薬物乱用防止教育を位置付け実施することができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
喫煙・飲酒の健康被害について、児童の意識を高めるために、授業内容の工夫・改善を図る。校内敷地内禁煙の徹底(学校行事・PTA活動等での呼び掛け)。公共の場でのマナーについての学習の展開。敷地内禁煙の表示を作成し、外来者の禁煙を促していく。保護者への受動喫煙防止の啓発活動を行う。学校薬剤師と連携し、「薬物乱用防止教室」を開催する。食育に関する研修(学級保健委員会)。小児生活習慣病予防教育の実施。生活安全課の方を講師とした薬物乱用防止教室の開催と少年法に関連した講演の開催							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(5) 喫煙・飲酒に対する対策			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
受動喫煙防止対策事業(公民館施設内禁煙)	生涯学習課						
事業の概要							
不特定多数の住民が利用する公民館において受動喫煙防止策を推進するために、平成24年度までに全館施設内禁煙を実施し達成する事ができた。							
平成25年度実績							
平成24年度で全館施設内禁煙を達成することができた。							決算額
							0千円
							実績値
							30館
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
市が管理している公民館は、市の方針として実施できているが、地元管理の集会所を兼ねた公民館については、建物全体の禁煙は困難。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成26年度予定							
市が管理している公民館は目標を達成できたが、地元管理の集会所を兼ねた公民館についても施設内禁煙を目指したい。							予算額
							0千円
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	2 生涯を通じた健康支援				
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援		(5) 喫煙・飲酒に対する対策		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H24)	目標値(H29)		
禁煙外来の開設	病院局(宇和島・津島病院)			①充実	②継続 ●
事業の概要					
<p>禁煙はこれまで個人の意志や努力の問題とされてきましたが、平成16年より厚生労働省は医師による禁煙指導を「ニコチン依存症」という病気に対する「治療」と位置づけ、公的医療保険の給付対象としました。</p> <p>禁煙外来では、禁煙の実行・継続にむけてのアドバイスや治療薬の処方を行うことにより、禁煙をサポートすることを目的としています。</p> <p>○宇和島病院＝心臓血管外科外来にて。毎週金曜日午後1時30分～午後3時30分 ○津島病院＝内科外来にて。毎週火曜日午後2時～4時</p>					
平成25年度実績					
<宇和島病院> H25年度患者数 25人、禁煙治療終了者 13人、禁煙成功者 17人。 <津島病院> H25年度患者数 2人、禁煙治療終了者 1人、禁煙成功者 1人。					決算額
					—
					実績値
					先のとおり
					進捗状況
事業に対する評価・課題等					
受診者数が減っており、啓発が望まれる。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					5
平成26年度予定					
これまで同様に継続して実施していく。					予算額
					—
					目標値
—					

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり	
推進方策	2 生涯を通じた健康支援	
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援	(6) 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
妊婦健康診査(公費負担)	保険健康課	98.1%	100%	①充実	②継続	●	③新規

事業の概要

母子保健法の規定により、妊娠中の女性への健康保持増進を図るために、妊婦健康診査を実施し、その費用の全部または、一部を助成することにより、妊婦の経済的な負担の軽減を図り、安心安全な妊娠・出産に資することを目的とするものである。

平成25年度実績

<p><対象> 宇和島市に住民登録をしている妊婦</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と同様に妊娠期を通して公費負担回数を14回として実施。 ・健診内容はH24年度と特に変更なし。 ・平成24年度診療報酬の改定に伴い、平成25年4月1日以降の妊婦一般健康診査受診票交付者から健康診査単価が変更となった。 	①5枚綴り分			②9枚綴り分			決算額		
		交付数	受診数	受診率(%)		交付数	受診数	受診率(%)	34,039千円
	1回目	511	498	97.5%	1回目	514	483	94.0%	実績値
	2回目	520	518	99.6%	2回目	521	489	93.9%	
	3回目	523	513	98.1%	3回目	525	504	96.0%	99.1%
4回目	530	520	98.1%	4回目	528	495	93.8%	進捗状況	
5回目	533	393	73.7%	5回目	532	461	86.7%		
				6回目	533	418	78.4%		
				7回目	533	346	64.9%	5	
				8回目	534	261	48.9%		
				9回目	533	147	27.6%		

事業に対する評価・課題等

- ・妊婦健診の内容が平成24年度から県下統一となり、内容は充実してきている。定期的に健診を受診している妊婦の割合は99%と高い。
- ・高血糖妊婦が県下で高いため、今年度より「高血糖妊婦台帳」を作成し、妊娠婦期に食事・運動指導、40歳以降には特定健診の受診勧奨を行った。
- ・しかし、血糖異常妊婦の中には、妊券1回目で高血糖であっても、妊券4回目では改善されている場合が多い。
- ・食事等の影響で第1回目が高血糖となってしまう妊婦も多いと考えられるため、集計方法の改善が必要である。
- ・今後も、母子健康手帳交付時に利用方法を説明し、妊娠期の健康管理を適切に支援していきたい。

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	—

平成26年度予定

<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度と同様に14回分の受診票を交付し、適切な時期に健診を受けるよう勧奨し、妊娠期の健康管理に役立てる。 ・血糖異常妊婦の集計方法を改め、今後の高血糖妊婦へのフォロー体制を検討する。 	予算額
	41,263千円
	目標値
	100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	2 生涯を通じた健康支援				
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援		(6) 安心して子どもが産める環境づくり		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H24)	目標値(H29)		
両親学級	保険健康課			①充実 ●	②継続
事業の概要					
妊婦及びその家族に対し、子どもを健康に産み育てるための知識・技術について支援し、母子保健の向上に努める。また、妊娠・出産に対する不安の軽減を図り、仲間作りの場とする。					
平成25年度実績					
【パパママスクール】 (対象) 宇和島市に居住地を有する妊婦及びその配偶者 (場所・回数) 宇和島保健センター一年9回(日曜日5回・平日の夜間4回) (内容) 栄養についての講話、試食、夫の妊婦体験、妊婦体操、赤ちゃんの育て方・沐浴実習 など (従事者) 保健師・栄養士					決算額
					11千円
					実績値
					ハッピーマタニティ編4講座 フレフレ育児編5講座
					進捗状況
					4
事業に対する評価・課題等					
・昨年度まで実施していたマタニティスクール・マタニティクッキングは参加者が少ないため今年度より中止し、夫婦で参加できる教室を充実させることとし、「パパママスクール」の回数を増やして実施した。 ・「学級の内容に満足できた」と答えた妊婦は99.0%夫も98.9%と満足度は高い。 ・出産まで「親になる」自覚を持ちにくい夫も多いと思うが、少しでも自覚を促していきたい。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					5
平成26年度予定					
・教室の内容を検討し、利用しやすいプログラムとする					予算額
					16千円
					目標値
					8講座

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	2 生涯を通じた健康支援				
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援		(6) 安心して子どもが産める環境づくり		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●
妊産婦相談	保険健康課			●	②継続
事業の概要					
妊娠・出産及び産褥期における異常の予防及び健康増進に関し必要に応じて支援し、妊娠・出産・育児に対する不安を軽減する。また妊婦同士の交流の場とする。					
平成25年度実績					
<対象>宇和島市に住民登録をしている妊産婦 <従事者>保健師・管理栄養士 <内容>個々の妊産婦に応じた相談 <場所・回数> ・母子手帳交付時における妊婦相談:508人 ・定例妊産婦相談(育児相談と同時開催):宇和島保健センター、立間公民館、三間保健福祉センター、津島保健センター 計48回【妊婦】相談者(実)6人、相談者数(延)12人【産婦】相談者(実)52人、相談者数(延)100人 ・随時妊産婦相談:集会所や公民館、電話等において随時実施 【妊婦】来所 3人、電話 20人【産婦】来所等 11人、電話 23人					決算額
					0千円
					実績値
					48回
					進捗状況
事業に対する評価・課題等					
・定例日の妊産婦相談は、乳幼児の育児相談を兼ねて来所する人が多い。 ・妊婦の相談は少ない。定期受診の病院等で不安を解消している可能性も高いと感じられる。 ・母子手帳交付時に、アンケート調査を実施し、若年妊婦などフォローが必要と感じられた妊婦については、いつでも相談にのれることなど説明し、出産に対する不安軽減に努めている。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					—
平成26年度予定					
・母子手帳交付時に実施するアンケート調査で、若年妊婦や生育歴等支援の必要な妊婦に対しては、児童虐待防止の観点からも支援を開始する。 ・パパママスクールでも、妊産婦相談の紹介を行い、相談の場があることを伝えていく。					予算額
					0千円
					目標値
48回					

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり	
推進方策	2 生涯を通じた健康支援	
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援	(6) 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
母子健康手帳の交付事業	保険健康課			●			

事業の概要

妊娠・出産・育児に関する一貫した記録と情報を提供し、安全で安心できる出産及び育児に役立てる。

平成25年度実績

(対象) 宇和島市に住民登録をしており、妊娠届出書(妊娠証明書)を提出した妊婦
(場所) 本庁及び支所窓口にて交付
(内容) 母子健康手帳・妊婦一般健康診査受診票・妊婦歯科健康診査受診票交付、保健指導、ハイリスク妊婦の把握、妊婦アンケートの実施、母子保健事業の紹介、母性健康管理指導事項連絡カードの説明、出産後の諸手続きの説明
(従事者) 保健師

	妊娠届出数	初産婦数
宇和島地区	422	185
吉田地区	35	17
三間地区	10	1
津島地区	41	12
計	508	233

決算額

84千円

実績値

508人

進捗状況

5

事業に対する評価・課題等

- ・母子保健のスタートである母子手帳交付時に保健師が関わり、アンケートにより、若年妊婦等必要な支援へとつないでいる。
- ・母子手帳交付時、夫婦での来庁も多く、母子手帳及び妊婦一般健康診査についての説明や出産についての相談を夫婦で聞くことができる。
- ・平成25年度から妊婦歯科健康診査が実施となり、妊娠中の歯科検診の重要性について情報提供し、受診勧奨を行うことができる。
- ・妊婦アンケートから、妊娠中の妊婦の喫煙率は昨年度より減少しているが、妊婦の同居家族の喫煙率は増加しているため、今後も母子健康手帳交付時に喫煙による胎児や母体への影響を説明し禁煙を進めていく必要がある。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	—

平成26年度予定

・母子保健のスタートである母子手帳交付時に保健師が関わり、妊婦アンケートにより、若年妊婦等支援の必要な妊婦には、妊娠期からの虐待予防のためにも支援を開始する
・喫煙習慣のある妊婦及び同居家族に対しては、母子健康手帳交付時に喫煙(受動喫煙含む)による胎児や母体への影響についての情報提供・パンフレットの配布を行い禁煙を勧める。

予算額

90千円

目標値

—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(6) 安心して子どもが産める環境づくり			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
安産教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
妊婦の健康管理の必要性についての啓発や妊娠・出産に関する不安等に対応できる相談を行うもの。							
平成25年度実績							
毎月第1、第3、第4水曜日に実施(第1水曜日は栄養指導も実施)。 ・栄養指導分: 医師、助産師による指導、相談に加え、栄養士による栄養指導を実施。実施回数11回。のべ参加者97名。 ・一般分: 医師、助産師による指導、相談。実施回数22回。のべ参加者252名。							決算額
							—
							実績値
							33
							進捗状況
							—
事業に対する評価・課題等							
該当者には検診時に案内していることから、多数参加してもらっている。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成26年度予定							
これまで同様に実施継続する。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(6) 安心して子どもが産める環境づくり			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
育児学級	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
産後の健康管理の必要性についての啓発や育児に関する不安等に対応できる相談を行うもの。退院時だけでなく、外来に来られた妊婦を対象として、参加を呼びかけている。							
平成25年度実績							
参加者なし。							決算額
							—
							実績値
							0回
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
月1回の実施だが、2年続けて参加者がいない状況である。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成26年度予定							
参加者を増やすため、周知をより積極的に行う。							予算額
							—
							目標値
—							

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(7) 生涯スポーツの推進			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
総合方スポーツクラブの組織充実への支援	生涯学習課			①充実 ●	②継続		③新規
事業の概要							
年齢や個人の能力に応じた様々な運動やスポーツに、「いつでも、どこでも、だれもが」親しむことのできる環境を整備し、市民の健康維持・増進を目指す総合型スポーツクラブを助長しようとするものである。							
平成25年度実績							
平成21年度より、現在の環太平洋短期大学部が主導するクラブとなり、行政組織並びに市体育協会は組織から離れる。(平成21年度 廃止)							決算額
							—
							実績値
							—
							進捗状況
							—
事業に対する評価・課題等							
なし							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成26年度予定							
なし(平成21年度 廃止)							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	2 生涯を通じた健康支援				
施策の方向及び具体的施策	2 教育・相談の充実			(1) HIV/エイズや相談の充実	
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H24)	目標値(H29)		
HIV/エイズ・性感染症に関する正しい知識の普及・啓発	保険健康課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
<p>全国における平成23年のHIV感染者及びエイズ患者の新規報告数(確定値)は1,529件であり、平成19年以降患者数の多い状態のまま推移している。平成23年の新規HIV感染者は1,056件で過去4位の報告数となり、また新規エイズ患者報告数は473件で過去最多の報告数となっている。そのため、早期発見のために、検査機会を提供する必要があり、愛媛県においては、保健所が検査・相談体制の構築を進めている。市においても、保健所が実施するHIV検査及び相談事業等について、ポスター、チラシ、広報等の手段により、市民へ広く周知するほか、健康教育において感染症の正しい知識の普及・啓発を図っている。</p>					
平成25年度実績					
<p>愛媛県内の保健所が実施する定期相談に加え、「愛媛HIV検査普及週間(6月1日～7日)」に実施される定期外(休日・夜間等)の相談・検査について、ポスターの貼付等により、広く市民に周知した。また、世界エイズデーに呼応して定められた「愛媛エイズ予防週間(12月1日～7日)」に実施される相談・検査についても、ポスターの掲示や市広報誌への掲載等により、広く市民に周知した。</p> <p>また、ひとり暮らしサポート講座【体験学習型】(希望する高校と連携して公民館で実施)及び【出前講座】(希望する高校に出向いて実施)において、ひとり立ち前の高校3年生に対し、HIV/エイズ、性感染症に対する情報提供を行った。</p>					決算額
					実績値
					進捗状況
					4
事業に対する評価・課題等					
<p>愛媛県では、平成23年は11件、平成24年は10件と2年続けて報告数が多い状態が続いていたが、平成25年は5件と、例年なみの報告数だった。平成26年は5月21日現在で1件の報告がある。今後も、正しい知識の普及等、啓発活動を推進するとともに、感染への不安がある場合の早期受診に加え、エイズへの誤解・偏見のない環境を作る必要がある。市においては、愛媛県内の保健所が実施する相談・検査事業の周知及び、正しい知識の啓発活動について引き続き協力体制を継続するとともに、高校生生の若い世代を対象に積極的な普及・啓発活動を推進していく。</p>					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					5
平成26年度予定					
<p>・保健所実施の相談事業などの周知に対する協力。 ・ひとり暮らしサポート講座における高校3年生に対する健康教育、及び他の学年の高校生、中学生など各校の依頼により学校に出向いて健康教育を実施。</p>					予算額
					目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	2 教育・相談の充実			(1) HIV/エイズや相談の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
健康衛生推進事業・人権啓発推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	87%	100%	①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
HIV/エイズや性感染症に関する正しい知識を普及する。性に関する指導の充実。「心身ともに健康な子」の育成。学校での児童が、発達段階に応じた知識を身につけ、適切な行動が取れるようにするための教育の推進。							
平成25年度実績							
保健領域において、各学年の発達段階に応じた指導を行った。保健の時間を通して、エイズに関する学習を行った。高学年(6年)で、エイズ・性感染症についての授業を行った。性教育年間指導計画に沿って、発達段階に応じた指導を行った。年間指導計画に従って、発達段階に応じた性教育を実施した。(集中学習)人権教育の視点では、「一人一人を尊重し、あらゆる偏見や差別は許されない」児童生徒の育成に努めた。							決算額
							実績値
							89%
							進捗状況
4							
事業に対する評価・課題等							
保護者への啓発・連携が不十分であった。児童は、正しいエイズに関する知識を理解することができた。スクールヘルスリーダーと連携して計画的な指導を行った。生徒については、正しい知識を学ぶことはできている。今後は、保護者への啓発にも力を入れていきたい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
性に関する指導を充実させる。高学年(6年)でのエイズ・性感染症についての授業の実施。性教育年間指導計画に沿った発達段階に応じた指導の実施。エイズやハンセン病に関する人権学習の実施(6年体育科保健領域)。人権・同和教育の視点から、HIV/エイズ患者への偏見をなくす学習を行う。							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	2 教育・相談の充実			(2) 発達段階に応じた生命と人権を大切にする 性教育の推進			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
生きる力を育む教育推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	87%	100%	①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
生命尊重・人格尊重・男女平等の精神に基づき自分自身を大切にし、相手の心身の健康についても思いやりを持つことができるよう、指導を推進する。 心身ともに健康な子の育成。							
平成25年度実績							
一人一人がかげがえのない存在であることを理解させるよう努めた。年間計画にそって、発達段階に応じた性教育を実施した。性教育年間指導計画に沿って、発達段階に応じた指導を行った。参観日に性教育の授業を公開した。道徳を中心に、相手を思いやる心情の大切さについて指導した。全教員が担当児童を変えながら毎月行うあのねタイム(教育相談活動)の充実により、児童の悩みや不安、いじめにつながりそうな事案の把握に努めた。							決算額
							実績値
							89%
							進捗状況
4							
事業に対する評価・課題等							
児童の発達に差があり、個に応じた指導をすることが難しかった。児童は、正しい知識を学び、意欲的に学習することができた。発達段階に応じて、生命尊重・人格尊重・男女平等について各教科で実施できた。各学年の発達段階に応じた指導を実施しているが、家庭環境や個人差もあり一律の指導は難しいと考えられる。自分自身を大切に思わない、いわゆる自己肯定感の低い生徒の指導に課題が残った。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
教職員が研修を重ね、効果的な指導ができる力を付ける性教育年間指導計画に沿った指導の実施。参観日における性教育の授業公開。養護教諭と連携した授業づくりを工夫し、性に関する指導を効果的に実施する。養護教諭と担任による授業や、保健集会を計画的に実施する。道徳全体計画及び年間指導計画を見直し、各教科等と関連した指導を行い、生命尊重・人格尊重・男女平等の精神を育む。保健集会を計画的に実施する。思いやりや異性の尊重に関する指導を年間指導計画の中に位置付け、各学年の発達段階に応じた指導を実施する。学年集会、全校集会を活用した、生命と人権を大切に講和や指導の充実。							予算額
							目標値
100%							

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	2 生涯を通じた健康支援				
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備			(1) 健康診査	
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H24)	目標値(H29)		
基本健康診査の推進(H19年度老人保健法→H20年度特定健診の受診率)	保険健康課	20.3%	60%	①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
<p>宇和島市国民健康保険被保険者の内、40歳から64歳の者を対象として実施する健康診査をいう。</p> <p>糖尿病等の生活習慣病が起因とされている内臓脂肪症候群の該当者を早期に発見し、特定保健指導につなげることを目的として健康診査を行う。市民の健診に関する関心度や仕事が忙しいなどの理由による健診離れが進んでおり、健診の重要性を周知徹底する必要があると感じている。</p> <p>健康の基本は、健診からであることを周知徹底することにより受診率アップに努める。</p>					
平成25年度実績					
・特定健診・後期高齢者健診：個別(6月～2月)・集団(6月～1月 58回)で実施					決算額
	対象者	受診者	受診率	昨年度受診率	32,705千円
特定健診	20441	4537	22.20%	20.30%	実績値
後期高齢者健診	13614	566	4.20%	3.40%	22%
・受診率アップへの取組 ①5年間経年未受診者へはがきによる受診勧奨 ②5年間不定期受診者へ電話による受診勧奨 ③40歳の未申込者への受診勧奨訪問 ④新聞折り込みチラシやケーブルテレビの活用 ⑤事業所健診・人間ドックなどのデータ取得					進捗状況
					4
事業に対する評価・課題等					
・特定健診受診率は、僅かながら毎年上昇傾向にある。しかし目標の60%には程遠い状況である。 ・受診率アップの取り組みでは、634人の健診初回申込みがあり、重症化予防についても意義があった。 ・健診を「受けない」理由は治療中が多く、個別健診の勧奨や医療機関への働きかけが重要である。 ・今後は受診しやすい健診体制の整備や、より一層の受診率向上の取組の検討が必要である。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					5
平成26年度予定					
1) 受診しやすい健診体制の整備 ・特定健診の無料化 ・市民が利用しやすい健診会場の設定(きさいや広場等) ・年度末年齢40歳のがん検診の一部無料化の継続					予算額
2) 受診率アップの取り組み ・節目年齢の健診受診勧奨(40.50.60歳) ・継続受診者の増加に向けた健診登録制の検討 ・ケーブルテレビ等マスコミの活用 ・個別健診増加に向けた取り組み(受診勧奨・医療機関への協力依頼)					52,046千円
					目標値
					30%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備				(1) 健康診査		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
人間ドックの充実(施設設備・検査項目)	病院局 (宇和島病院)			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
1日ドックを月～金曜日の各日で1日あたり5名まで、2日ドックを火・水曜日、木・金曜日の2クールで1クールあたり8名まで、脳ドックを火曜日、木曜日、金曜日に1名ずつ受け入れ、実施している。検査メニューは充実しており、また同程度の内容で実施している県内の他施設に比べて安価な料金設定を行っていることにより、圏域の受診率向上にも寄与している。また、受診時には、集団による健康管理指導も実施している。							
平成25年度実績							
一般個人の受診のみならず、企業等の契約を積極的に受け入れている。						決算額	
						—	
ドック受診者数 1日ドック:1046人 2日ドック:521人 脳ドック:118人						実績値	
合計:1685人						先のとおり	
						進捗状況	
						—	
事業に対する評価・課題等							
ドック専従医師がおらず、受け入れ数を増加させることが難しい。他の診療と並行して診断業務も行うことになるため、健診結果の作成までに日数がかかる場合がある。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						5	
平成26年度予定							
継続実施						予算額	
						—	
						目標値	
—							

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり	
推進方策	2 生涯を通じた健康支援	
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備	(2) がん検診の体制整備

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん)	保険健康課	12%	50%	①充実	②継続	●	③新規

事業の概要

健康増進法に基づき各種がん検診を実施する。
 死亡原因の三大要因のうち、がん(悪性新生物)による死亡の減少は、全国と同様に本市においても急務であるとする。がんの早期発見・治療なくしてがん死亡を減少させることは困難であることから、市民が受診しやすい体制づくりに努めると同時に、検診項目及び検診の精度管理等の充実に努め受診率アップを図る。

【がん検診項目】

- ・40歳以上を対象:胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診・前立腺がん検診・乳がん検診(乳房超音波検診:30歳以上女性)
- ・20歳以上を対象:子宮がん検診

平成25年度実績

・子宮がん、胃がん検診(胃透視・胃カメラ)は個別健診を実施							決算額
H25年度がん検診実施状況							57,959千円
	胃がん	肺がん	大腸がん	前立腺がん	子宮頸がん	乳がん(マンモ)	実績値
受診者	2849	4352	4684	1690	2980	3141	増加
受診率	8.7	13.3	14.3	14.0	13.4	15.8	進捗状況
回数	58	66	77	58	43	46	4

クーポン事業受診状況

	子宮頸がん		乳がん(マンモ)	
	受診者(人)	受診率(%)	受診者(人)	受診率(%)
H24年度	532	27.3	827	29.7
H25年度	272	14.9	790	29.0

事業に対する評価・課題等

- | | | |
|---|--------------------------|--------------------------------|
| 1) 受診しやすい検診体制の整備
・30歳代の乳房超音波検診の回数増
・年度末40歳の一部がん検診無料継続
・子育て中が受診しやすい検診体制
(ボランティアの協力等) | 2) 精密検査が必要な人へ面接、電話等で受診勧奨 | 3) がんに関する正しい知識の普及のため機会ある毎に周知する |
|---|--------------------------|--------------------------------|

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

平成26年度予定

1) 受診しやすい検診体制の整備 ・女性が受診しやすいレディース検診日の設定 ・婦人健診時の託児の継続 ・子宮体がん検診の試行的実施 ・検診に関する周知方法の充実と継続	2) がん検診要精密者の不安軽減及び受診支援 ・精密検査受診率の低いがん検診の受診勧奨の強化	予算額
3) がんに関する正しい知識の普及 ・学校におけるがん予防教育の現状把握	4) がんに関する相談体制の整備 ・個別支援と情報提供	65,774千円
		目標値
		30%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備			(3) 地域医療の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
国民健康保険直営診療所運営事業	保険健康課	9施設4医師	9施設5医師	①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所(9診療所(2出張所を含む))を安定的に運営し、地域住民に対する医療を充実させ、男女がともに安心して暮らすことができる地域づくりに寄与する。</p> <p>平成23年度は医師(所長)5名体制であるが、平成24年3月末の遊子診療所長退任に伴い、以後は当面4名体制となる。引き続き各医師の兼任管理を適正化し、各診療所の診療体制を充実・継続させる。</p>							
平成25年度実績							
<p>24年4月から、9施設4医師での診療体制となっている。平成25年度は、蔦淵診療所長が遊子・下波・蔦淵診療所を、戸島診療所長が嘉島診療所を、日振島診療所長が喜路・能登出張所を兼任管理している。遊子診療所の医師不在に伴い、遊子・下波・蔦淵診療所の診療体制が変更し、3診療所いずれも、前年度と比較して診療日数が減少することとなった。</p> <p>25年度も診療所が所在する地域の人口減少も顕著であり、受診患者数も減少傾向にある。</p>							決算額
							実績値
							9施設4医師
							進捗状況
4							
事業に対する評価・課題等							
<p>宇和島市においても、市立宇和島・吉田・津島病院が医師募集を行っており、診療所としても非常に厳しい現状にある。給与の増額などの変更は財政上厳しく、現状維持での募集が精一杯の状況である。しかし医師募集は継続して行っていく必要があり、長期間勤務できる体制を構築することも急務である。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備				(3) 地域医療の充実		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
診療船うわじま維持管理事業	保険健康課						
事業の概要							
宇和島市国民健康保険直営診療所で、診療船うわじまの維持管理(運航等)を行っている。この診療船を活用することにより、離島での医師の兼任管理、兼任管理中の緊急搬送等を行い、地域医療の充実を図るとともに、地域住民の生命の安全を確保している。							
平成25年度実績							
平成25年度は、戸島診療所長が兼任管理する嘉島診療所への移動手段として、月曜日、水曜日及び金曜日の午前中、定期運航している。また、施設修繕及び医療機器の導入等、診療所の維持管理に必要な事項について、不定期に運航している。 毎年度、年2回の定期ドックを実施し、診療船の維持管理を行なっている							決算額
							実績値
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
宇和島市国民健康保険直営診療所は、民間医療機関の進出が望めない地域に所在しているが、これら地域は、民間交通機関の便数が少なく、診療所間の移動手段は、主に公用車や診療船を利用することになる。特に離島においては、定期連絡船の運航数運航時間、台風災害時等の運航停止等があり、診療船の果たす役割は非常に大きくなっている。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成26年度予定							
ここ数年、離島における診療所長の異動等はなく、よって26年度も25年度と同様、戸島・嘉島間の兼任管理に伴う診療船運航を実施する。また、年2回の定期ドックを実施する。医師の退職等があれば、診療日程の変更、兼任管理の変更が必要となるが、適宜、実情に即して対応する。							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	2 生涯を通じた健康支援				
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備		(3) 地域医療の充実		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H24)	目標値(H29)		
病院と診療所の連携強化	保険健康課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所と市立宇和島病院との連携を強化し、診療所及び病院の役割を明確にし、疾病の段階や状態により住民(患者)にとっての最適な地域医療を提供する。</p> <p>診療所は1次医療機関として、患者の診察治療に当たり、急性期等緊急性の高い患者を市立宇和島病院へ紹介する。また、市立宇和島病院は2次医療機関として急性期等を経過した患者の家庭・地域での生活のため、診療所へ紹介する。</p> <p>診療所及び病院が相互に連携することで、患者のQOLを高め、地域医療の充実を図る。</p>					
平成25年度実績					
<p>24年度に引き続き、診療所による「開放型病院」オープンシステムにより、診療所からの紹介・入院した患者を、診療所医師が市立宇和島病院で診ることができる。診療所から市立宇和島病院への患者紹介及び、市立宇和島病院から診療所への患者紹介を実施し、患者の疾病段階や状態による最適な医療を提供している。</p>					決算額
					0千円
					実績値
					進捗状況
3					
事業に対する評価・課題等					
離島であるため患者の輸送手段が限定され、診療所医師の不在や診療所での受入れ時、医療機器の設備面での不足問題等が生じてきて病院から診療所での時に対応できないと思われる。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					4
平成26年度予定					
引き続き前年度と同様					予算額
					目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備			(3) 地域医療の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
病院と診療所の連携強化	病院局			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
<p>入院を必要としない程度の方を対象に医療を提供している診療所(クリニック)や、生命に危険のある方を助ける3次救急医療や高度専門医療を提供する市立宇和島病院のような急性期病院が、自らの施設の機能や規模、特色、宇和島圏域の医療の状況に応じて、医療の機能分担や専門化を進め、円滑な連携を図るとともに、それぞれの医療機関の有する機能を有効かつ迅速に活用することにより、一層、受診者の方々がシームレスで適切な医療を受けることができるようにする。</p> <p>また、県下統一の地域医療連携システムを導入することによって、各種地域連携パスとともに上記地域医療連携を促進する。</p>							
平成25年度実績							
<p>地域連携室を中心に転院先の確保から在宅療養支援、看取りに至るまでありとあらゆる相談支援に対応し、シームレスな地域連携の強化及び患者・家族の不安解消にもつながっている。</p> <p>地域医療連携システムについては、愛媛医師会が開発したEMAネットワークへの加入を手始めとして、今後の診療情報のIT化を見据え、新たな地域医療連携システムの構築へ向けた検討を始めている。また、脳卒中地域連携パスの運用実績は年間94件と着実に実績を伸ばしている。</p>						決算額	—
						実績値	—
						進捗状況	4
						事業に対する評価・課題等	
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成26年度予定							
継続実施						予算額	—
						目標値	—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備			(3) 地域医療の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
地域がん診療連携拠点病院としての機能充実	病院局			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
<p>全国どこでも適切ながん医療が受けられる体制の整備に向け、地域がん診療拠点病院として認定を受けている。以下の方針に基づき、圏域の医療機関とも連携を図りながら、手術、放射線療法、化学療法等による治療を行うとともに、患者または家族からの相談に対する情報提供や転院等の調整、早期発見を啓発するための広報活動を実施するなど、地域のがん医療水準の引き上げを目指す。</p> <p>○専門的ながん医療の提供を行う。 ○地域の医療機関の情報を把握し、連携の拠点として、地域におけるがん医療提供体制の構築に寄与する。 ○地域のがん医療を支える人材を育成する。</p>							
平成25年度実績							
<ul style="list-style-type: none"> ・がん患者とその家族を対象にがんサロン(さくらサロン)を開設し、療養上の悩みや不安、気持ちを分かち合うことで、大きな心の支えの場を設けた。 ・李良福氏相談支援センターを窓口として、患者または家族からの相談を受け付け、医師、看護師等との連携を図りながら、がん治療等に関する情報提供や心理面での支援などを行った。 面談相談(訪問等を含む) 626件 電話相談 732件 ・年3回の市民公開講座、院外の医師を招いての治療セミナー、医療スタッフの研修会を行った。 ・拠点病院として緩和ケア研修会を実施し、関係医療機関相互の均てん化を図った。 						決算額	
						18,048千円	
						実績値	
						左記の通り	
						進捗状況	
						5	
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ・おおむね好評をいただいている。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						5	
平成26年度予定							
<ul style="list-style-type: none"> ・これまで同様継続していく。 						予算額	
						—	
						目標値	
						—	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(1) 地域生活支援体制の整備			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
コミュニティバス運行事業	企画情報課	38,971人	43,000人				
事業の概要							
事業者路線バスの廃止代替路線として3路線、交通空白地域への対策として7路線を運行している。							
平成25年度実績							
利用者 37,323人						決算額	
						25,498千円	
						実績値	
						左記参照	
						進捗状況	2
事業に対する評価・課題等							
各路線とも利用者数は減少傾向か横ばいという状況であることから、利用者数の増加と収支率の向上を図るための方策はもちろんのこと、利用者の方々に、今後も継続して利用していただけるような取り組みが必要である。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						-	
平成26年度予定							
継続して実施。						予算額	
						28,119千円	
						目標値	-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(1) 地域生活支援体制の整備			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
生活交通バス路線維持・確保事業	企画情報課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
住民の生活交通を維持・確保するため、事業者が運行する路線バス運行に要する経費の一部を補助するもの。							
平成25年度実績							
							決算額
							74,144千円
国庫補助路線 22,604千円 9系統 県単補助路線 44,574千円 6系統 市町単独路線 6,966千円 12系統							実績値
							-
							進捗状況
							-
事業に対する評価・課題等							
利用者の減少→路線廃止、減便等縮小→さらなる利用者の減少、といった悪循環に陥っており、路線再編、経費削減等、事業者の経営努力による対応は、既に限界にきている。路線バスの交通網は辛うじて維持されているものの、補助金の負担も多額であり、市財政を圧迫している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成26年度予定							
							予算額
継続して実施。							79,000千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(1) 地域生活支援体制の整備			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
離島航路維持・確保事業	企画情報課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
離島住民の生活交通を維持・確保するため、事業者が運行する離島航路運航に要する経費の一部を補助するもの。							
平成25年度実績							
九島航路 47,309千円 日振航路 69,363千円						決算額	
						116,672千円	
						実績値	
						左記参照	
						進捗状況	—
事業に対する評価・課題等							
離島航路においては、離島人口の減少を主な原因とする収入減により、欠損額は増加する一方であり、経費削減等、事業者の経営努力による対応も、既に限界にきている。航路はかろうじて維持されてはいるものの、補助金の負担も多額であり、市財政を圧迫している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						—	
平成26年度予定							
継続して実施						予算額	
						151,103千円	
						目標値	—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進		(1) 地域生活支援体制の整備		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H24)	目標値(H29)		
在宅福祉事業(宇和島市緊急通報装置貸与事業)	高齢者福祉課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
独居高齢者および重度身体障害者等に対し緊急通報装置を貸与することにより、急病や災害等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図る。					
平成25年度実績					
利用者数：272人(3月末利用者) 総事業費：2,187,374円					決算額
					2,183千円
					実績値
					左記参照
					進捗状況
					4
事業に対する評価・課題等					
ケアマネージャーや民生委員等に対して業務説明を行ったため、ある程度の周知は図られたが、市全体として更なる周知を行っていききたい。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					4
平成26年度予定					
利用者数：300人 総事業費：2,789,000円(委託料2,300千円、設置手数料489千円)					予算額
					2,789千円
					目標値
					-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
意志疎通支援事業(コミュニケーション支援事業)	福祉課	431人	事業利用者数 500人	①充実 ●	②継続		③新規
事業の概要							
聴覚、言語機能、音声機能その他の障害のため、意思疎通を図ることに支障がある障害者等の意思疎通の円滑化を目的に、手話通訳等の方法により障害者等とその他の者の意思疎通を仲介する手話通訳者等の派遣等を実施する。							
平成25年度実績							
手話通訳者派遣数 323回 要約筆記奉仕員派遣数 51回							決算額
							1,560千円
							実績値
							374回
							進捗状況
							2
事業に対する評価・課題等							
ニーズに対しては必要な支援を実施。課題は、新規登録通訳者の増員。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成26年度予定							
継続して必要な支援を実施予定。数字は昨年度並みの依頼数を見込んで計上。							予算額
							1,552千円
							目標値
							400回

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
移動支援事業	福祉課						
事業の概要							
屋外で移動に著しい制限のある視覚障害者、全身性障害者、知的障害者、精神障害者及び障害児に対して、外出のための支援を行うことにより当該障害者等の移動に関する福祉の向上に寄与する。							
平成25年度実績							
実利用者数:14人							決算額
							2,311,510千円
							実績値
							14人
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
必要な支援を実施している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成26年度予定							
前年度と同様							予算額
							2,388千円
							目標値
							14人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
地域活動支援センター	福祉課	180人/月	延利用人数 9,500人	①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
障害者(児)及びその家族等に対して地域の実情に応じ、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等の便宜を供与することにより、障害者等の地域生活支援の促進に寄与する。							
平成25年度実績							
(利用者数 延べ人数)							決算額
地域活動支援センターたちばな作業所	2,085人(委託料	6,360,000円/年)					35,213千円
地域活動支援センター柿の木	2,437人(委託料	10,860,000円/年)					実績値
地域活動支援センターグリーン工房	2,966人(指定管理料	13,518,386円/年)					175人/月
地域活動支援センター青空どりーむ	932人(直費	4,473,858円/年)					進捗状況
合計	8,420人(委託料計	35,212,244円/年)					4
(月別利用者数 延べ人数)							
175人(8,420人/12か月)							
事業に対する評価・課題等							
必要な支援は実施していると思われる。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
前年度と同様							予算額
							34,752千円
							目標値
							200人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
日常生活用具医療等事業	福祉課	571人	350人				
事業の概要							
在宅の重度障害者(児)に対し、日常生活用具を給付又は貸与することにより、日常生活の便宜を図り、もって障害者の福祉の増進に寄与する。							
平成25年度実績							
給付件数 2,154件 事業利用者人数 588人							決算額
							22,925千円
							実績値
							588人
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
平成25年度と同様に実施する							予算額
							23,700千円
							目標値
							580人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
相談支援事業	福祉課						
事業の概要							
障害者等が自立した社会生活を営むことができるよう、障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び便宜を供与することや、権利擁護のために必要な援助を実施する。							
平成25年度実績							
							決算額
							24,972千円
地域活動支援センター柿の木 : 実人数 156人 ・ 延人数 2,437人 相談支援センター豊正園 : 実人数 157人 ・ 延人数 1,394人 南愛媛療育センター : 実人数 268人 ・ 延人数 876人 地域活動支援センターグリーン工房 : 実人数 64人 ・ 延人数 466人							実績値
							5,173人
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
障害者本人や家族、関係者からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言、障害福祉サービスの利用等必要な支援を実施している。実績値が減少しているが、障害福祉サービス利用者に対しての相談は、計画相談で対応できているので、実質的には減少はしていない。平成26年度末までに、計画相談支援を障害福祉サービス利用者全員に行わなければならないので、相談支援専門員の負担が大きくなり、一般的な相談支援にも影響が出ている。今後、相談支援事業者にも相談支援専門員の増員を働きかけ、相談体制の充実を図らなければならない。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
							予算額
平成25年と同様に実施する。相談支援事業所に、相談支援専門員の増員をはたらきかける。							25,411千円
							目標値
							5,500人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実		②継続 ●	③新規
自立支援医療事業	福祉課						
事業の概要							
障害のため、医療を必要とする者に対し、医療費の助成を行うことにより、自立と日常生活の安定に寄与する。							
平成25年度実績							
自立支援医療(更生医療) 対象レセプト 3,674件(191,172,071円) 自立支援事業(育成医療) 対象レセプト 101件(1,698,992円) ※育成医療は平成25年度より県から事務移譲							決算額
							192,872千円
							実績値
							3,775件
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
必要な医療助成を実施している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
前年度と同様に、制度に基づき実施。 自立支援医療(更生医療) 184,000,000円 (育成医療) 2,400,000円							予算額
							186,400千円
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
重度心身障害者医療事業	福祉課						
事業の概要							
重度心身障害者のため医療を必要とする者に対し、医療費の助成を行うことにより、医療費の無料化を実施し、重度心身障害者の生活の安定と福祉の増進に寄与する。							
平成25年度実績							
対象人員: 2359人 助成件数: 62,016件 助成金額: 369,085千円 施行事務費: 4,958千円							決算額
							369,085千円
							実績値
							2,359人
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
必要な医療助成を実施している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
前年度と同様に実施予定。							予算額
							382,000千円
							目標値
							2,359人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実		②継続 ●	③新規
特別障害者(児)福祉手当事業	福祉課						
事業の概要							
在宅重度障害者の福祉の増進を図るため、精神又は身体に重度の障害を有する在宅障害者の方に対し、その重度の障害によって生ずる特別な負担の一助として手当を支給する。							
平成25年度実績							
対象延べ人数:1,434人							決算額
							32,001千円
							実績値
							1,434人
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
着実に事務を実施している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
前年度と同様に実施予定。							予算額
							31,000千円
							目標値
							1,450人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実		②継続 ●	③新規
特別児童扶養手当事務事業	福祉課						
事業の概要							
精神又は身体に障害のある児童を家庭において看護している者に対して、国が特別児童扶養手当を支給し、その児童の福祉の増進を図るため、事務取扱を実施する。							
平成25年度実績							
受給者数:150人							決算額
							222千円
							実績値
							150人
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
着実に事務を実施している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
前年度と同様に実施予定。							予算額
							223千円
							目標値
							150人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(3) 教育・育成の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
特別支援教育推進事業	福祉課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
関係機関との連携のもと、障害児教育、特別支援教育の充実、就学・進路相談の充実など、一貫した教育・育成に努める。							
平成25年度実績							
宇和特別支援学校の進路学習会に参加(3回/年) 目的: 宇和島市の生徒の卒業後の進路先へのスムーズな移行と支援体制の引き継ぎ等 9月9日 高等部1年生(9名) 10月7日 高等部2年生(13名) 12月16日 高等部3年生(14名)							決算額
							実績値
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
進路の選択や福祉サービスの手続きなどについて相談支援専門員と行政が助言等を行っている。福祉サービスを利用する場合にはどのような支援が必要か確認できる機会になっている。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
宇和特別支援学校の進路学習会に参加(3回/年) 9月8日 高等部1年生 10月6日 高等部2年生 12月15日 高等部3年生							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進		(3) 教育・育成の充実		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H24)	目標値(H29)		
特別支援教育推進事業	教育総務課			①充実 ●	②継続
事業の概要					
関係機関との連携のもと、障害児教育、特別支援教育の充実、就学・進路相談の充実など、一貫した教育・育成に努める。					
平成25年度実績					
<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育連携協議会や研修会に積極的に参加し、障害児教育の理解に努める。また、小学校や関係機関との連携を図り、就学に向けた教育相談を実施した。 幼小関連を含め、障害児通園施設との連携、教育相談依頼等を行う。 幼児一人一人の実態を把握し、幼児の成長・発達を促すために研修・実践を行い、教育の充実を図る。 					決算額
					—
					実績値
					100%
					進捗状況
					4
事業に対する評価・課題等					
<ul style="list-style-type: none"> 個別の特別支援教育の就学相談などの保護者の理解と協力を得てどのように推進していくか。 特別支援教育の啓発の仕方を考える必要がある。 保護者や小学校、関係機関との連携を図ることによって研修が深まり、個別の支援教育の充実を図ることができた。 保護者が辛い思いを乗り越えて育児に積極的になり、幼稚園と足並みをそろえて子どもにかかわることができた。そのため、小学校にも理解と配慮をもらうことができ、スムーズに就学することができた。 					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					5
平成26年度予定					
<ul style="list-style-type: none"> 研修会への参加や、園内研修の充実を図ると共に、関係機関や小学校との連携を強化する。 					予算額
					—
					目標値
					100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(3) 教育・育成の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
特別支援教育推進事業	学校教育課						
事業の概要							
関係機関との連携の下、特別支援教育の充実、就学・進路相談の充実など、一貫した教育・育成に努める。高齢者や障害者についての理解を深める。相手の立場と人格を尊重する態度を育成する。							
平成25年度実績							
知的障害者交流施設と土鈴作り等の交流を行い、障害のある人々への理解を深めた。特別支援学級在籍の児童をより深く理解するため、特別支援学校や支援施設に出向き、指導法について研修した。校内支援委員会の充実を図った。高学年における進路相談を実施した。特別支援学級における交流学習(交流学級での活動)の充実を図った。老人ホームへの訪問を教育課程に位置付け、交流活動を実施した。保護者や家族の願いを把握するために、保護者懇談会を重視した。高齢者との交流会を通じて、様々な知恵や生きる力を実感させることができた。							決算額
							実績値
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
高齢者や障害者との交流活動がややイベント的になっている。各専門機関と連携をとり、指導を受けながら個々のニーズにあった支援を行うことができた。校内支援委員会を計画的に開催し、全教職員で共通理解を図りながら指導に当たることができた。障害のある方との交流を通して、相手の立場に立って考えることの大切さを学ぶことができた。特別支援教育コーディネーターを中心に校内就学指導委員会を組織し、定期的に開催することにより、全職員が共通理解のもと取り組むことができた。また、ケース会議等、関係機関と連携した取組も積極的に行うことができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
高齢者や障害者との交流活動を行う際、事前・事後指導を充実させ、より効果的なものとする。関係諸機関の方々からの専門的な話は、児童理解につながった。各専門機関との連携。校内支援委員会の更なる充実。高学年における進路相談の充実。特別支援学級における交流学習(交流学級での活動)の充実。社会福祉協議会との連携を通して、障害者との交流をより深めていく。特別支援教育コーディネーターを核とした研修の充実。特に配慮が必要な児童に対し、個別の指導計画を作成、実行し、全職員で共通理解を図りながら指導していく。ユニバーサルデザインの学校運営の強化。							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(4) 消費者対策の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
消費者教育事業(消費者講座)	企画情報課	323人	500人				
事業の概要							
消費者支援講座の開催。							
平成25年度実績							
各地域の集まりや、社協のサロン・公民館事業等において消費生活出前講座を開催 13回(参加人数 述べ310人) (消費者相談員による悪質商法の手口等の対処方法等の紹介等)							決算額
							-
							実績値
							310名
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
市民に対して、自分自身で身を守る知識や判断能力を身に付けることを目的とした講座を行った。今後においても、消費に関する正しい情報や知識を啓発することが大切と考える。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
公民館職員研修会や民生児童委員等の会議で、消費生活出前講座及び悪徳商法等についてのパンフレットを配布し、啓発活動を行いながら実施。							予算額
							-
							目標値
							500人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(4) 消費者対策の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
消費者啓発事業	企画情報課						
事業の概要							
消費者に関する理解を広めるため、消費生活センターの周知を行なうとともに、意識啓発を図ろうとするもの。							
平成25年度実績							
広報うわじまへの記事掲載 3回/年 安心安全メールによる注意喚起 15回(H26.5.7現在 3,529名登録) ロビー展開催 H25.5.20-24 市役所1階ロビー 市民約500名 H25.6.2 南予文化会館(男女共同参画講演会時) 市民約280名							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
多くの市民に対して最近多くみられる事例等を紹介することができ、消費者被害に遭わないように注意喚起・啓発を行うことができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
例年同様に各種手法を用いた注意喚起等を行っていく。							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進		(5) 高齢者の生きがいがづくり		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H24)	目標値(H29)		
老人クラブ育成事業	高齢者福祉課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
高齢者の生きがいや健康づくりを推進するため、老人クラブ活動への補助金を交付している。					
平成25年度実績					
年間活動延月数：1,428ヶ月(119クラブ) ○社会奉仕活動事業(地域清掃活動、花づくり活動、独居高齢者訪問活動等) ○老人教養講座開催事業(介護講座、健康講座、防災講座等) ○健康増進事業(健康体操教室、グランドゴルフ、ペタンク等)					決算額
					1,428千円
					実績値
					左記参照
					進捗状況
					3
事業に対する評価・課題等					
高齢者の生きがいや健康づくりの推進が図られた。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					4
平成26年度予定					
年間活動延月数：1,428ヶ月 ○社会奉仕活動事業(地域清掃活動、花づくり活動、独居高齢者訪問活動等) ○老人教養講座開催事業(介護講座、健康講座、防災講座等) ○健康増進事業(健康体操教室、グランドゴルフ、ペタンク等)					予算額
					1,826千円
					目標値
					-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(5) 高齢者の生きがいつくり			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
高齢者の生きがいつくり推進事業(地区公民館)	生涯学習課	21館	30館				
事業の概要							
高齢者が地域の活動に積極的に参加し、生き生きと暮らしていけるよう、各地区公民館において高齢者が気軽に参加できる学級・講座や学校の教育活動を支援するボランティア活動を実施するもの。							
平成25年度実績							
【高齢者学級】 実施公民館数:26館 実施回数:99回 高齢者参加数:2,121人(うち、男1,052人 女1,069人)							決算額
							127千円
							実績値
							26館
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
各種学級・講座は、男女の別や年齢に関わらずできるだけ多くの人々が学べるように、土日や日中、夜間等に分散しており、内容もできるだけ住民の学習ニーズに応えられるように工夫している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
【高齢者学級】(予定) 実施公民館数:28館 実施回数:102回 延べ時間数:179時間							予算額
							50千円
							目標値
							28館

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(6) 高齢者や障害者等にやさしいまちづくり			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
障害者用トイレ設置事業(中央・地区公民館)	生涯学習課	13館	15館	①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
公民館33館(中央公民館、分館2館含む)のうち、障害者用トイレ設置館は13館で、将来的に全館設置を目指しているものの、多額の財源を必要とするため、長期的な計画として引き続き平成29年度までに2館増を目標とするもの。							
平成25年度実績							
障害者用トイレ設置のための現地調査を実施したが、多くの財源を必要とするため事業を実施する事ができなかった。							決算額
							0千円
							実績値
							—
							進捗状況
							1
事業に対する評価・課題等							
障害者用トイレ設置済みの公民館からは、暖房便座、ウォッシュレット等の設置希望があり、今後未設置の公民館の設置と併せて協議していく必要がある。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成26年度予定							
障害者トイレ設置のための現地調査を継続する。 設置予定公民館2館の決定。工事用の積算。							予算額
							0千円
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実		(1) 介護予防事業の実施		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H24)	目標値(H29)		
介護予防事業に係る二次予防事業	高齢者福祉課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・要介護状態等となるおそれの高い虚弱な状態にあると認められた65歳以上の者(二次予防事業対象者)を、基本チェックリストで把握する。 ・把握した二次予防事業対象者に、通所型介護予防事業や訪問型介護予防事業を実施する。 ・事業の利用等により、要介護状態等となることを防ぎ、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう支援する。 					
平成25年度実績					
○基本チェックリスト実施者……4,426人					決算額
○二次予防事業対象者……779人					11,342千円
○通所型介護予防事業利用者					実績値
<ul style="list-style-type: none"> ・運動器の機能向上プログラム参加者……実人員130人 ・栄養改善プログラム参加者……実人員1人 ・口腔機能の向上プログラム参加者……実人員14人 					左記参照
○訪問型介護予防事業利用者……実人員0人					進捗状況
					4
事業に対する評価・課題等					
<ul style="list-style-type: none"> ○各関係機関との連携により、広く基本チェックリストの実施が図れてきている。 ○広報、リーフレット配布等により啓発活動を行い、広く周知されてきた。 ○二次予防事業利用者に、運動器の機能向上プログラム等を実施し効果があらわれている。 					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					3
平成26年度予定					
○二次予防事業対象者……見込み700人					予算額
○通所型介護予防事業利用者……最大利用見込み実人員147人					13,723千円
宇和島会場1セット24回:計6セット、三間・吉田・津島会場1セット13回:計各会場2セット					目標値
○訪問型介護予防事業利用者……実人員1人					-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり					
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備					
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実		(1) 介護予防事業の実施			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向		
		現状値(H24)	目標値(H29)			
介護予防事業に係る一次予防事業	高齢者福祉課			①充実	②継続 ●	③新規
事業の概要						
地域において介護予防に資する自発的な活動が広く実施され、地域の高齢者が自ら活動に参加し、介護予防に向けた取組が主体的に実施されることを図る。 健康教育や健康相談等を通じて、介護予防を普及啓発したり、地域における活動の育成や支援を行う。						
平成25年度実績						
◎介護予防普及啓発事業 ○各種講座……394回・8,673人(うち介護予防講座…48回・1,072人) ○相談会……8回・73人、健康相談(保険健康課)……209回・1,518人 ○「シニア元気づくりお役立ちガイド及び情報」発行……34,800部配布 ○介護予防リーフレット配布3,000枚 ◎地域介護予防活動支援事業 ○ボランティア講座等……22回・380人、ボランティアスキルアップ研修……5回・165人 ○シニア元気づくりサポーター育成事業……12回・130人 ○高齢者元気づくり推進事業……1,801件 ○ミニサークル支援活動……20回・233人 ○ふれあいいきいきサロン……60回・847人 ○自主グループ支援……16回・152人						決算額
						9,601千円
						実績値
						左記参照
						進捗状況
4						
事業に対する評価・課題等						
◎介護予防普及啓発事業 ・広報、パンフレット配布、保険健康課や公民館事業と連携した普及・啓発は図れている。 ・シニア元気づくり体操普及事業・通所型介護予防事後事業を実施することにより、介護予防活動が市民に浸透してきている。 ◎地域介護予防活動支援事業 ・シニア元気づくりサポーター育成事業や介護予防ボランティア養成講座の実施により、介護予防活動への参加・ボランティア養成の基盤整備を図っているが、ボランティアの育成までには至っていない。今後の取り組みが必要。 ・高齢者元気づくり推進事業等により、高齢者が身近に集う場としての高齢者サロンの拡充や介護予防の普及啓発が図れてきている。						
男女共同参画の視点での評価						
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4
平成26年度予定						
○シニア元気づくり体操普及事業(シニアoh!げんき体操クラブ)……5会場各毎月1回 計60回(実人数160人) ○通所型介護予防事後事業……12回(実人数15人) ○高齢者元気づくり推進事業……高齢者サロンの拡充(173か所→180か所) ○シニア元気づくりサポーター育成事業……12回(実人数12人) ○介護予防講座……33回 ○健康相談(保険健康課)……220回、健康教育……230回 ○ボランティア講座等……25回 ○ボランティアスキルアップ研修会参加……1回 ○地域活動組織への講師派遣……70回 ○「シニア元気づくりお役立ちガイド」発行……35,700部配布						予算額
						9,950千円
						目標値
-						

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実			(2) 地域包括支援センター事業の実施			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
介護予防ケアマネジメント事業	高齢者福祉課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
要介護状態等となるおそれの高い虚弱な状態にあると認められた65歳以上の者(二次予防事業対象者)を、要介護状態となることを予防する為、心身や環境等の状況に応じて、対象者自らの選択に基づき、介護予防事業等その他の適切な事業が包括的かつ効率的に実施されるよう必要な援助を行うことを目的としてケアマネジメントを行う。							
平成25年度実績							
介護予防ケアプラン作成数:130件 介護予防ケアプランの評価数:120件						決算額	
						224千円	
						実績値	
						左記参照	
						進捗状況	4
事業に対する評価・課題等							
○個別性を重視し自立支援を目指した適切な介護予防ケアプランの作成や、計画を定期的に評価し見直しを行うことで、改善に向けた支援ができた。 ○二次予防事業の通所型介護予防事業や訪問型介護予防事業と連携して実施する事ができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						3	
平成26年度予定							
介護予防ケアプラン作成見込数:130件						予算額	
						329千円	
						目標値	-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実		(2) 地域包括支援センター事業の実施		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H24)	目標値(H29)		
総合相談・権利擁護事業	高齢者福祉課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
<p>高齢者が安心して生活を続けていくために、介護保険サービスだけでなく関係機関のネットワークを活かしながら、総合相談支援を通じて、制度の垣根を越えた横断的・多面的な援助を目指す。</p> <p>高齢者が認知症や要介護状態になっても、生命や財産が守られ、日常生活に支障をきたすことなく安心して暮らすことができるよう、個人の尊厳を保持するための権利擁護事業の効果的な活用を促進する。</p>					
平成25年度実績					
◎総合相談事業 ○総合相談延べ件数……3,946件 ◎権利擁護事業 ○高齢者虐待通報件数……27件(内、虐待と認定した件数……7件) ○成年後見制度に係る相談件数延べ件数……243件(実人数43人、申立て件数13件)					決算額
					5,608千円
					実績値
					左記参照
					進捗状況
事業に対する評価・課題等					
○個別訪問により実態把握を行うことで、支援を必要とする高齢者を発見し、適切な支援や継続的な見守りを行い、問題の予防的対応を図っていくことができた。 ○協力事業所や見守り推進員と連携して、地域全体で見守りや訪問等を行い、日常的な安否を確認するとともに、異常等を発見した時に迅速に対応できるよう努めた。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					3
平成26年度予定					
◎総合相談事業 ○初期相談から、継続的・専門的な援助まで対応する総合的な相談支援 ○高齢者の実態把握のための個別訪問 ○高齢者地域見守りネットワークの運営 ◎権利擁護事業 ○高齢者虐待防止への取組 ○成年後見制度の活用 ○消費者被害の防止					予算額
					6,087千円
					目標値
-					

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実		(2) 地域包括支援センター事業の実施		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H24)	目標値(H29)		
成年後見人制度支援事業	高齢者福祉課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
①高齢者などからの権利擁護に関わる相談などに対応する。 ②成年後見人制度の利用が必要と思われる人について、その家族などに成年後見人制度の必要性や手続き等を説明し、申し立てにつなげる。 ③成年後見人制度が必要であるにも関わらず身寄りがないような人について、市長申し立てにつなげる事等の権利擁護に係る事業を行う。					
平成25年度実績					
○相談延べ件数……243件 ○申し立て支援……43件 ○申し立て件数……13件(うち市長申し立て件数 1件)					決算額
					7千円
					実績値
					左記参照
					進捗状況
4					
事業に対する評価・課題等					
成年後見人制度の利用に関する説明や助言を行い、申し立てにともなう支援を行った。又、成年後見人制度を広く普及させるための広報の利用、並びに地域の医療機関、権利擁護に関わる団体等との連携を図った。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					4
平成26年度予定					
○成年後見人制度利用支援事業見込人数……2名 ○市長申し立て見込件数……3件 ○制度普及のための研修会開催……2回 ○相談・制度説明・手続支援					予算額
					739千円
					目標値
-					

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実		(2) 地域包括支援センター事業の実施		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H24)	目標値(H29)		
包括的・継続的ケアマネジメント事業	高齢者福祉課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
地域包括ケア体制ネットワークの構築 介護支援専門員の情報交換促進 介護支援専門員に対する日常的指導・相談 支援困難事例への指導					
平成25年度実績					
地域ケアネットワーク会議を構成する部会を定期的に開催することで、地域ケアネットワーク会議の強化を図った。 ◎地域ケアネットワーク会議……3回 ・介護支援専門員部会……5回 ・介護サービス事業所部会……8回 ・認知症対策部会……6回 ・地域見守り部会……3回 ・権利擁護部会……3回 ・介護予防部会……6回 ・主任介護支援専門員研修会……1回 ・ケアマネ支援……367件/年、サービス担当者会議への参加……10回/年、合計377件					決算額
					556千円
					実績値
					左記参照
					進捗状況
4					
事業に対する評価・課題等					
市内41か所の居宅介護支援事業所の介護支援専門員100名からの相談は、年々支援困難事例が増加しているため、部会を定期的に開催し関係機関との繋がりを強化することで、個別の事例に対応できるネットワーク構築に力を入れている。今後は、独居高齢者の見守り、虐待、認知症等多様化する問題に対応できる様、地域ケアネットワーク会議及び部会の充実を図り、運営協議会との繋がりを強めていく必要がある。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					3
平成26年度予定					
◎介護支援専門員に対する個別支援 ①支援困難事例を抱える介護支援専門員への支援(窓口相談・同行訪問) ②サービス担当者会議の開催支援 ③ケアマネジメントの質の向上のための研修会開催 ◎包括的・継続的ケアマネジメントの体制構築 ①「地域ケアネットワーク会議」を中心とした関係機関の連携体制づくり					予算額
					1,015千円
					目標値
-					

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実		(3) 認知症高齢者への支援		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H24)	目標値(H29)		
介護予防事業に係る一次事業 総合相談・権利擁護事業	高齢者福祉課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
「認知症になっても安心して暮らせる街・宇和島」を目指し、認知症高齢者を取り巻く問題の支援体制システムを構築する。一次予防事業の中で認知症の予防を図り、総合相談・権利擁護事業で認知症の方の相談を行い、認知症の方がより安心して生活できるよう支援する。					
平成25年度実績					
宇和島市独自で認知症高齢者への対策に取り組む。(包括的支援事業の一環としての取組) ○地域ケアネットワーク会議・認知症対策部会……適宜部会を開催し、宇和島市として取り組む認知症対策について、検討する。年5回開催。 ○徘徊SOSネットワークの構築事業……徘徊SOSネットワーク構築の為に協力者を確保するとともに、情報伝達のしつこみを宇和島市全体で取り組む。認知症フォーラム1回開催(53名参加)、だんだんネット協力事業所15事業所追加。により、25年度末時点で協力事業所総数373事業所。 ○認知症学習会 ・認知症シンポジウム 136名参加 ・認知症講座(サポーター養成講座) 年17回・400人 ・キャラバンメイトフォローアップ研修……キャラバン・メイト連絡会の結成 年2回・51名参加、メイト登録者71名 ・認知症家族のつどいへの協力 年12回、 ・認知症相談室……医師相談 年6回・13件					決算額
					390千円
					実績値
					左記参照
					進捗状況
4					
事業に対する評価・課題等					
○認知症に係る事例検証など、学習会及び研修会を通じて関係者を通じて、認知症が病気であることの理解者や支援できる認知症サポーターの養成が推進できた。 ○徘徊SOSネットワークの構築については、系統的な情報伝達のしつこみについて、整備に一層の努力が必要と思われる。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					3
平成26年度予定					
オレンジプランに基づき認知症高齢者への対策に取り組む。(包括的支援事業の一環としての取組) ○地域ケアネットワーク会議・認知症対策部会……適宜部会を開催し、認知症対策について、検討する。 ○徘徊SOSネットワークの構築事業……徘徊SOSネットワーク構築の為に協力者を確保し、情報伝達ルートの確立。 ○認知症医療・ケア研修会、ケアマネとの連携 ○認知症学習会 ・認知症講演会の実施 年1回 ・認知症講座(サポーター養成講座) 年30回 ・キャラバンメイトフォローアップ研修……キャラバン・メイト連絡会の開催 年1回 ・認知症家族のつどいへの協力 年12回 ・認知症相談室……医師相談 年6回 ○認知症ケアパス検討会 年3回 認知症ケアパス作成ワーキング会議 年5回					予算額
					599千円
					目標値
					-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	3 貧困など生活上の困難に直面する男女への支援			(1) 多重債務相談の実施			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
多重債務相談	企画情報課			①充実		②継続	③新規
事業の概要							
認定司法書士による多重債務相談を行ない、問題解決方法などの情報提供を行なう。							
平成25年度実績							
認定司法書士による多重債務相談 年6回開催。						決算額	
						90千円	
						実績値	-
						進捗状況	4
事業に対する評価・課題等							
債務問題を抱えた方に対して、専門家による問題解決方法などの情報提供を行うことができた。また、消費生活相談員による消費生活に関する問題に対する相談窓口の充実を図ることができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成26年度予定							
認定司法書士による多重債務相談 年6回開催。						予算額	
						90千円	
						目標値	-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-